

令和 6 年度

小田原の教育

小田原市教育委員会

小田原市教育都市宣言

(平成16年4月1日制定)

小田原市民は、子どもたちが希望を持ち、健やかに成長してほしいと願っています。世界に目を開く地球市民であり、郷土の文化と伝統を誇りにしたいと思っています。一人ひとりが自立し、家庭、学校、地域が支え合う社会を築きたいと願っています。

小田原市と小田原市教育委員会は、市民のこうした思いや願いを実現するために、ここに教育の行き届いたまち、教育都市を宣言します。

- 1 一人ひとりが、尊い命です。心身ともに健康で思いやりのある人の育成に努めます。
- 2 家庭は、心を育みます。家族の絆を紡ぎ、人としての心がまえを養う家庭づくりを支えます。
- 3 学校は、生きる力を培います。児童生徒の確かな学力を育成し、社会の仕組みの基礎を教えます。
- 4 地域は、支え合いながら、繁栄します。青少年が社会の一員であることを自覚し、社会活動に参加できる地域づくりに努めます。
- 5 地球のすべてのものは、結ばれています。かけがえのない文化や伝統を受け継ぎ、自然や国際社会との交流を深める実践活動を進めます。

おだわらっ子の約束

一 早寝 早起して 朝ご飯を食べます
二 明るく笑顔であいさつします

三 「ありがとう」「ごめんなさい」を言います

四 人の話をきちんと聞きます

五 もったいないことをしません

六 どんな命でも大切にします

七 決まり 約束を守ります

八 人に迷惑をかけません

九 優しい心でみんなと仲良くします

十 「悪いことは悪い」と言える

勇気を持ちます

おだわらっ子は、この約束を守って幸せになります。
おとなたちも、この約束を、自ら守り、
おだわらっ子に語り続けます。

(平成19年1月30日制定)

○ 市の魚

1 淡水魚	メダカ	(平成13年3月1日制定)
2 海水魚	アジ	(平成13年3月1日制定)

目 次

行 財 政

◇ 市勢の概要	1
◇ 教育委員会	2
◇ 令和6年度主要事業	4
◇ 年度別教育費予算額・決算額	18
◇ 令和6年度当初予算教育費各目明細	19
◇ 一人当たりの当初予算額調	21
◇ 組織図	22

学 校 教 育

◇ 小田原の学校変遷	23
◇ 令和6年度育指導の重点	24
◇ 小田原市立小・中学校、幼稚園一覧	26
◇ 令和6年度児童・生徒・園児数等集計表	28
◇ 児童・生徒・園児数の推移	30
◇ 小・中学校、幼稚園敷地面積	32
◇ 小・中学校、幼稚園校舎等施設の状況	33
◇ 令和6年度小田原市教育委員会 研究推進校等一覧	34
◇ 令和6年度校内研究主題一覧	36
◇ 令和6年度小田原市小・中学校特別支援学級児童・生徒数	38
◇ 教育相談等の状況	39
◇ 中学校卒業者の進路状況	40
◇ 教育研究所	41
◇ 市立幼稚園の入園料・保育料の推移	42
◇ 小・中学校就学援助の状況	43
◇ 小田原市奨学金の状況	44
◇ 学校保健の状況	45

◇ 学校給食の状況	49
◇ 放課後児童クラブ・放課後子ども教室登録児童数	53

生涯学習

◇ 生涯学習課	54
生涯学習センターけやき	55
生涯学習センター国府津学習館	61
郷土文化館	62
郷土文化館分館松永記念館	62
松永記念館老樗荘	63
尊徳記念館	68
小田原市集会所	70
◇ 文化財課	71
◇ 図書館	82
中央図書館（かもめ）	82
小田原駅東口図書館	83
小田原文学館	84
◇ スポーツ課	92
◇ 青少年課	93

各種名簿	96
------------	----

行 財 政

◇ 市勢の概要

1 位置及び地勢

本市は神奈川県西部に位置し、市庁舎は北緯35度15分53秒、東経139度9分08秒にあります。市域は、東西17.5km、南北16.9km、面積113.60km²で、南西部は真鶴町、湯河原町、箱根町と、北部は南足柄市、開成町、大井町と、東部は中井町、二宮町とそれぞれ境を接しています。市域の南西部は、箱根山地につながった大部分が山地で、東部は、大磯丘陵につながる丘陵地帯になっています。中央部には、酒匂川が南北に貫流して足柄平野を形成し、南は相模湾に面しています。気候は、温暖で風光明媚な自然環境を有しています。また、東京から約80kmの距離にあり、交通の要地として大きな役割を持っています。特に、鉄道交通の面では、東海道本線をはじめ、東海道新幹線、御殿場線、小田急線、大雄山線、箱根登山線の結節点であり、合わせて18の駅を有しています。

2 交流から見た小田原市域の歩み

本市は、古くは小田原北条時代から江戸時代に至るまで城下町として発展し、また近世に入ってから箱根をひかえた東海道屈指の宿場町として発展してきました。明治に入ると本市は、明治4年の廃藩置県によって小田原県の県庁所在地となり、ついで足柄県足柄県庁、神奈川県小田原支所が置かれた後、明治22年の町村制施行に伴い、戸数3千戸、人口1万9千人をもって小田原町が誕生しました。この時期には東海道線が新橋から国府津まで開通しましたが、小田原町は交通の利便から取り残されました。その後、明治の後期から大正の中期にかけて、国府津・箱根湯本間に馬車鉄道、後に電気鉄道、小田原・熱海間に人車鉄道、軽便鉄道が開通し、再び繁栄を取り戻すようになりました。そして、大正9年に熱海線が国府津から小田原まで開通し、さらに昭和9年に丹那トンネルが開通して熱海線が東海道本線となるに及んで、交通の要衝として脚光を浴びるようになりました。その間、大正12年の関東大震災にみまわれましたが、見事に復興させました。また、昭和39年に東海道新幹線が開通し、小田原駅が停車駅となっています。

昭和15年12月20日、小田原町、足柄町、大窪村、早川村及び酒匂町の一部が合併して面積57.54 km²、人口54,699人の小田原市が誕生しました。第2次世界大戦終了後、昭和23年に下府中村、昭和25年に桜井村、昭和29年に豊川村、上府中村、酒匂町、国府津町、下曾我村、片浦村、昭和31年に曾我村の一部とそれぞれ合併し、さらに昭和46年に橋町と合併して現在の市域となりました。

3 人口・世帯数（令和6年5月1日現在）

- (1) 人 口 186,094 人
- (2) 世帯数 85,285 世帯

4 児童・生徒数（令和6年5月1日現在）

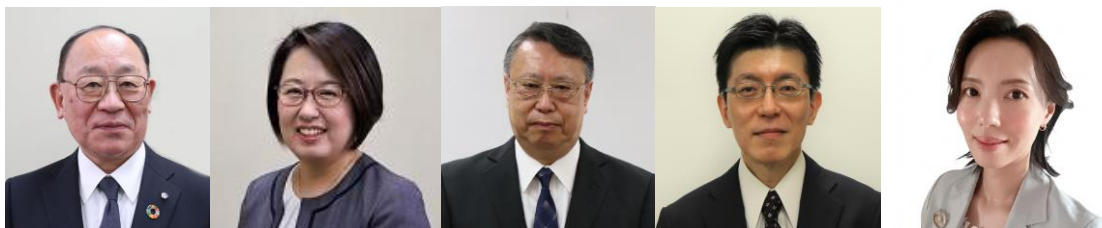
小学校 8,138人 中学校 4,235人 計 12,373人

5 園児数（令和6年5月1日現在）

幼稚園 147人

◇ 教育委員会

1 教育長及び教育委員（カッコ内は任期）



教 育 長 教育長職務代理者 委 員 委 員 委 員
柳 下 正 祐 益 田 麻 衣 子 井 上 孝 男 菱 木 俊 匡 秋 元 美 里

$\left[\begin{array}{c} R5. 10. 1 \sim \\ R8. 9. 30 \end{array} \right] \left[\begin{array}{c} R5. 10. 5 \sim \\ R9. 10. 4 \end{array} \right] \left[\begin{array}{c} R2. 10. 1 \sim \\ R6. 9. 30 \end{array} \right] \left[\begin{array}{c} R3. 10. 1 \sim \\ R7. 9. 30 \end{array} \right] \left[\begin{array}{c} R4. 10. 1 \sim \\ R8. 9. 30 \end{array} \right]$

2 令和5年度定例会・臨時会・協議会案件

R5. 4. 27

○小田原市郷土文化館協議会委員の一部委嘱替えについて

○令和6年度使用教科用図書の採択方針について

【報告事項】

○市議会3月定例会・予算特別委員会の概要について【資料配布のみ】

【その他】

○「おだわらデジタルミュージアム」のオープンについて【資料配布のみ】

○令和4年度下半期寄附採納状況について【資料配布のみ】

○令和4年度下半期教育委員会職員の公務災害の状況について【資料配布のみ】

R5. 5. 31

○小田原市社会教育委員の一部委嘱替えについて

○小田原市文化財保護委員会委員の委嘱について

○小田原市図書館協議会委員の一部任命替えについて

○事務の臨時代理の報告（令和5年度小田原市一般会計補正予算）について

【報告事項】

○新しい学校づくり検討委員会中間報告等について

○学校運営協議会委員の任命について

R5. 6. 29

○小田原市就学支援委員会委員の委嘱について

○事務の臨時代理の報告（工事請負契約の締結について

（小田原市学校給食センター整備事業（第Ⅱ期））について

R5. 7. 26

○小田原市いじめ防止対策調査委員の委嘱について

○令和6年度使用教科用図書（小中学校特別支援学級用）の採択について

○令和6年度使用小学校教科用図書（国語・書写・社会・地図）の採択について

【報告事項】

○市議会6月定例会の概要について【資料配布のみ】

R5. 8. 2 臨時会

○令和6年度使用小学校教科用図書（算数・理科・生活・音楽・図画工作・家庭・保健・英語・道徳）の採択について

R5. 8. 28

○小田原市郷土文化館協議会委員の委嘱替えについて

○事務の臨時代理の報告（令和5年度小田原市一般会計補正予算）について

【協議事項】

○小田原市郷土文化館の会議室の使用について【非公開】

【報告事項】

○片浦小学校放課後児童クラブの再開について

○小田原市放課後児童クラブ運営業務委託について

○小田原版 STEAM 教育の取組状況と今後の予定について

R5. 9. 28 協議会

【報告事項】

- 小田原市生涯学習センター本館の器具の変更等について
- 図書館の利用環境の拡充について
- 新しい学校づくり推進基本方針（素案）について

R5. 10. 27

- 学校教育法施行細則及び小田原市立幼稚園の管理運営に関する規則の一部を改正する規則
- 教育長の営利企業等の従事の許可について

【報告事項】

- 市立小学校における個人情報の紛失について
- 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について
- 市議会9月定例会・決算特別委員会の概要について

R5. 11. 20

- 事務の臨時代理の報告（令和5年度小田原市一般会計補正予算）について
- 令和5年度教育委員会事務の点検・評価について

【報告事項】

- 令和4年度小田原市立小中学校の暴力行為・いじめ・長期欠席の状況について
- 令和6年度公立幼稚園新入園児応募状況について

R5. 12. 20

- 小田原市生涯学習センター条例施行規則の一部を改正する規則
- 小田原市図書館条例施行規則の一部を改正する規則
- 令和6年度教育指導の重点について
- 小田原市新しい学校づくり推進基本方針の策定について
- 小田原市新しい学校づくり検討委員会規則の一部を改正する規則について
- 小田原市新しい学校づくり検討委員会委員の委嘱について
- 事務の臨時代理の報告（小田原市常勤の特別職職員の給与に関する条例及び小田原市政策監の設置等に関する条例の一部を改正する条例）について

【協議事項】

- 小田原市高等学校等奨学金の支給について【非公開】

【報告事項】

- 学校給食調理委託について

R6. 1. 31

- 市議会定例会提出議案（令和6年度小田原市一般会計予算）に同意することについて【非公開】

【報告事項】

- ステップアップ調査モデル実施校における成果報告について
- 市議会12月定例会の概要について【資料配布のみ】

R6. 2. 21

- 市議会定例会提出議案（令和5年度小田原市一般会計補正予算）に同意することについて
- 学校教育法施行細則の一部を改正する規則
- 令和6年度使用一般図書（小中学校特別支援学級用）の採択について
- 校長及び教頭の人事異動の内申について【非公開】
- 新年度準備期間についての陳情

【報告事項】

- 令和5年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査の小田原市の結果について

R6. 3. 13 臨時会

- 教育委員会職員の人事異動について【非公開】

R6. 3. 26

- 新しい学校づくり検討委員会委員の委嘱について
- 小田原市学校運営協議会の設置等に関する規則の一部改正について
- 小田原市教育委員会職員職名規則及び小田原市立学校組織規則の一部改正について

【報告事項】

- 小田原市高等学校等奨学金支給規則の一部改正について
- 下中幼稚園の移転について【非公開】

◇ 令和6年度主要事業

小田原市教育委員会では小田原市教育都市宣言の推進を図るとともに、「生活の質の向上」「地域経済の好循環」「豊かな環境の継承」の3つの「まちづくりの目標」の具体的な方向性を示す第6次小田原市総合計画「2030ロードマップ1.0」及び「小田原市教育振興基本計画」に基づき、各施策を展開していきます。令和6年度の主要事業は、次のとおりです（下線は、新規事業）。

（1）学ぶ力

事業	取組	内容	予算額 (千円)	所管課
学力向上支援事業	少人数指導スタッフ配置	小学校において、少人数指導またはチーム・ティーチングによるきめ細かな学習指導法により、児童の確かな学力の定着を図るために、少人数指導スタッフを配置する。また、国に先駆けて35人学級を実現できるように、令和5年度小学校5年生について、学級児童数が35人以下となるようにスタッフを配置する。	34,750	教育指導課
	中学校教科非常勤講師の配置	中学校において、少人数指導またはチーム・ティーチングによるきめ細かな学習指導、および学級数の減少により、教職員定数では配置が困難な教科の専門性を保つために、専門的な教科指導を行うための非常勤講師を配置する。	13,020	教育指導課
	ステップアップ調査	学力等の経年変化を把握することで、学力向上に向けた指導の工夫改善を図り、一人ひとりの学力等を伸ばす教育を推進するため、新たな学力・学習状況調査を全小中学校で実施する。	8,035	教育指導課
I C T活用教育推進事業	学習用端末の整備・運用、児童生徒の情報モラル教育、情報技術に係る教員への支援等	学習用端末の授業や家庭での活用の促進、児童生徒の情報モラル教育、教員の情報技術に係るスキルアップのための研修、ICT支援員の増員配置等を行う。	255,575	教育指導課
外国語教育推進事業	A L T（外国語指導助手）配置委託及び小学校英語専科非常勤講師の配置等	外国語教育の充実を図るとともに、世界の多様な文化理解とコミュニケーション能力を育成するため、A L Tを小中学校に配置する。また、専門性の高い英語専科非常勤講師を小学校に配置する。	50,753	教育指導課

(2) 豊かな心

事業	取組	内容	予算額 (千円)	所管課
支援教育推進事業	特別支援学級児童生徒校外体験学習の実施	コロナ禍のため、事業を休止していた宿泊体験学習を日帰りの校外体験学習として再開し、集団での様々な活動体験を通して、人間性や社会性の向上を図る。	1,347	各小中学校
情操教育充実事業	小学校図工展、科学展及び、中学校美術展、科学展、音楽会の開催	小学校を対象に図工展、科学展を、中学校を対象に美術展、科学展、音楽会を開催し、児童生徒の豊かな人間性と社会性の育成、情操の寛容を図る。	484	教育指導課
—	道徳教育の充実	各学校において特別の教科道徳を要として、各教科等の教育活動全体を通じて、意図的・計画的に道徳教育を推進する。	0	各 校
人権教育推進事業	人権教育の充実	各学校において、人権教育推進計画を作成し、各教科等の教育活動全体を通じて、人権意識を高める教育活動を推進する。	0	各 校
	人権教育移動教室の推進	児童生徒や保護者を対象に、人権尊重の精神を育むため、国連NGO横浜国際人権センターから講師を招き、人権教育移動教室を開催する。	60	教育指導課
	人権教育研修会の開催	教職員の資質と指導力の向上を図るため、人権教育の諸課題について、人権教育研修会を開催する。	30	教育指導課
児童生徒指導充実事業	小田原市いじめ問題対策連絡会の開催	小田原市いじめ防止基本方針に基づき、いじめ防止等に関係する機関及び団体の連携した取組を円滑に進めるため、小田原市いじめ問題対策連絡会を開催する。	21	教育指導課
	いじめ予防教室の実施	関係機関との連携により、いじめの未然防止につながる「いじめ予防教室」を実施する。	100	教育指導課
	生徒指導員の配置	中学校において、問題発生時に臨機応変に対応・指導するほか、生徒の心に寄り添い、思いを受け止めながら、より良い学校生活について生徒が前向きに考えられるような支援をするため、生徒指導員を配置する。	18,431	教育指導課
読書活動推進事業	学校司書の配置	図書の紹介や学習と関連させた図書の配置、蔵書の管理等、学校図書館の環境整備をするとともに、児童生徒や教員に対して、読書相談や学習支援に取り組むため、学校司書を配置する。	26,948	教育指導課

(3) 健やかな体

事業	取組	内容	予算額 (千円)	所管課
体力・運動能力向上事業	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の実施	学校において、毎年全国体力・運動能力、運動習慣等調査を実施し、児童生徒が成長を実感したり、平均値との比較により自分の課題を認識するなどして、児童生徒が進んで体力向上に取り組むとともに、本市の児童生徒の体力の現状を把握するための資料とする。	0	各 校 教育指導課
	体力・運動能力向上指導員や講師の派遣・著名なアスリート派遣	諸調査実施の際に、大学等と連携した体力・運動能力向上指導員を派遣する。また、児童生徒が運動・スポーツに興味をもち、積極的に運動・スポーツに取り組むきっかけとするために、著名なアスリートを派遣する。	697	教育指導課
部活動活性化事業	部活動地域指導者の派遣・部活動指導員の配置	各中学校の実情に合わせ、生徒に対して、専門的な技術指導を行い、部活動顧問の協力者となる部活動地域指導者を派遣する。また、専門的な技術指導と対外的な練習試合や大会への引率を行う部活動指導員を配置する。	3,533	教育指導課
学校給食事業	学校給食調理業務の委託化の推進	行革の一環として経費削減のため、正規調理員の退職に合わせて、給食調理業務の委託化を推進する。	554,931	保健給食課
	地場産品の利用促進	地場産物を活用した献立や米飯給食を実施する。また、郷土食などの食文化を継承した小田原ならではの献立づくりを推進する。	0	保健給食課
	食育啓発事業の推進	栄養教諭・学校栄養職員を中心に、各小中学校において食に関する指導を行う。さらに料理教室や学校給食展を開催する。	0	保健給食課
	弁当の日の実施	生きる力を育む弁当の日を、各中学校において実施する。	0	各中学校 教育指導課 保健給食課
保健教育事業	性教育講演会の開催	生徒・保護者を対象に、医師や助産師などの専門職による講演会を開催し、性に関する正しい知識や感染症に関する知識の普及を図る。	467	保健給食課
	歯科保健事業の推進	各学校において、う歯（むし歯）・歯肉炎等、歯科疾患対策の一環として、歯科医師会とはみがき指導を行う。	510	保健給食課
	よい歯の学校・図画ポスター・標語コンクールの開催	各学校に募集し、児童・生徒の歯の口腔の正常な発育並びに歯・口腔の疾病異常の予防、歯科保健の普及啓発とそ	196	保健給食課

		の向上を図る。		
健康診断事業	定期健康診断事業	学校保健安全法に基づき、各学校において、就学時、就園時、健康診断を行う。	59,739	保健給食課
	腎疾患・心疾患・脊柱側弯症の精密検査の実施と判定会の開催	早期発見・早期治療が特に必要とされる腎疾患・心疾患・脊柱側弯症については、精密検査と専門医による判定会を開催し、健康管理体制の充実に努める。	16,061	保健給食課

(4) 生活力

事業	取組	内容	予算額 (千円)	所管課
放課後児童健全育成事業	放課後児童クラブの開設	保護者の就労や疾病等で、放課後に保護者のいない小学生を対象として安全な居場所を提供する。	355,524	教育総務課
—	体験学習事業	学校農園等を活用した栽培活動や収穫体験等を通し、収穫の喜びや食べ物に対する感謝の心などを育む取組を進める。	0	各 校
—	キャリア教育の推進	学校において、児童生徒が自分の生き方を考え、社会的・職業的自立に向けて必要な能力や態度を育成するキャリア教育を推進する。	0	各 校
—	環境教育の充実	地域の実態や児童生徒の発達の段階に応じて、教科等の教育活動全体を通して、環境問題の理解や環境保全活動に取り組み、環境教育を推進する。	0	各 校
—	携帯電話・インターネットに関する安全・安心教室	社会の急速な情報化の進展に伴い、SNSが普及し、未成年者の利用を巡るトラブルが増えているため、児童生徒が携帯電話やインターネットにより正しい情報の扱いが出来るように、専門的知識のある講師による携帯電話教室を開催する。	0	各 校
防災教育事業	防災教育パンフレットの活用	児童生徒に対し、災害時の対応についてまとめた防災教育用パンフレット「地震だ！その時どうする？」を配付する。	296	教育指導課
	防災教育、避難訓練の内容の改善・充実	各校・園の防災計画や避難訓練に対し、防災教育の専門家を派遣し、指導・助言を行う。	180	教育指導課

(5) 家庭教育

事業	取組	内容	予算額 (千円)	所管課
—	家庭学習の推進	児童生徒の学習習慣の定着を図るため、家庭学習の充実を図る取組について保護者と共に考え実践していく。	0	各 校
—	おだわらっ子ドリルの活用	児童生徒の確かな学力向上を図るため、学校や家庭において繰り返し学習することができるおだわらっ子ドリルを小田原市教育研究所ホームページに掲載する。	0	教育指導課
家庭教育学級事業	家庭教育学級等の開設	子育て期の養育者を対象に、P T Aなどで実施されている学習会のほか、幼稚園や保育園、小中学校で行われる入園、入学前説明会などの機会に、講師を派遣し、家庭教育の重要性を啓発する講座を開設する。	576	生涯学習課
P T A研修事業	P T A研修等の実施	市内小中学校のP T A役員を対象として、P T Aの課題解決、広報紙の編集技術やP T A活動における広報の意義、家庭教育講座の開設の手法等の研修を実施する。	174	生涯学習課

(6) 就学前教育

事業	取組	内容	予算額 (千円)	所管課
公立幼稚園教育推進事業	公立幼稚園の運営	支援を要する園児の増に対応するための介助教諭等の配置、延長保育の実施のほか、各種研究事業を通じて幼稚園教諭の資質向上等を図る。	69,187	教育総務課
就学前教育・保育充実事業	保育所を含めた就学前教育保育の向上	就学前教育・保育の質の向上を図るため、公立幼稚園・保育所の職員による合同研修を行うとともに、保護者との共有化や職員負担の軽減を図るため園務システムを運用する。	1,934 (保育課 予算含む)	教育総務課 保育課

(7) 学校教育

事業	取組	内容	予算額 (千円)	所管課
教職員人事・服務・健康管理事業	産業医の派遣	労働安全衛生法に則り、教職員の勤務状況を把握し、医師による面接指導を実施する。	350	教育指導課
	教職員衛生委員会の開催	市内小中学校の職場環境の改善と多忙化解消に向け、教職員衛生委員会を開催する。	0	教育指導課
	不祥事防止会議の開催、不祥事防止マニュアルの作成	学校において、事故・不祥事防止に向け、マニュアルを作成するとともに、不祥事防止のための会議や毎月の日常点検チェックリストを活用し、	0	各 校

		不祥事防止に努める。		
	定期健康診断等	学校保健安全法に基づき、教職員の定期健康診断を行うとともに、メンタルヘルスチェックや人間ドック受検費用への助成を行う。	13,487	教育指導課
教育研究所運営等事業	教職員の研修の充実	指導主事や研修相談員を学校に派遣し、校内での研修を実施し、教職員の資質及び指導力の向上を図る。また、教科指導や児童生徒指導、支援教育等の教育指導上の課題や指導法について、外部講師による講話や演習などの教職員研修を実施する。	3,236	教育指導課
	小田原版STEAM教育の導入	郷土小田原をフィールドに、生徒が身近な実社会の諸問題と出会い、その解決のため各教科での学習を統合的に働かせながら探究的・創造的な活動を行うことで、より良い社会を実現する資質・能力を育むことを目的に「小田原版STEAM教育」の導入を推進する。	11,086	教育指導課
支援教育推進事業	個別支援員等の配置	特別支援学級や通常の学級において、様々な教育的ニーズのある児童生徒に対して、教員の補助として適切な支援を行う個別支援員等を配置する。	320,421	教育指導課
	支援教育相談支援チームの派遣	医師や理学療法士、作業療法士、巡回相談員、個別指導員等による心理・発達面を含めた専門的な助言を行うため、小中学校に支援教育相談支援チームを派遣する。	2,203	教育指導課
	就学支援委員会の設置	様々な課題を持つ児童生徒に対し、その教育的ニーズや必要な支援等について検討し、適切な就学相談・指導を行うため、就学支援委員会を設置する。	370	教育指導課
	ニーズに応じた通級指導教室の設置	情緒や言語について、個別の指導や相談・支援を行うため、コミュニケーションの教室「フレンド」を小学校3校に、中学校通級指導教室を中学校1校に、ことばの教室を小学校2校に設置している。	504	教育指導課
	小学校校内支援室支援員の配置	不登校傾向の児童や校内において教室以外の居場所が必要な児童等への対応を強化するため、小学校に順次、校内支援室支援員を配置する。	3,625	教育指導課
	日本語指導協力者の派遣	外国につながるのある児童生徒が、日本語や日本の習慣等を学ぶことにより、人間関係の構築や学習の支援に	1,960	教育指導課

		つながり、学校生活に早く慣れるようにするために日本語指導協力者を派遣する。		
教育相談等充実事業	教育相談の充実、登校支援事業の推進	いじめや不登校、問題行動、発達課題等の悩みや問題を抱える児童生徒や保護者に対して、学校や関係機関等と連携を図り、諸問題を解決するために、教育相談員を配置する。 また、不登校及びその傾向のある児童生徒の、社会的に自立する力の育成を図るため、教育相談指導学級を設置するほか、不登校生徒訪問相談員や校内支援室指導員による支援を行う。	54,103	教育指導課
教育委員会事務の点検・評価事業		教育委員会事務について、教育に関する学識経験を有する者の知見を活用し、主要な事業について点検評価を行う。	66	教育総務課
—	まごころ通信の発行	教育委員会の活動内容や教育長の考えを市民や保護者、教職員に周知するために作成・発行する。	0	教育総務課
—	総合教育会議の開催	市長と教育委員会とが教育政策について協議・調整する場として、総合教育会議を実施する。	0	教育総務課

(8) コミュニティ・スクール

事業	取組	内容	予算額 (千円)	所管課
地域とともにある学校づくり推進事業	学校運営協議会の設置	保護者や地域住民の力を学校運営に生かし、質の高い学校教育の実現と、子供の抱える問題を地域ぐるみで解決できるよう、学校運営協議会を設置する。また、地域とともにある学校づくりの推進を図るために学校運営協議会の推進に関する連絡会を開催する。	3,900	教育総務課
	学校支援地域本部の設置	地域の教育力や、保護者・地域住民によるスクールボランティアの活用を推進し、地域ぐるみで子供を育てる体制づくりとして学校支援地域本部を設置する。	4,549	教育総務課
	特色ある学校づくりの推進	各校・園のグランドデザインをもとに、子供や教職員、保護者、地域住民の願いを取り入れ、子供の学びと育ちを地域ぐるみで支えていく特色のある学校づくりを推進する。	8,645	教育指導課
郷土学習推進事業	二宮尊徳学習展示	郷土の偉人である二宮尊徳翁の事績	115	教育指導課

		を学びその学習成果を展示発表し、自己の生き方への気づきや郷土を愛する心を育むため、二宮尊徳学習を実施する。		
	副読本の作成・活用	児童生徒が小田原を身近に感じ、学ぶきっかけとなるための副読本を作成し、配付するとともに、副読本を活用した自然観察会を開催する。	2,745	教育指導課
放課後子ども教室推進事業	放課後子ども教室の開設	放課後の安全・安心な子どもたちの居場所を設け、学習支援と体験活動を通じて、子どもたちを心豊かで健やかに育む。	50,164	教育総務課

(9) 教育施設

事業	取組	内容	予算額 (千円)	所管課
学校施設維持・管理事業（小学校・中学校・幼稚園）	学校施設の有効な利活用の検討	空き教室を地域コミュニティ組織における地域拠点として利用するなど、学校施設の有効活用について検討する。	0	教育総務課
	学校施設修繕ボランティア活動の支援	学校施設の軽微な修繕について、地域団体等から自主的な申し出があった場合に、必要な資材を支給する。	1,150	教育総務課
	樹木の剪定・伐採	学校敷地内にある樹木のうち、近隣等へ迷惑をかけている、又は、状態が悪化し対処が必要となった樹木について伐採・剪定する。	10,780	教育総務課
	校舎等の外壁打診調査及び補修	校舎等の外壁劣化状況を調査し、危険な部分については補修を行う。	150,381 (うち75,380はR5から繰越)	教育総務課
	屋内運動場の屋根改修	劣化が進んだ屋内運動場屋根の改修を行う。	162,070	教育総務課
	床の改修	普通教室等の劣化した床の改修を行う。	138,520	教育総務課
	屋上防水改修	劣化した屋上防水の改修を行う。	76,110	教育総務課
	給水管改修	劣化した給水管の改修を行う。	39,041 (うち11,251はR5から繰越)	教育総務課
	来客用等駐車場整地	来客用等駐車場の整地を行う。	7,832	教育総務課
	非構造部材の耐震化	屋内運動場照明器具の落下防止としてLED化への改修を行う。	146,311 (R5から繰越)	教育総務課
	特別教室への空調設置	小学校の特別教室への空調設置を進める。	126,965 (R5から繰越)	教育総務課
	トイレの環境改善	トイレの環境改善を図るため、トイレの全面改修又は洋式化を行う。	114,966 (R5から繰越)	教育総務課

	<u>グラウンド改修</u>	<u>グラウンドの整備を行う。</u>	<u>86,823</u> (R5から繰越)	教育総務課
校庭・園庭芝生管理事業		小学校校庭、幼稚園園庭の芝生維持管理を行う。	5,285	教育総務課
給食調理施設・設備整備事業	給食調理場への空調設置（共同調理場・小学校）	給食調理場への空調設置を進める。	81,070 (R4 から繰越)	保健給食課
学校給食センター整備事業	学校給食センターの整備	学校給食センターの整備を進める。	2,554,474 (うち 1,275,320 は R5 から繰越)	教育総務課
教育ネットワーク整備事業	校務ネットワークシステム等の整備・運用	校務ネットワークシステム等を整備・運用することにより成績処理等の正確性の向上、効率化を図り、教職員の事務負担の軽減及び教育の情報化の推進を図る。	196,199	教育指導課
新しい学校づくり推進事業	新しい学校づくり推進基本計画・施設整備指針の検討・策定	基本方針を踏まえ、基本計画及び整備指針の検討・策定を行う。	12,460	教育総務課
	小学校水泳授業実施委託料	近隣のスイミングスクールや三の丸小学校を拠点として水泳授業を実施する。	13,547	
学校安全対策事業	学校災害によって発生した費用の補填	学校管理下における災害について、医療費等の給付を行う。	17,173	保健給食課
—	小田原市通学路安全プログラムの運用	通学路の安全対策について、関係機関と連携して改善を図る。	0	保健給食課
—	<u>おだわらっ子見守りサービスの導入</u>	<u>児童の安心かつ安全な暮らしの実現のため、児童に専用端末を配付し、位置情報等を記録するシステムを導入する。</u>	<u>0</u>	保健給食課
—	広域避難所の開設と運営	災害時に学校が避難所となった場合は、避難所の運営について協力する。	0	教育総務課

【生涯学習】

1 青少年育成の推進

(1) 青少年育成指導者等育成

事業	取組	内容	予算額 (千円)	所管課
青少年育成指導者層の形成	青少年指導者の養成研修及び派遣	地域や学校における体験学習を継続的に支援するための指導者育成や派遣を行う。	1,074	青少年課
	青少年リーダーの育成推進	指導者としての技術を身に付けたリーダーを育成し、地域のパイプとなるリーダーを養成する。	559	青少年課

(2) 子どもの社会参画力育成

事業	取組	内容	予算額 (千円)	所管課
体験・交流学习の充実	非日常型体験学習等を推進	子どもが社会の中で自立し、他者と連携・協働しながら生き抜く力を身に付ける機会として各種事業を実施する。	3,567	青少年課

2 歴史資産の保存と活用

(1) 史跡小田原城跡などの整備

事業	取組	内容	予算額 (千円)	所管課
史跡小田原城跡等整備事業	史跡小田原城跡の整備	史跡小田原城跡保存活用計画に基づき、近世城郭である本丸・二の丸の保存整備を行う。	71,464	文化財課
	史跡石垣山の保全対策	史跡石垣山の落石危険箇所の保全対策を行う。	39,392	文化財課
	史跡等用地の取得	史跡小田原城跡保存活用計画に基づき、史跡を保存していくため、史跡用地の公有地化を行う。	129,513	文化財課

(2) 文化財の保存と活用

事業	取組	内容	予算額 (千円)	所管課
埋蔵文化財調査・整理事業	埋蔵文化財の緊急発掘調査	遺跡に影響を及ぼすような開発行為等の計画に対して試掘調査を実施するとともに、本格調査の支援、調整、指導を行う。	133,600	文化財課
	遺物の保存管理	発掘調査によって得られた成果を永く後世に伝えとともに、誰もが活用できるように資料整理を行う。	2,643	文化財課
文化財保存・管理事業	文化財の保存管理及び修理助成	国指定史跡等の見回り監視や草刈り業務を実施するほか、指定文化財等を適正に保存管理するため、所有者や団体への支援を行う。	21,297	文化財課
文化財啓発事業	文化財の公開活用	遺跡調査発表会等を実施するほか、指定文化財の一般公開や文化財啓発用冊子等を発刊する。	3,087	文化財課

(3) 博物館構想の推進

事業	取組	内容	予算額 (千円)	所管課
博物館構想推進事業	博物館講演会や出張講座・展示等の開催	博物館基本構想の理念を具現化するため地域資源を活用した出張講座や展示、博物館をテーマとした講演会を実施し、市民の博物館建設の機運を高める	50	生涯学習課

博物館構想推進事業	「おだわらデジタルミュージアム」の運営	本市が収蔵する資料をデジタル化し、そのデータを一つのホームページに集約した「おだわらデジタルミュージアム」を運営する。併せて、未整理資料のデジタル化を推進し、コンテンツの更なる充実を図る。	9,290	生涯学習課
-----------	---------------------	--	-------	-------

3 文化・芸術の振興

(1) 小田原ゆかりの文化の保存・活用事業

事業	取組	内容	予算額 (千円)	所管課
郷土文化館分館松永記念館 資料収集・保管・活用事業	松永記念館交流事業・自主事業の開催	板橋地域の住民との協働による「夢見遊山いたばし見聞楽」や松永記念館の魅力を活かしたイベント、庭園呈茶等を実施する。	150	生涯学習課
—	小田原文学館の管理・運営	小田原に関係する文学者の著書、原稿、愛用品等を収集及び展示し、小田原の優れた文化的壌土を広く情報発信する。	31,416	図書館
—	小田原文学館特別展の開催	小田原ゆかりの作家等をテーマに特別展を開催し、小田原固有の文学的風土等について全国に向け情報を発信する。	— (上記「小田原文学館の管理・運営」に含む)	図書館

4 生涯学習の振興

(1) 多様な学習の機会と情報の提供

事業	取組	内容	予算額 (千円)	所管課
キャンパスおだわら事業	学習講座の開催	学習講座の認定、開催を行う。	10,846	生涯学習課
	生涯学習きらめき出前講座・体験学習の開催	市職員が市民の元に出向き、行政の取り組みや職員の専門知識を生かした講座を実施する。		生涯学習課
	学習情報の収集・発信	キャンパスおだわらホームページの運営や自分時間手帖の発行などを行う。		生涯学習課
	生涯学習相談窓口の運営	生涯学習センターけやきにおいて、生涯学習相談窓口を運営する。		生涯学習課
	キャンパスおだわら人材バンクの運営	市民の学ぶ喜び、教える喜びを実現するため、キャンパス講師の登録・活用を行う。 キャンパス講師を活用した、子ども向けイベント「夏休み子どもおもしろ学校」などを実施する。		生涯学習課

おだわら市民学校事業	「おだわら市民学校」の運営	「持続可能な地域社会」を実現するため、広く市民の方々に対して、地域資源を活用した長期的、体系的な学びの場「おだわら市民学校」を官民が協力し提供することで、様々な分野で活動する担い手を育成する。	10,550	生涯学習課
生涯学習施設管理運営事業	生涯学習センターの管理・運営	生涯学習センター本館、国府津学習館の管理・運営を行う。	37,685	生涯学習課
	郷土文化館の管理・運営	郷土文化館本館の管理・運営を行う。	10,854	生涯学習課
	松永記念館の管理・運営	郷土文化館分館松永記念館（老樺荘・庭園・駐車場等を含む）の管理・運営を行う。	34,503	生涯学習課
	尊徳記念館の管理・運営	尊徳記念館の管理・運営を行う。	71,590	生涯学習課
	学校施設の開放の充実	社会教育及び社会体育の振興を図るため、小中学校の施設・設備を学校教育上支障のない範囲内で市民等に開放する。	0	生涯学習課
地区公民館育成支援事業	地区公民館の育成支援	公民館大会や地区公民館いきいきフェスタを年1回開催し、地区公民館の活動を奨励する。また活動費や修繕費、建設費の補助を行う。	14,816	生涯学習課

（２）郷土についての学びの推進

事業	取組	内容	予算額 (千円)	所管課
尊徳学習・顕彰事業	子ども映画会と金次郎のおはなし等の実施	幼児や児童を対象に、金次郎が暮らした江戸時代の生活や遊びに触れる機会を提供するため、昔話を中心とした映画鑑賞や昔遊び、尊徳翁の教えの分かりやすい解説を実施する。	1,767	生涯学習課
	「二宮金次郎とわたし」作文募集	小学校5・6年生を対象に、夏休みの課題として作文募集を行い、尊徳祭で優秀作品の発表を行う。		生涯学習課
	ボランティア解説員による展示案内等	尊徳翁の事蹟と教えを普及するため、尊徳翁及び報徳仕法に造詣が深い元教員等がボランティア解説員として、来館者等に対する展示案内・解説等を実施する。		生涯学習課
	尊徳祭の開催	尊徳翁をしのび、生まれ育った栢山の地にて培われた考え方や教えを学ぶとともに、多くの偉業を顕彰することを目的に開催する。		生涯学習課

尊徳資料収集・保管・活用事業	二宮尊徳関係資料の収集・保管・活用	尊徳翁が残した遺品及び関係資料を収集し、保全を図り、データの整備や一般への公開をする。県指定重要文化財である二宮尊徳生家を保存し、公開する。	13,534	生涯学習課
特別展開催事業	特別展の開催に向けた準備	次年度以降の特別展の開催に向けた出品資料の選定及び資料のクリーニング、収蔵庫の燻蒸作業等を行う。	2,267	生涯学習課
郷土資料収集・保管・活用事業	郷土文化館本館の資料の収集・保管・活用	郷土資料の収集保管、調査研究、展示活動を含む教育普及事業を実施するほか、史跡散策や自然観察（磯・里山等）、歴史・民俗系の郷土研究会等を開催する。また、地域に点在する史跡・祭礼などの有形無形の文化財を含む地域資源の調査及び活用を行う。	1,047	生涯学習課
	郷土文化館分館松永記念館の資料の収集・保管・活用	近代小田原三茶人など郷土ゆかりの美術品等の収集保管、調査研究、展示活動を含む教育普及事業を実施するほか、茶会、講演会等の事業を開催する。	497	生涯学習課
	地域資料の収集、保存と公開	図書館で収集した古文書をはじめとする各地地域資料を整理・保存し、公開する。	9,197	図書館
	貴重資料の修復及びデジタル化の推進	貴重資料の保全と利便性を図ることによる活用の促進のため、デジタルデータ化を進める。	800 再掲(地域資料の収集、保存と公開に含まれる)	図書館

(3) 学んだ成果を生かす環境づくり

事業	取組	内容	予算額 (千円)	所管課
生涯学習支援事業	市民の生涯学習活動の支援	市主催生涯学習事業に参加を希望する幼児等の保護者が安心して参加できるよう託児の支援を行う。	235	生涯学習課
学習成果発表事業	生涯学習フェスティバルの開催	生涯学習団体の活動を広く一般に紹介し、会員の拡大や団体活動の充実発展につながる場を提供する。	100	生涯学習課

(4) 図書館の機能と役割の充実

事業	取組	内容	予算額 (千円)	所管課
図書館管理運営事業	中央図書館の管理・運営	小田原市立中央図書館の管理運営と、令和2年3月末に閉館した旧市立図書館の管理を行う。	291,464	図書館
	小田原駅東口図書館の管理・運営	小田原駅東口図書館の管理運営を指定管理者により行う。	182,145	図書館
	読書活動推進計画に基づく事業の推進	読書活動の推進や環境の充実について考える機会の提供を目的とした講演会	242	図書館

		や読み聞かせに関する講座等を開催する。		
	デジタル図書館事業の実施	読書や情報収集に対する利便性の向上を図るため、電子図書館や新聞のデジタルデータベースを導入する。	4,573	図書館
ー	本のりさいくる事業の実施	古くなった本および寄贈されたが蔵書としない本を、中央図書館内リサイクルコーナーにて利用者に提供する。	0	図書館
	図書館体験事業の開催	小学生を対象に、図書館の仕事体験を通じて図書館を身近に感じてもらうため開催する。	11	図書館
	図書館ネットワーク施設の連携	市内図書館と6ネットワーク施設をコンピュータネットワークで結ぶことにより、蔵書の一元化と希望施設での貸出返却を可能にする。	38,602	図書館
	小田原市図書館を使った調べる学習コンクールの開催	市内小学生を対象に、身近な疑問やテーマについて図書館を使って調べ、まとめたものを募集し、優秀な作品には賞を授与する。	77	図書館
	市民参加型図書館活性化事業	図書館を利用して活躍でき市民を創出し、また、イベントに参加することを目的とした新たな図書館利用者客を増やす。	0	図書館

5 生涯スポーツの振興

(1) スポーツ活動を支える環境づくり

事業	取組	内容	予算額 (千円)	所管課
学校体育施設開放事業	学校体育施設の開放、学校運動場照明施設の開放及び学校プール開放に対する助成	市立小学校25校、中学校11校の体育館及び小学校2校、中学校2校の運動場（国府津・豊川小学校、酒匂・白山中学校）を学校教育に支障のない範囲で開放している。 また、学校運動場照明施設を設置した国府津・豊川小学校、酒匂中学校の運動場を4月から11月まで夜間に開放している。（酒匂中学校のみ試行的に3月まで開放） その他、プール運営委員会が実施主体として行っている学校プール開放に対し運営費の一部を助成している。	8,275	スポーツ課

◇ 年度別教育費予算額・決算額

上段：当初予算額

下段：決算額（決算額は百円の位を合計額と合うように調整している。）

（単位：千円）

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
一 般 会 計	67,900,000	69,400,000	71,000,000	74,800,000	76,500,000
	97,384,523	77,181,764	78,133,702	80,235,137	－
対前年度伸率（％）	0.89	2.21	2.31	5.35	2.27
	37.63	△ 20.75	1.23	2.69	－
教 育 費	6,115,564	7,160,139	7,436,938	7,709,572	8,069,318
	7,843,628	7,114,690	7,969,263	7,929,539	－
一般会計に占める割合 （ ％ ）	9.01	10.32	10.47	10.31	10.55
	8.05	9.22	10.20	9.88	－
対前年度伸率（％）	1.53	17.08	3.87	3.67	4.67
	10.49	△ 9.29	12.01	△ 0.50	－
教 育 総 務 費	1,503,254	2,616,276	2,919,713	2,846,258	3,077,783
	2,716,694	2,503,258	3,092,126	3,309,172	－
小 学 校 費	1,971,118	1,797,974	1,821,797	1,631,662	1,844,509
	2,085,571	1,881,555	1,975,718	1,947,810	－
中 学 校 費	392,647	438,773	447,692	521,406	570,708
	440,798	540,678	660,965	564,949	－
幼 稚 園 費	279,299	272,600	272,957	258,984	295,331
	247,223	214,856	223,102	209,863	－
社 会 教 育 費	1,565,327	1,626,669	1,589,455	1,779,884	1,863,390
	1,795,577	1,599,848	1,657,274	1,523,539	－
保 健 体 育 費	403,919	407,847	385,324	671,378	417,597
	557,765	374,495	360,076	374,205	－

◇ 令和6年度当初予算教育費各目明細

項 目 節	教 育 総 務 費			小 学 校 費		中 学 校 費		幼稚園費
	教 育 委員会費	事 務 局 費	学校給食共 同調理場費	学校管理費	教 育 振 興 費	学 校 管 理 費	教 育 振 興 費	幼稚園費
報 酬	6,476	400,365	11,693	35,617	38,148	26,996	2,064	50,609
給 料		275,901		45,300		2,143		89,121
職 員 手 当 等		352,986	4,135	30,117	1,188	5,223	465	75,418
共 済 費		181,324		16,547	597	20		29,359
災 害 補 償 費		32						
報 償 費	66	19,694	262	354	339	129	540	150
旅 費	21	16,420	266	222	4,468	206	464	1,943
交 際 費	300							
需 用 費	11	833,232	65,028	406,725	67,340	151,686	123	11,932
役 務 費		19,256	649	20,204	3,469	10,883		1,411
委 託 料		101,352	236,625	419,236	353,408	41,206		2,628
使 用 料 及 び 賃 借 料		446,835	243	63,142	245	26,357	157	1,669
工 事 請 負 費			75,318	247,996		245,952		30,224
原 材 料 費				404		100		15
公有財産購入費								
備 品 購 入 費		797	4,564	17,390	584	9,365		441
負 担 金 補 助 金 及 び 交 付 金	72	17,922		1,693	766	600	3,641	411
扶 助 費		4,000			69,010		42,388	
補 償 補 填 金 及 び 賠 償 金		1,938						
繰 出 金								
計	6,946	2,672,054	398,783	1,304,947	539,562	520,866	49,842	295,331

(単位：千円)

社 会 教 育 費							保 健 体 育 費		合 計
社会教育 総務費	青少年 対策費	文化財 保護費	生涯学習 センター 費	図書館費	郷土 文化館費	尊徳 記念館費	保健体育 総務費	体育 施設費	
3,720	424	40,514	21,970	35,198	15,931	9,599	4,831	7,736	711,891
209,387					2,587		38,639		663,078
155,647		14,378	8,109	10,608	7,138	3,600	32,851	2,298	704,161
68,076		8,237	4,278	6,073	695	41	14,547	614	330,408
									32
594	5,431	2,458	1,850	340	862	1,435	769	6,260	41,533
540	101	4,090	1,930	1,272	310	171	83	150	32,657
									300
1,180	1,280	17,286	14,151	33,022	5,579	15,479	1,210	15,269	1,640,533
	321	1,388	6,769	1,954	643	866	460	815	69,088
470	4,469	173,458	24,545	308,029	10,285	18,292	4,078	205,613	1,903,694
	30	1,173	235	149,508		2,121	187	5,757	697,659
		15,508		11,388	14,461	35,200			676,047
								10	529
		53,922		208,600					262,522
			388	73				436	34,038
22	3,990	3,102	8,635	290	17	87	74,944	40	116,232
									115,398
		67,000							68,938
				580					580
439,636	16,046	402,514	92,860	766,935	58,508	86,891	172,599	244,998	8,069,318

◇ 一人当たりの当初予算額調

(1) 児童・生徒一人当たりの学校教育費

区 分		小 学 校				中 学 校			
		令和5年度	令和6年度	増減額	伸 率	令和5年度	令和6年度	増減額	伸 率
学 校 管 理 費		千円 1,157,441	千円 1,304,947	千円 147,506	% 12.74	千円 471,442	千円 520,866	千円 49,424	% 10.48
教 育 振 興 費		474,221	539,562	65,341	13.78	49,964	49,842	△ 122	△ 0.24
学 校 建 設 費		-	-	-	-	-	-	-	-
計	総 計	1,631,662	1,844,509	212,847	13.04	521,406	570,708	49,302	9.46
	A 除建設費	1,631,662	1,844,509	212,847	13.04	521,406	570,708	49,302	9.46
児 童 ・ 生 徒 数		人 7,813	人 8,138	人 325	% 4.16	人 4,035	人 4,235	人 200	% 4.96
一人当 たりの 予算額 A/B	総 計	円 208,839	円 226,654	円 17,815	% 8.53	円 129,221	円 134,760	円 5,539	% 4.29
	除建設費	208,839	226,654	17,815	8.53	129,221	134,760	5,539	4.29

児童・生徒数は5月1日現在

(2) 園児一人当たりの幼稚園費

区 分	令和5年度	令和6年度	増減額	伸 率
幼 稚 園 費 A	千円 258,984	千円 295,331	千円 36,347	% 14.03
園 児 数 B	人 154	人 147	人 △ 7	% △ 4.55
一人当 たりの 予 算 額 A/B	円 1,681,714	円 2,009,054	円 327,340	% 19.46

園児数は5月1日現在

(3) 市民一人当たりの社会教育費、保健体育費

区 分	社 会 教 育 費				保 健 体 育 費			
	令和5年度	令和6年度	増減額	伸 率	令和5年度	令和6年度	増減額	伸 率
予 算 額 A	千円 1,779,884	千円 1,863,390	千円 83,506	% 4.69	千円 671,378	千円 417,597	千円 △ 253,781	% △ 37.80
人 口 B	人 186,813	人 186,094	人 △ 719	% △ 0.38	人 186,813	人 186,094	人 △ 719	% △ 0.38
一人当 たりの 予 算 額 A/B	円 9,528	円 10,013	円 485	% 5.09	円 3,594	円 2,244	円 △ 1,350	% △ 37.56

人口は5月1日現在

◇ 組織図

(令和6年6月1日現在)

教育長	教育 部 (部長1人)	教育総務課(19人)	総務係(5人)	
		(課長2人、副課長3人)	地域教育推進係(4人)	他に放課後子ども育成指導員1人
			学校施設係(4人)	
		保健給食課(18人)	保健係(4人)	
		(課長1人)	給食係(14人)	
			うち学校給食センター (4人 他に県費:1人(本務校:鴨宮中))	
			橘学校給食共同調理場(県費:1人)	
			豊川学校給食共同調理場(2人 うち1人育児休暇中)	
			国府津学校給食共同調理場(県費:1人)	
		教育指導課(22人)	指導係(5人)	
市長	文化 部 (部長1人 担当部長1人 副部長1人)	(課長1人、担当課長2人、副課長1人)	教育相談係(5人)	他に教育相談員6人、特別支援教育相談員4人、心理相談員6人、相談指導学級指導員2人
			学事・教職員係(6人)	県費:相談指導学級責任者1人、通級指導教室担任2人 *おだわら子ども若者教育支援センター
			教育研究所(2人)	他に研究所所長1人、研修相談員3人
		小学校25校		(栄養士12人(他に県費:4人))
		中学校11校		
		幼稚園5園		(園長5人、副園長3人、教諭17人)
		生涯学習課(20人)	生涯学習係(7人 うち再任用3人)	他に社会教育支援員1人、社会教育指導員2人
		(課長1人、副課長2人)		*生涯学習センター本館(けやき)、国府津学習館、小田原市集会所
			郷土文化館係(5人 うち再任用2人)	*郷土文化館、分館松永記念館、老樺荘
			尊徳記念館係(5人 うち再任用1人)	*尊徳記念館
市長	文化 部 (部長1人 担当部長1人 副部長1人)	文化財課(15人)	文化財係(3人)	
		(課長1人、副課長3人)	史跡整備係(4人 うち再任用1人)	他に史跡管理嘱託員1人
			埋蔵文化財係(4人 うち交流職員1人)	
		図書館(14人)	管理係(3人 うち再任用1人)	*中央図書館(かもめ)、旧市立図書館、小田原文学館
		(館長(副副部長兼務)1人、副館長3人)	資料係(7人 うち再任用1人)	他に郷土資料嘱託員1人
				*小田原駅東口図書館
		スポーツ課(12人)	管理係(7人 うち再任用1人)	*小田原アリーナ、小田原テニスガーデン、城山庭球場、城山陸上競技場、城内弓道場、酒匂川スポーツ広場、御幸の浜プール ほか4施設
		(課長1人、担当課長1人)		
			スポーツ振興係(3人)	
		子ども若者部	青少年課(6人)	育成係(5人)
市長	子ども若者部 (部長1人 副部長1人)	(課長1人)		

※ 平成23年度から文化(文化財保護を除く)とスポーツ(学校における体育を除く)に関する事項については、「小田原市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例」の条例を制定し、市長の権限に属する事務としている。その他の教育委員会の権限に属する事務については、市長部局の職員に補助執行(注)させている。

(注): 補助執行とは、事務の権限を市長に移動させず、教育委員会に残したまま、市長部局の職員に事務を執行させることである。補助執行させる事務は、対外的には教育委員会の名において執行される。

学 校 教 育

◇ 小田原の学校変遷 主として小・中学校

小田原近代教育の発展は、藩校集成館の創設に始まる。集成館は、文政5年(1822)大久保忠真の創設で、諸稽古所とも言い、後に文武館と改められたが、近世後期の藩立学校として、注目すべき教育機関であった。

明治5年(1872)4月に至り、文武館は閉鎖され、その原資金及び有志の寄付金を資金とし、新しい時代の要請に応じて、共同学校(中学校)を小田原駅(旧小田原町)十字町四丁目大久保忠良私邸に、日新館(小学校)を幸町一丁目(旧城内三の丸内)に開校した。足柄県は、明治6年4月から学制を実施し、日新館は、新学制に基づく公立小学校となったが、小田原最初の小学校の誕生であって意義深い。

明治4年7月、小田原藩のあとに小田原県が置かれ、同年11月には、小田原県を廃して足柄県となり、明治9年4月には、神奈川県に併合された。足柄県は、学制に基づき、学校の設立、児童の就学を奨励した。それについて、旧足柄県と従来の神奈川県とについて比べてみると、足柄県はその水準がはるかに高かったことを示しており、そのことから、郷土の先輩の教育振興にかけた努力の並々ならぬものがあったことを知ることができる。

足柄県時代から明治10年代にかけて、小田原駅内小学校設立の状況をみると、明治6年、日新館の外に啓蒙館、壺丁田学校が開校し、さらに8年には西海子学校が設立されたが、以後統廃合が行われて、幸学校(明治12.7設立女子校)、啓蒙学校(明治13.8設立男子校)の2校となった。まことにその変遷は目まぐるしいものがあった。また、当時の小田原駅周辺地域(現小田原市)内小学校も、同様であった。学制頒布以来、教育諸法令はしばしば改正され、学校体系、教育内容等も改められた。明治20年頃までは教育の草創期と言えよう。

なお、明治10年代から20年代にかけて、小田原地域の経済上の苦境は甚だしく、そのことは、学齢児童の就学にも影響し、当時の記録によると、学齢児童就学の割合は、40～50%台であったことを知ることができる。就学困難な学齢児童の就学のため、明治12年には簡易小学校が設けられ、さらに、明治23・24年にかけて私立簡易小学校の設置が有志によって行われ、尋常小学校に入ることができない者に、小学簡易科を教授した。

明治22年4月1日、町村制が施行され、従来の小田原駅5か所(幸、緑、十字、万年、新玉の各町)を合併して小田原町となった(人口約13,000人、戸数約3,000戸)。

明治26年2月4日、お壕端幸学校跡に、尋常高等小田原小学校が新築落成し、小田原全町の児童がこの校舎で学べるようになった。

明治33年12月1日、組織改正により、尋常高等小田原小学校は独立の2校となり、高等小田原小学校を幸1丁目853番地の旧藩校跡に、従来の場所に、尋常小田原小学校を置いた。明治41年4月1日、高等小田原小学校を第一尋常高等小田原小学校、尋常小田原小学校を第二尋常高等小田原小学校と改めた。

明治23年代から40年代にかけて、教育政策の基本方針が設定され、近代教育制度の確立と整備が進められた。

大正期から昭和期にかけては、時代の新しい動向に応じて、教育体系が補強拡充され、昭和6年(1931)以降臨戦体制となり、教育の非常措置がとられ、昭和16年4月1日には、国民学校が発足した。

昭和15年12月20日、市制施行により、足柄第一小学校及び飯田岡、久野分教場、足柄第二小学校及び町田分教場、大窪小学校、早川小学校、山王原分教場が小田原市立となった。

戦後教育の第一期は、画期的な学制改革による6・3制の発足から始まる。第二期は、昭和27年4月の平和条約の発効により独立を回復してからであり、教育の量的拡大とともに、その質的向上の必要が改めて認識されるようになった。昭和27年11月1日には、すべての市町村に教育委員会が設置された。平成4年4月に三の丸小学校が開校し、小学校25校、中学校12校、幼稚園6園となったが、平成22年3月に片浦中学校を閉校としたため、令和6年4月現在で小学校25校、中学校11校、幼稚園6園(内1園が休園)となっている。



小田原市の学校教育

学校教育における
目指す子どもの姿 未来を創るたくましい子ども

小田原市教育振興基本計画（令和5年度～令和9年度）

基本目標

一人ひとりの命を尊重し、
豊かに伸ばす自分づくり

地域ぐるみで取り組む
教育環境づくり

多様性を認め、生かしていく
教育のまちづくり

生涯学び、活躍する
社会を築く環境づくり

基本姿勢

誰ひとり取り残さない学びの推進

地域資源を生かした学びの推進

公民連携による学びの推進

おだわらっ子の約束の普及と実践

- 施策の展開
- 1 社会教育
 - 2 家庭教育支援
 - 3 幼児教育・保育
 - 4 学校教育・
地域とともにある学校
 - 5 学びの環境整備

※学校教育は、特に4を中心に重点施策を展開

令和6年度 教育指導の重点（目指す姿と方向性）

学 ぶ 力

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させるとともに、「指導と評価の一体化」を図ります。
身に付けた知識や技能を使い、対話や体験を取り入れながら、生涯にわたって学び続けられる取組を推進します。

- ・日々の学習指導や学習評価において、子ども一人ひとりを適切に見取り、伸ばす評価（点から線の評価）を実践します。★
- ・「主体的・対話的で深い学びの実現」、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」に向けた指導の工夫・改善のため、エビデンス（全国学力・学習状況調査やステップアップ調査）に基づく授業改善に努めます。
- ・小田原の豊かな素材を教材とした、探究的・創造的な学びを推進します。
中学校の総合的な学習の時間では、「小田原版STEAM教育」の実践を進めます。
- ・積極的な授業公開に努めるとともに、授業研究や学習の成果を発信・共有します。
- ・デジタル教科書や学習支援ソフトなど、ICTを積極的に授業に導入します。
- ・国際社会で活躍する資質・能力の育成のため、
多文化理解教育や外国語教育を推進します。

豊かな心

文化・芸術に触れ、本物に出会い、体験することで、感性を育むとともに、個性や多様性を尊重し、他人を思いやるなど、豊かな人間性と社会性を育む取組を推進します。

小田原の自然や産業、文化、芸術、スポーツなど【こと】や【もの】との関わりをと
おして豊かな人生を歩む力を養います。

- ・教育活動全体を通じて、生命の尊さや人権を尊重する態度の育成を目指した、
人権教育を推進します。★
- ・「特別の教科/道徳」を要として、教育活動全体を通して道徳教育を推進します。
- ・インクルーシブ教育の視点から、支援教育の充実を図るとともに全ての子どもが
できるだけ同じ場で学ぶ環境を整えます。
- ・子ども一人ひとりに寄り添った支援を心がけ、保護者や関係機関と連携した組織的
な相談・支援体制を構築します。

・発達支持的な生徒指導の充実を図り、不登校や
いじめ、問題行動等の未然防止、早期対応に組織的
に取り組めます。

社会力の育成

～子どもたち一人ひとりが充実した人生を送り、
より良い地域社会を創るために～

健やかな体

ライフステージに応じたスポーツ活動や食育を推進し、未病の改善や健康寿命の延伸を
図りながら、心身ともに健康で安全な生活を実現するための学びの機会を提供します。
生涯を通じて運動やスポーツに関わろうとする態度や、食事・運動・睡眠など健康で安全
な生活を自ら営むための知識や生活習慣を身に付けた児童生徒の育成を目指します。

- ・防災・防犯・交通安全・熱中症防止・感染症対策など、常に子どもの命と安全を最優先に考え
ます。★
- ・「新体力テスト」に基づき、健康の大切さを実感し、運動の楽しさや喜びを味わわせること
ができる体育授業の改善や、スポーツ活動等の充実を図ります。
- ・定期的な安全点検を実施し、安心・安全な学校づくりを推進します。
- ・地場産物や郷土の食文化を継承した給食を生きた教材として、食育の充実に取り組めます。
- ・中学校の部活動については、国の方針等を踏まえ、生徒の活動を確保できるような部活動の
在り方について検討します。

様々な交流や体験を通じて、ひとが多様な関わり合いの中で自立し、他者と協働
することで、生涯にわたって生き抜く力の育成を推進します。
学級や学年を超えた仲間や地域など【ひと】との関わりをとおして、自己肯定感を
もち、互いの良さを認め、高め合う力を育みます。

- ・小田原の豊かな自然や産業、伝統文化に関心を持ち、社会に主体的に参画しよう
とする態度の育成を目指します。★
- ・教育課程全般にわたり、【ひと・こと・もの】と関わる機会を創出します。
特に、学校行事では、体験的な学びを重視します。
- ・スクールボランティア活動を推進し、保護者・地域との関わりの充実を図ります。
- ・体験的な学びをとおした、福祉教育や環境教育の充実にも努めます。
- ・自分を守る実践力と支援者としての意欲を高める、防災教育の充実に取り組めます。

「社会に開かれた教育課程」の実現を目指し、「カリキュラムマネジメント」の充実を図ります。
家庭や地域と連携協力し、一体となって子どもの健やかな成長を図るために、地域とともにある学校づくりを推進します。
各校の実態に応じて、全ての子どもができるだけ同じ場で共に学ぶインクルーシブ教育を推進します。

※各校では★の取組を学校評価の共通項目として設定します。

教職員の資質・能力の向上

教職員一人ひとりが自己研鑽するとともに、「チーム学校」として互いに学び合い、高め合いながら、それぞれの資質・能力の向上を図ります。子どもの学びと育ちを一番に考え、行動する、「組織人」としての意識の高い教師集団を形成します。
・OJTによる人材育成を推進します。

- 教育への熱意を持った教師 一人ひとりを共感的に理解し、伸ばしていこうとする姿勢、仕事に対する責任感や情熱がある
- 豊かな人間性を備えた教師 豊かな人権感覚を持ち、個人としても充実した生活を送っている
- 組織人として機能する教師 切磋琢磨し高め合うとともに、「チーム学校」として取り組む職員組織を形成することができる

働き方改革推進

教職員が心身ともに充実して子どもたちと向き合うために、教職員研修の充実および職場環境・働き方の改善を目指します。

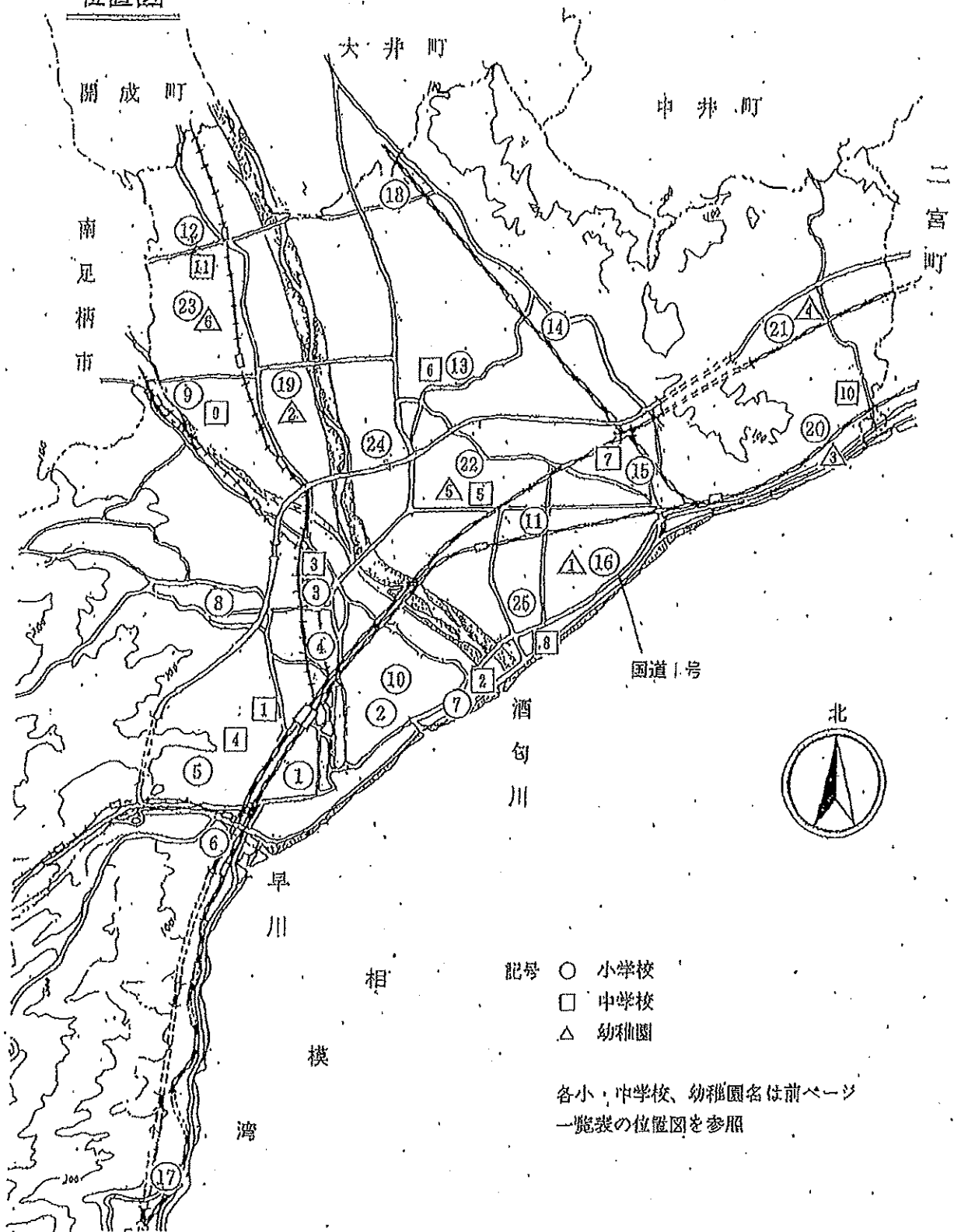
- ・在校等時間管理システムを活用した見える化等により、働き方改革を推進します。
- ・ICTの活用による業務負担軽減を図ります。
- ・教職員の行うべき業務を明確化し、スクールサポートスタッフ等の有効な活用を進めます。

◇ 小田原市立小・中学校、幼稚園一覧

(令和6年5月1日現在)

区分	校(園)名	所在地	創立年月日	校(園)長名	教頭(主任)名	電話番号	位置図
小 学 校	三 の 丸	本町1-12-49	平成4.4.1	菴 原 晃	土 屋 智 美	22-5164	1
	新 玉	浜町2-1-20	大正3.6.15	山 田 明 子	小 林 裕 史	22-5167	2
	足 柄	扇町3-21-7	明治6.5	林 健一郎	笹 森 祐 之	34-1314	3
	芦 子	扇町1-37-7	昭和13.4.1	石 井 美佐子	下 川 哲 也	34-8244	4
	大 窪	板橋985	明治6.6	楠 喜久子	高 橋 正 憲	22-1309	5
	早 川	早川2-14-1	明治6.5	中 島 慶 太	生 垣 麻 美	22-4892	6
	山 王	東町2-9-1	昭和20.4.1	釧 持 ゆ か	村 山 一 利	35-2654	7
	久 野	久野1561	昭和22.9.1	力 石 清	大 澤 ひかる	35-3530	8
	富 水	飯田岡481	昭和22.9.1	鈴 木 一 彦	柴 田 典 子	36-3291	9
	町 田	寿町2-7-25	昭和22.9.1	藤 本 明 美	山 口 博	34-5290	10
	下 府 中	酒匂930	昭和6.5.22	村 田 久美子	浅 川 能 之	47-3364	11
	桜 井	曾比1943	明治26.5.22	栗 原 光	瀬 戸 哲 子	36-0451	12
	千 代	千代687	明治6.6	有 光 明 子	小 林 祐 介	42-1650	13
	下 曾 我	曾我原333	大正14.1.15	木 村 弘 子	片 淵 徳 子	42-1607	14
	国 府 津	国府津2485	明治6.5.1	浜 口 勝 己	加 藤 亜 衣	48-1777	15
	酒 匂	酒匂5-15-3	明治6.5.13	高 田 秀 樹	橋 本 賢 治	47-3660	16
	片 浦	根府川534-1	大正4.10.24	山 本 礼 子	物 部 典 彦	29-0250	17
	曾 我	曾我大沢69	明治6.5	松 嶋 淳 一	山 田 亜紀子	42-2278	18
	東 富 水	中曾根359-1	昭和45.4.1	井 上 智 子	濱 島 功	36-3236	19
	前 羽	前川858	明治6.5.1	加 藤 まゆみ	横 山 聡	43-0331	20
	下 中	小船178	明治24.9.1	大須賀 剛	小 畑 由美子	43-0610	21
	矢 作	矢作227	昭和48.4.1	岩 田 真由美	宇 根 頼 子	48-1286	22
	報 徳	小台405	昭和52.4.1	瀬 戸 由里子	浅 川 麻 子	37-2800	23
	豊 川	成田530-1	昭和58.4.1	平 居 智 基	藤 森 広一郎	36-8551	24
	富 士 見	南鴨宮3-25-1	昭和60.4.1	安 多 寿 子	鈴 木 孝 宗	48-7116	25
中 学 校	城 山	城山3-4-1	昭和22.4.1	市 川 嘉 裕	山 口 清 子	34-0209	1
	白 鷗	東町4-13-1	昭和22.4.1	北 川 誠	佐 藤 亜良太	34-1736	2
	白 山	扇町5-7-17	昭和22.4.1	村 上 晃 一	伊 藤 由 紀	34-9295	3
	城 南	板橋875-1	昭和22.4.1	加 藤 直 樹	川 口 英 明	22-0274	4
	鴨 宮	鴨宮547	昭和24.3.1	永 山 健 治	奥 津 美 香	47-3361	5
	千 代	千代800	昭和22.4.1	中 村 栄 江	宮 坂 宗 篤	42-1640	6
	国 府 津	国府津2372	昭和22.4.1	北 村 しのぶ	吉 田 健太郎	47-9148	7
	酒 匂	酒匂3-4-1	昭和22.4.1	稲 毛 真 弓	藤 原 克 彦	47-3344	8
	泉	飯田岡22	昭和42.4.1	綾 部 敏 信	石 川 弥 生	36-3440	9
	橘	羽根尾410	昭和22.4.1	磯 辺 和 彦	松 澤 文 恵	43-0250	10
	城 北	栢山2888	昭和50.4.1	富 田 雅 浩	渡 邊 仁	36-9518	11
幼 稚 園	酒 匂	酒匂6-8-26	昭和28.9.1	古 木 美 貴	長 田 明 枝	47-3661	1
	東 富 水	中曾根355-5	昭和45.4.1	宮 川 晃		36-3606	2
	前 羽	前川510	昭和27.6.16	休 園		43-0831	3
	下 中	小船174-1	昭和37.4.10	井 島 一 吉	山 口 佐 知	43-0612	4
	矢 作	矢作231	昭和49.4.1	越 川 知香子	三 上 幸 子	48-4515	5
	報 徳	柳新田129-3	昭和53.4.1	岩 田 京 子		37-0585	6

位置図



◇ 令和6年度児童・生徒・園児数等集計表

(令和6年5月1日現在)

学校名	総 数				1 年				2 年				3 年				4 年			
	児童・生徒数		学級数		児童・生徒数		学級数		児童・生徒数		学級数		児童・生徒数		学級数		児童・生徒数		学級数	
	特		特		特		特		特		特		特		特		特		特	
小学校	三の丸	638	38	26	6	92	2	3	110	6	3	123	17	4	100	2	3			
	新 玉	140	11	8	2	16	0	1	17	1	1	26	4	1	24	4	1			
	足 柄	414	28	19	5	60	4	2	63	4	2	73	6	2	62	6	2			
	芦 子	481	41	21	6	70	7	2	91	10	3	75	10	2	87	5	3			
	大 窪	135	8	9	3	19	2	1	18	1	1	24	2	1	18	1	1			
	早 川	135	14	9	3	19	2	1	23	2	1	19	1	1	24	3	1			
	山 王	185	28	10	4	34	5	1	25	3	1	33	4	1	33	6	1			
	久 野	249	9	14	3	41	2	2	43	1	2	36	1	1	47	0	2			
	富 水	482	44	25	9	62	8	2	82	7	3	80	7	3	90	4	3			
	町 田	268	16	15	3	50	2	2	44	3	2	45	3	2	42	3	2			
	下府中	302	30	16	4	42	6	2	44	3	2	48	6	2	54	7	2			
	桜 井	439	39	21	8	64	3	2	72	11	2	71	4	2	76	6	2			
	千 代	534	30	23	5	84	3	3	93	8	3	77	4	3	106	3	3			
	下曽我	152	12	8	2	21	2	1	24	1	1	26	3	1	22	1	1			
	国府津	472	24	20	4	79	6	3	59	3	2	74	2	3	95	7	3			
	酒 匂	321	22	17	5	52	6	2	48	2	2	55	4	2	61	4	2			
	片 浦	83	3	8	2	16	0	1	10	0	1	15	2	1	14	1	1			
	曾 我	70	7	9	3	9	3	1	7	0	1	11	1	1	12	2	1			
	東富水	416	30	18	5	75	6	2	57	3	2	61	5	2	72	7	2			
	前 羽	114	7	8	2	15	1	1	19	2	1	17	2	1	20	1	1			
	下 中	248	21	15	5	33	1	1	39	3	2	41	5	2	47	4	2			
	矢 作	540	31	22	5	92	5	3	77	8	2	98	6	3	92	3	3			
	報 徳	328	15	15	3	54	3	2	57	3	2	55	1	2	50	3	2			
	豊 川	558	29	22	5	76	7	2	99	9	3	87	3	3	87	3	3			
	富士見	434	40	20	7	66	2	2	74	11	2	66	6	2	74	4	2			
	計	8,138	577	398	109	1,241	88	45	1,295	105	47	1,336	109	48	1,409	90	49			
中学校	城 山	363	11	14	3	129	4	4	103	3	3	131	4	4						
	白 鷗	263	11	10	2	79	3	2	89	4	3	95	4	3						
	白 山	530	24	21	6	176	13	5	168	9	5	186	2	5						
	城 南	149	6	8	2	62	2	2	47	4	2	40	0	2						
	鴨 宮	597	30	21	5	201	8	5	184	13	5	212	9	6						
	千 代	553	19	19	4	185	7	5	182	6	5	186	6	5						
	国府津	253	7	11	3	80	3	2	86	2	3	87	2	3						
	酒 匂	400	25	15	5	125	8	3	129	9	3	146	8	4						
	泉	498	34	19	6	149	10	4	179	11	5	170	13	4						
	橘	225	20	10	4	71	8	2	76	7	2	78	5	2						
	城 北	404	18	17	5	140	6	4	133	7	4	131	5	4						
	計	4,235	205	165	45	1,397	72	38	1,376	75	40	1,462	58	42						
小・中学校 合 計		12,373	782	563	154															

※ 特は、特別支援学級の児童・生徒数又は学級数を再掲

※ *は、業務委託

※ 用務員及び給食調理員は再任用も含む

※ 栄養士(県)のうち、栄養教諭は教員欄に含む。

園 名	4 歳児クラス	5 歳児クラス
酒 匂	1	1
東富水	1	1
前 羽	休園中	
下 中	1	
矢 作	1	1
報 徳	1	1
計	5	4

5 年				6 年				内 訳		教 員		事務員		用務員		栄養士	
児童・生徒数	学級数			児童・生徒数	学級数			男	女	男	女	男	女	男	女	県	市
	特				特												
98	3		3	115	8		4	322	316	10	26	1	1	*		1	
27	0		1	30	2		1	77	63	8	9	1	0	*			1
78	4		3	78	4		3	214	200	11	19	1	0	*			1
70	5		2	88	4		3	263	218	11	17	0	1	*		1	
26	1		1	30	1		1	70	65	4	10	0	1	*		1	
25	3		1	25	3		1	66	69	5	11	0	1	*			1
29	6		1	31	4		1	92	93	6	12	1	0	*			2
41	3		2	41	2		2	133	116	5	17	0	1	*			1
95	6		3	73	12		2	254	228	10	20	0	1	*			1
40	4		2	47	1		2	123	145	9	14	0	1	*		1	
54	1		2	60	7		2	157	145	10	18	0	2	*			1
74	6		2	82	9		3	239	200	10	21	0	1	*		1	
88	6		3	86	6		3	297	237	10	25	2	0	*			1
30	2		1	29	3		1	73	79	5	8	1	0	*			
69	2		2	96	4		3	236	236	12	16	0	1	*			1
47	3		2	58	3		2	166	155	12	16	0	1	*			1
14	0		1	14	0		1	43	40	4	9	1	0	*			1
12	1		1	19	0		1	40	30	5	8	0	2	*			1
69	4		2	82	5		3	201	215	8	15	0	1	*			1
23	1		1	20	0		1	56	58	6	7	0	1	*			
51	6		2	37	2		1	118	130	10	11	0	1	*			1
94	5		3	87	4		3	277	263	10	18	0	1	*			1
53	2		2	59	3		2	153	175	7	16	1	0	*			1
101	2		3	108	5		3	293	265	13	16	1	0	*			
70	7		2	84	10		3	236	198	13	14	1	0	*			1
1,378	83		48	1,479	102		52	4,199	3,939	214	373	11	18	*			13

園 児 数	内 訳		内 訳		定 員	教 員 数
	4 歳 児	5 歳 児	男	女		
52	26	26	24	28	210	8
25	12	13	9	16	140	5
休園中					70	0
13	7	6	10	3	140	3
36	11	25	16	20	140	6
21	15	6	10	11	70	3
147	71	76	69	78	770	25

200	163	15	14	1		0	0		
128	135	14	11		1	0	0		
280	250	21	16	1		*			
78	71	5	11	1		*			
316	281	21	17	1	1	0	0	1	
310	243	23	13	1		*			
136	117	16	8		1	*			
197	203	20	16		1	*			
259	239	23	12	1	1	0	0		
122	103	12	9	1		0	0		
200	204	16	15		1	0	0		
2,226	2,009	186	142	7	6	0	0	1	0
6,425	5,948	400	515	18	24	0	0	1	13

◇ 児童・生徒・園児数の推移

小学校

(令和6年5月1日現在)

	令和2年度				令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
学校名	児童数		学級数		児童数		学級数		児童数		学級数		児童数		学級数		児童数		学級数	
		特		特		特		特		特		特		特		特		特		特
三の丸	595	15	21	3	602	18	21	3	613	33	24	6	645	38	25	7	600	38	19	6
新 玉	178	9	8	2	166	11	8	2	157	12	8	2	141	11	8	2	129	11	6	2
足 柄	467	20	19	4	445	24	18	4	431	28	19	5	437	29	17	4	386	28	13	5
芦 子	477	14	17	2	481	19	19	4	477	27	19	4	502	36	22	6	440	41	15	6
大 窪	186	6	9	2	172	5	9	2	174	8	10	3	162	6	10	3	127	8	6	3
早 川	158	8	8	2	148	7	8	2	141	7	8	2	137	12	8	2	121	14	6	3
山 王	185	16	9	3	182	19	9	3	181	20	10	4	183	24	10	4	157	28	6	4
久 野	278	8	13	3	272	7	13	3	259	9	14	4	245	9	12	3	240	9	10	3
富 水	545	34	22	6	561	36	24	7	545	44	24	7	512	47	26	9	438	44	16	9
町 田	300	6	13	2	282	11	13	2	267	10	13	2	263	15	14	3	252	16	12	3
下府中	330	18	16	4	323	22	16	4	318	24	16	4	308	22	16	4	272	30	12	4
桜 井	515	25	23	6	483	30	22	6	468	31	21	6	455	37	20	7	400	39	12	8
千 代	515	15	20	3	542	22	21	4	527	26	21	4	540	29	22	5	504	30	17	5
下曽我	172	13	9	3	168	12	9	3	166	13	9	3	157	15	9	3	140	12	6	2
国府津	524	10	21	3	517	14	22	4	506	16	20	3	479	19	19	3	448	24	16	4
酒 匂	353	17	18	5	335	20	17	5	328	21	17	5	318	21	16	4	299	22	12	5
片 浦	90	3	8	2	87	4	8	2	84	4	8	2	82	4	8	2	80	3	6	2
曾 我	99	6	8	2	97	6	8	2	90	7	8	2	77	5	8	2	63	7	6	3
東富水	444	27	20	6	439	28	19	5	421	26	18	4	403	28	16	4	386	30	12	5
前 羽	141	6	8	2	135	9	8	2	125	10	8	2	124	7	8	2	107	7	6	2
下 中	288	22	15	4	287	23	15	4	281	25	15	4	268	24	16	5	227	21	10	5
矢 作	519	25	21	4	521	25	21	4	532	29	21	4	528	31	22	5	509	31	17	5
報 徳	324	8	14	2	324	10	14	2	331	10	14	2	329	9	14	2	313	15	12	3
豊 川	622	16	22	4	620	20	23	5	595	18	22	4	598	24	24	6	529	29	17	5
富士見	512	18	20	4	482	27	21	6	459	32	20	6	457	35	19	6	394	40	12	7
小学校計	8,817	365	382	83	8,671	429	386	90	8,476	490	387	94	8,350	537	389	103	7,561	577	282	109

中学校

(令和6年5月1日現在)

学校名	令和2年度				令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	生徒数		学級数		生徒数		学級数		生徒数		学級数		生徒数		学級数		生徒数		学級数	
		特		特		特		特		特		特		特		特		特		特
城 山	293	11	11	2	285	8	11	2	323	9	12	2	320	9	12	2	352	11	11	3
白 鷗	298	16	12	3	284	13	11	2	298	15	12	3	286	11	11	2	252	11	8	2
白 山	533	9	17	2	537	13	18	3	557	14	18	3	539	18	19	5	506	24	14	6
城 南	176	6	8	2	185	6	8	2	162	6	7	2	149	7	8	2	143	6	5	2
鴨 宮	540	16	18	3	546	13	18	3	579	13	17	2	573	25	19	4	567	30	16	5
千 代	537	21	19	4	527	24	19	4	533	20	18	3	530	22	19	5	534	19	15	4
国府津	307	6	11	2	284	11	11	2	267	11	12	3	257	9	12	3	246	7	8	3
酒 匂	403	9	14	2	434	11	14	2	439	17	16	4	433	19	15	4	375	25	10	5
泉	541	11	18	3	541	21	17	3	502	28	19	6	506	32	19	6	464	34	13	6
橋	251	15	12	4	239	14	11	4	236	14	10	3	223	19	9	3	205	20	6	4
城 北	419	7	14	2	428	9	14	2	420	10	16	4	405	15	17	5	386	18	12	5
中学校計	4,298	127	154	29	4,290	143	152	29	4,316	157	157	35	4,221	186	160	41	4,030	205	118	45
小・中学校合計	13,115	492	536	112	12,961	572	538	119	12,987	586	543	125	12,571	723	549	144	11,591	782	400	154

幼稚園

(令和6年5月1日現在)

幼稚園名	令和2年度				令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度			
	園児数		学級数		園児数		学級数		園児数		学級数		園児数		学級数		園児数		学級数	
酒 匂	65		3		50		2		53		2		52		2		52		2	
東富水	49		2		50		2		44		2		27		2		25		2	
前 羽	15		2		10		2		0		0		0		0		0		0	
下 中	16		2		19		2		18		1		9		1		13		1	
矢 作	59		3		48		2		47		2		47		2		36		2	
報 徳	32		2		21		2		22		2		19		2		21		2	
計	236		14		198		12		184		9		154		9		147		9	

◇ 小・中学校、幼稚園敷地面積

※地積は、小数点未満四捨五入(令和6年4月1日現在)

学校名	敷地面積	市 有 地				借 用 地			
		建 物 敷 地	運動場 敷 地	実 験 実習地 その他	合 計	建 物 敷 地	運動場 敷 地	実 験 実習地 その他	合 計
小学校	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡
三の丸	12,716	7,001	5,715		12,716				
新 玉	12,364	6,455	5,463		11,918	446			446
足 柄	11,544	5,728	5,816		11,544				
芦 子	13,084	6,794	5,014		11,808		1,276		1,276
大 窪	22,076	9,563	10,543	1,970	22,076				
早 川	12,433	6,851	5,582		12,433				
山 王	8,926	4,179	4,747		8,926				
久 野	11,022		3,226		3,226	4,483	3,313		7,796
富 水	17,267	7,939	5,315		13,254	1,059	2,954		4,013
町 田	11,082	2,297	4,904		7,201	1,675	2,206		3,881
下府中	13,408	5,849	7,559		13,408				
桜 井	13,926	6,360	7,157	409	13,926				
千 代	12,648	5,201	4,318		9,519	2,170	959		3,129
下曽我	16,082	2,642	3,797	2,914	9,353	3,283	3,237	209	6,729
国府津	17,890	8,592	8,615	683	17,890				
酒 匂	15,952	7,959	7,908	85	15,952				
片 浦	10,216	3,225	3,100	3,891	10,216				
曾 我	11,703	1,732	2,455	1,041	5,228	809	5,455	211	6,475
東富水	12,810	5,337	7,473		12,810				
前 羽	9,714	4,234	5,353	127	9,714				
下 中	15,143	7,269	5,948	800	14,017		1,126		1,126
矢 作	14,151	7,266	6,885		14,151				
報 徳	16,935	7,700	9,123	112	16,935				
豊 川	20,267	7,048	13,169	50	20,267				
富士見	16,672	7,971	8,701		16,672				
中学校									
城 山	19,503	4,959	6,707	6,350	18,016		1,487		1,487
白 鷗	18,636	5,752	7,640	5,244	18,636				
白 山	26,884	13,194	9,724	327	23,245		3,639		3,639
城 南	25,948	5,000	8,015	12,933	25,948				
鴨 宮	16,395	7,200	9,195		16,395				
千 代	16,821	6,090	7,808		13,898	1,370	1,553		2,923
国府津	14,636	5,830	8,806		14,636				
酒 匂	42,509	8,147	11,094	23,268	42,509				
泉	19,147	5,814	12,987	227	19,028			119	119
橘	13,062	5,070	5,653		10,723	1,097	1,242		2,339
城 北	19,380	10,468	8,912		19,380				
幼稚園									
酒 匂	2,219	1,235	984		2,219				
東富水	1,758	877	881		1,758				
前 羽	936	490	446		936				
下 中	2,148	998	1,150		2,148				
矢 作	2,135	1,195	940		2,135				
報 徳	2,225	702	1,523		2,225				
小学校計	350,031	145,192	157,886	12,082	315,160	13,925	20,526	420	34,871
中学校計	232,921	77,524	96,541	48,349	222,414	2,467	7,921	119	10,507
幼稚園計	11,421	5,497	5,924		11,421				
総合計	594,373	228,213	260,351	60,431	548,995	16,392	28,447	539	45,378

◇ 小・中学校、幼稚園校舎等施設の状況

校舎等の鉄筋化率 99.93%

(令和6年4月1日現在)

学校名	校舎等(給食調理場を除く)				屋内運動場			プール		耐震補強工事 実施状況
	鉄筋 コンクリート	鉄骨・ その他	木造	計	鉄筋 コンクリート	鉄骨・ その他	計	規模	材質	
小学校	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m		
三の丸	7,444			7,444	2,155		2,155	25×13	ステンレス	必要なし
新玉	4,409	96		4,505	170	642	812	25×10.2	アルミニウム	完了
足柄	5,497	47		5,544	1,105		1,105	25×10.2	アルミニウム	完了
芦子	6,971	43		7,014		684	684	25×10.2	鋼板	完了
大窪	6,375	53		6,428	930	52	982	25×10.2	ステンレス	必要なし
早川	3,317	171	19	3,507		659	659	25×10.2	鉄筋コンクリート	完了
山王	3,644	111		3,755		703	703	25×10.2	アルミニウム	完了
久野	4,441	67	20	4,528		651	651	25×9	鉄筋コンクリート	完了
富水	8,113	72		8,185		986	986	25×10	鉄筋コンクリート	完了
町田	5,336	80		5,416		837	837	25×10.2	鋼板	完了
下府中	6,323	69		6,392		764	764	25×10.2	アルミニウム	完了
桜井	6,436	124	7	6,567		718	718	25×10.2	鉄筋コンクリート	完了
千代	4,803	63		4,866	162	667	829	25×12	鉄筋コンクリート	完了
下曾我	5,108	57		5,165		719	719	25×10.2	鉄筋コンクリート	必要なし
国府津	7,078	123		7,201		680	680	25×11.8	ステンレス	完了
酒匂	6,512	75	26	6,613		707	707	25×10.2	ステンレス	完了
片浦	3,181	77		3,258		699	699	25×12	鋼板	必要なし
曾我	3,722	73		3,795		651	651	25×10.2	ステンレス	完了
東富水	5,522	752		6,274	717		717	25×10.2	鋼板	完了
前羽	4,286	66		4,352		712	712	25×10.2	ステンレス	必要なし
下中	5,698	74		5,772		672	672	25×10.2	ステンレス	必要なし
矢作	5,709	68		5,777	859		859	25×10.2	アルミニウム	完了
報徳	4,607	74		4,681		793	793	25×10.2	アルミニウム	完了
豊川	5,789	60		5,849	163	655	818	25×10.2	アルミニウム	必要なし
富士見	6,932	55		6,987	800		800	25×10.2	ステンレス	必要なし
中学校										
城山	6,142	111		6,253	1,769	38	1,807	25×12	ステンレス	完了
白鷗	4,840	766		5,606	835		835	25×12	鉄筋コンクリート	完了
白山	8,187	131		8,318		925	925	25×13	鉄筋コンクリート	完了
城南	3,702	65	65	3,832		870	870	25×11.8	アルミニウム	完了
鴨宮	6,181	426		6,607		845	845	25×12 12.5×6-1.2×1/2	ステンレス	完了
千代	7,226	57		7,283		755	755	25×12	鉄筋コンクリート	完了
国府津	5,594	120		5,714		669	669	25×12	鋼板	必要なし
酒匂	8,117	95		8,212		822	822	25×12	アルミニウム	必要なし
泉	6,878	157		7,035		851	851	25×12	鋼板	完了
橘	5,101	88		5,189		1,187	1,187	25×12	鉄筋コンクリート	完了
城北	7,035	110		7,145		971	971	25×12	アルミニウム	完了
幼稚園										
酒匂	1,290	29		1,319						完了
東富水	797	26		823						完了
前羽		518	5	523						完了
下中	973	32		1,005						必要なし
矢作	863	19	6	888						必要なし
報徳	616	19		635						完了
小学校計	137,253	2,550	72	139,875	7,061	13,651	20,712			
中学校計	69,003	2,126	65	71,194	2,604	7,933	10,537			
幼稚園計	4,539	643	11	5,193						
総合計	210,795	5,319	148	216,262	9,665	21,584	31,249			

◇ 令和6年度 小田原市教育委員会 研究推進校等一覧

No	種 別 ・ 研 究 内 容	学校名
【神奈川県教育委員会関係】		
1	児童・生徒指導研究校（ 5 校 ）	酒匂小学校 鴨宮中学校 酒匂中学校 泉中学校 城北中学校

【小田原市教育委員会関係】		
地域とともにある学校づくり推進事業 「未来へつなげる学校づくり」実践校（36校・5園）		
2	心豊かに 自分らしく 健やかに生きる子どもの育成 ～ひびき合う 三の丸の子どもたち～	三の丸小学校
3	心豊かに たくましく生き抜く 子どもの育成 ～学校と地域をつなぐ人づくり～	新玉小学校
4	あたたかな心もち 健やかでたくましく学びを楽しむ子の育成	足柄小学校
5	心豊かに仲間と学び合うたくましい児童の育成	芦子小学校
6	「しなやかに未来を創造する子どもの育成」をめざして	大窪小学校
7	ふるさとの良さを学び、豊かに関わる心と力を育てる学校づくり ～「未来」につながる「今」を大切にする学校～	早川小学校
8	人、地域を生かした豊かな学びと心をはぐくむ学校づくり	山王小学校
9	地域とつながり、未来を創るたくましい子どもの育成	久野小学校
10	子どもたち一人ひとりの笑顔を大切にする学校づくり	富水小学校
11	「ひとみかがやく町田っ子」プロジェクト	町田小学校
12	地域とつながり、児童の社会力を育む学校づくり	下府中小学校
13	子どもの学びと育ちを地域とともに支えていく学校づくり	桜井小学校
14	心豊かで健やかな未来を築く子を育てる教育活動 ～様々な人やものとの関わりをとおして～	千代小学校
15	地域の特性を生かした『下曽我プラン』の充実にむけて	下曽我小学校
16	向上心を持ち、美しい心で、強い心と体の子 の育成	国府津小学校
17	豊かな心を育む学校づくり研究 —学校や地域のよさを理解し、関わり合う児童の育成—	酒匂小学校
18	ともに高めあい、一人一人が主人公になれる学校をめざして ～学校や地域の特色をいかして～	片浦小学校
19	曾我の大地の恵みと人との絆を生かして、健やかで心豊かな子供を育む学校づくり	曾我小学校
20	学校と地域の協働 ～多様な人々との関わり、様々な経験を重ねる中で「生きぬく力」を育む～	東富水小学校
21	前羽の自然・地域から学ぶ ふるさと学習活性化プラン	前羽小学校
22	「自分らしく いきいきと 学ぶ子」の育成 ～地域や社会の「ひと・もの・こと」との関わりをとおして～	下中小学校
23	関わる力の育成をめざした学校づくり	矢作小学校
24	一人ひとりが輝く・みんなで創る学校をめざして	報徳小学校
25	地域に開かれた、明るく元気な思いやりのある学校づくり ～地域とともに育む、自ら学び、たくましく生きるための心と体づくり～	豊川小学校

26	共に学び 共に育つ ～社会力の育成を目指した教育課程の編成～	富士見小学校
27	豊かな人間性と創造性を備えた生徒の育成 ～保護者・地域と連携協働する学校づくり～	城山中学校
28	「自律・尊重・協働・挑戦の力を身につけた生徒の育成」 ～行動目標（あせふけ）を生かした豊かな心の育成や確かな学力の向上をめざして～	白鷗中学校
29	学びの充実と地域連携をいかした、豊かな人間性の育成	白山中学校
30	主体的に学習に取り組み、豊かな人間性を育む教育実践 ～学校・保護者・地域との協働による社会力の育成～	城南中学校
31	家庭・地域と連携して取り組む「無限の可能性をひらく教育」 ～開かれた学校をめざして～	鴨宮中学校
32	「自立 協力 挑戦」を支える学校づくり ～千代中の強みを生かした教育の実現～	千代中学校
33	「思いやって助け合う集団づくり」～豊かな心の育成～ 読書活動の推進・体験活動の充実（小中一体教育・地域一体教育）	国府津中学校
34	「未来を切り拓く心豊かでたくましく生きる」生徒の育成 ～自立・貢献・共生をめざして～	酒匂中学校
35	仲間との関わりを大切にする生徒の育成 ～学び合い・認め合い・信頼し合う心～	泉中学校
36	学びでつながる地域の中の学校づくり ～社会の中でよりよく生きようとする生徒の育成～	橘中学校
37	「GIGA スクール構想の下での校内 DX 化に関する研究」 ～授業改善による主体的に学ぶ生徒の育成、及び校務分掌業務の効率化～	城北中学校
38	健やかな心と体を育むために	酒匂幼稚園
39	認め合い育ち合う子どもの育成を目指して	東富水幼稚園
40	休園中	前羽幼稚園
41	地域との連携を豊かにするための取り組み ～保護者支援・子育て支援の充実～	下中幼稚園
42	元気いっぱい！笑顔いっぱいの幼稚園づくり	矢作幼稚園
43	自然や人との触れ合いの中で元気に育て、報徳っ子！	報徳幼稚園
推薦研究校（４校）		
44	ひとみかがやかせ 共に学び合う子の育成をめざして ～子どもどうしが考えを深め合う授業づくり～	町田小学校
45	みんなで響き合い、高め合う 桜井小の子どもたち	桜井小学校
46	「学び合い、高め合う子どもの育成 ～自ら考え判断していく児童の姿をめざして～」	下中小学校
46	個別最適な学びを通した指導の工夫 ～ひらめきから生まれる学びの実感をめざして～	白山中学校

◇令和6年度 校内研究主題一覧

【小学校】

NO.	小学校	教科・領域	研 究 主 題
1	三の丸	全教科・全領域	ひびき合う 三の丸の子どもたち 子どもが解決したい問題を持ち、友だちとひびき合いながら学習する子どもの育成
2	新玉	国語	児童の主体的・対話的で深い学びを生み出す授業の創造 ～意見をつなぐ学び合い～
3	足柄	全教科・全領域	児童が言葉を紡ぐ姿に寄り添う教師の在り方 ～対話を深めるための単元構想を通して～
4	芦子	全教科	生き生きと学ぶ合う子どもの育成 ～子どもの学びを大切にしたい単元づくり～
5	大窪	全教科・全領域	主体的で対話的な深い学びを実現するための 資質・能力につながる課題の研究
6	早川	算数	自分の考えを伝え合い、学び合う子の育成 ～学び合う象（すがた）をめざして～
7	山王	全教科・全領域	自立に向かう7つの力を身につける ～児童の意欲を持続させる単元づくり～
8	久野	国語	主体的・対話的に学ぶ児童の育成 ～関わり合いの力を高める授業づくり～
9	富水	全科目・全領域	主体的・対話的で深い学びをめざして ～気付いたことを表現しあう学習～
10	町田	全教科	ひとみかがやかせ共に学び合う子の育成をめざして ～子どもどうしが考えを深め合う授業づくり～
11	下府中	道徳	主体的・対話的に学ぶ子の育成
12	桜井	国語・算数・社会・理科・ 総合	みんなで響きあい、高め合う 桜井小の子どもたち
13	千代	国語	主体的・対話的で深い学びをめざして ～言葉を活用し、思いを伝え合う子どもたち～
14	下曾我	全教科・全領域	「みんなが学ぶ・みんなで創る」学習活動をめざして ～つながる ひろがる 大きな「わ(話・輪・和)」～
15	国府津	国語・社会・算数・理科・生活	「主体的・対話的で深い学び」を追究する児童の育成 ～児童が自分たちの力で学びをつくり上げていく授業をめざして～
16	酒匂	国語	主体的・対話的な活動を通して、学びの楽しさを味わえる授業づくりの工夫
17	片浦	全教科・全領域	児童の「学びたい」を育てる授業づくり ～学校の特色を生かしたカリキュラムマネジメントを通して～
18	曾我	国語・社会・算数・理科・生活・総合	主体的に学び、よりよい考えを創りあげていくいく子どもたち ～身のまわりの「ひと・もの・こと」との豊かな関りを通して～
19	東富水	国語	「主体的に学び続ける子ども」の育成
20	前羽	全教科	前向きに学ぶ合う児童の育成 ～自分の考えをもち、発信する児童の姿を求めて～
21	下中	国語	学び合い、高め合う子どもの育成 ～子ども主体の授業をめざして～
22	矢作	全教科・全領域	よりよく生きようとする子の育成 ～豊かに表現し合い、つながり合う授業の創造～
23	報徳	全教科	伝え合い 学び合い 深め合う 児童の育成 ～話し合いを通して子ども同士の「つながり」を意識した授業～
24	豊川	算数	主体的に学ぶ子をめざして
25	富士見	全教科	主体的・協働的に学ぶ子どもたち

◇令和6年度 校内研究主題一覧

【中学校】

NO.	中学校	教科・領域	研 究 主 題
26	城山	全教科	深い学びを目指して～生徒が考えたい授業を～
27	白鷗	全教科・全領域	対話や議論を通じて多面的・多角的に考える道徳の研究 ～「問い」の工夫を通して～
28	白山	全教科	個別最適な学びを通じた指導の工夫 ～ひらめきからうまれる学びの実感をめざして～
29	城南	全教科	確かな学力を育むための授業改善 ～支援の充実を通して～
30	鴨宮	全教科	「主体的に学びに向かう生徒の育成」 ～情報機器の効果的な活用を通して「主体的・対話的で深い学び」へ～
31	千代	全教科	学習への粘り強さと自己調整力の育成 ～単元のPDCAの展開と充実～
32	国府津	全教科	興味をもたせ学習に向かわせる、効果的な授業 ～生徒が取り組みたい授業手立て～
33	酒匂	全教科	生徒の粘り強さを引き出し自らの学習を調整しようとする態度の育成
34	泉	全教科	学びに向かう力を育む学習活動のあり方 ～仲間との関わりを大切に授業づくり～
35	橘	全教科	自ら学ぶ生徒を育てるために
36	城北	全教科	GIGAスクール構想の下での校内DX化に関する研究 ～授業改善による主体的に学ぶ生徒の育成、及び校務分掌業務の効率化～

◇ 令和6年度 小田原市小・中学校特別支援学級児童生徒数

(令和6年5月1日現在)

No.	学校名	区分	児童	教員	個別支援員
1	三の丸	知的 自閉症・情緒 弱視	38	7	8
2	新玉	知的 自閉症・情緒	11	2	4
3	足柄	知的 自閉症・情緒	28	5	9
4	芦子	知的 自閉症・情緒	41	6	9
5	大窪	知的 自閉症・情緒 難聴	8	3	3
6	早川	知的 自閉症・情緒	14	4	4
7	山王	知的 自閉症・情緒	28	4	7
8	久野	知的 自閉症・情緒 病弱・身体虚弱	9	3	4
9	富水	知的 自閉症・情緒 肢体不自由 弱視 難聴	44	9	11
10	町田	知的 自閉症・情緒	16	3	5
11	下府中	知的 自閉症・情緒	30	4	10
12	桜井	知的 自閉症・情緒 肢体不自由 難聴	39	9	11
13	千代	知的 自閉症・情緒 肢体不自由	30	5	6
14	下曾我	知的 自閉症・情緒	12	2	5
15	国府津	知的 自閉症・情緒	24	4	8
16	酒匂	知的 自閉症・情緒 肢体不自由 難聴	22	5	5
17	片浦	知的 自閉症・情緒	3	2	0
18	曾我	知的 自閉症・情緒 病弱・身体虚弱	7	3	2
19	東富水	知的 自閉症・情緒	30	6	8
20	前羽	知的 自閉症・情緒	7	2	2
21	下中	知的 自閉症・情緒 難聴	21	6	4
22	矢作	知的 自閉症・情緒	31	5	9
23	報徳	知的 自閉症・情緒	15	3	5
24	豊川	知的 自閉症・情緒 難聴	29	6	9
25	富士見	知的 自閉症・情緒 難聴	40	7	8
小学校学級数109			577	115	156

	学校名	区分	生徒	教員	個別支援員
1	城山	知的 自閉症・情緒	11	4	2
2	白鷗	知的 自閉症・情緒	11	3	3
3	白山	知的 自閉症・情緒 病弱・身体虚弱 肢体不自由	24	7	6
4	城南	知的 自閉症・情緒	6	2	2
5	鴨宮	知的 自閉症・情緒	30	6	5
6	千代	知的 自閉症・情緒 弱視	19	5	3
7	国府津	知的 自閉症・情緒 肢体不自由	7	3	2
8	酒匂	知的 自閉症・情緒 難聴	25	7	5
9	泉	知的 自閉症・情緒 肢体不自由	34	8	6
10	橘	知的 自閉症・情緒	20	5	3
11	城北	知的 自閉症・情緒 肢体不自由 難聴	18	5	3
中学校学級数41			205	55	40

◇ 教育相談等の状況

教育相談の状況(令和5年度)

おだわら子ども若者教育支援センター「はーもにー」(件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
不登校	118	142	159	108	51	132	96	115	113	94	95	121	1344
不登校傾向	18	27	25	24	16	51	67	53	45	43	68	49	486
いじめ	2	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	4
特別支援	43	57	70	77	37	76	110	81	46	48	86	55	786
学習	0	2	6	10	7	20	23	19	17	21	22	16	163
養・育て方	8	6	3	1	0	3	1	1	0	0	3	2	28
その他	5	4	8	6	2	7	9	5	12	4	8	9	79
合計	194	238	271	227	113	289	306	274	233	211	282	252	2890
当月までの合計	194	432	703	930	1043	1332	1638	1912	2145	2356	2638	2890	2890

教育相談指導学級(件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
不登校	33	51	67	74	14	70	98	109	114	101	105	118	954
不登校傾向	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いじめ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
学習	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
養・育て方	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	33	51	67	74	14	70	98	109	114	101	105	118	954
当月までの合計	33	84	151	225	239	309	407	516	630	731	836	954	954

通級指導教室・教育相談指導学級の状況

○通級指導教室「ことばの教室」(令和6年5月1日現在)

	在籍者数	教員
ことばの教室(新玉小)	30	3
ことばの教室(下府中小)	31	3

○通級指導教室コミュニケーションの教室「フレンド」・中学校通級指導教室
(令和6年5月1日現在)

	在籍者数	教員
フレンド(足柄小)	32	3
フレンド(千代小)	32	3
フレンド(酒匂小)	33	3
中学校通級(白山中)	30	2

○教育相談指導学級(しろやま教室・マロニエ教室)(令和6年3月31日現在)

学級名	小学生	中学生	合計	学級責任者	教育相談員	指導員
しろやま教室 マロニエ教室	0	19	19	1	2	2

◇ 中学校卒業者の進路状況

		進 学 者							教育機関等入学者						
項目		高等学校の本科			高等学校別科	高等専門学校	特別支援学校	小計 A	専修各種学校	公共職業能力開発施設等	小計 B	就職	その他	合計C 卒業生総数	進学率 A/C %
卒業年度	性別	全日制	定時制	通信制											
24	男	823	27	15	0	4	17	886	5	0	5	2	11	904	98.0%
	女	743	12	15	0	1	10	781	5	0	5	0	9	795	98.2%
	計	1,566	39	30	0	5	27	1,667	10	0	10	2	20	1,699	98.1%
25	男	784	30	20	0	5	15	854	1	1	2	8	4	868	98.4%
	女	750	18	17	0	1	10	796	2	0	2	2	8	808	98.5%
	計	1,534	48	37	0	6	25	1,650	3	1	4	10	12	1,676	98.4%
26	男	811	21	19	0	10	15	876	3	0	3	2	6	887	98.8%
	女	785	10	23	0	0	15	833	4	0	4	0	4	841	99.0%
	計	1,596	31	42	0	10	30	1,709	7	0	7	2	10	1,728	98.9%
27	男	723	13	17	0	5	20	778	4	0	4	4	7	793	98.1%
	女	763	7	20	0	1	7	798	4	0	4	0	4	806	99.0%
	計	1,486	20	37	0	6	27	1,576	8	0	8	4	11	1,599	98.6%
28	男	796	20	26	0	3	20	865	1	0	1	0	1	867	99.8%
	女	758	7	25	0	1	11	802	0	0	0	1	4	807	99.4%
	計	1,554	27	51	0	4	31	1,667	1	0	1	1	5	1,674	99.6%
29	男	775	7	10	0	4	19	815	3	0	3	2	0	820	99.4%
	女	765	3	8	0	1	8	785	1	0	1	1	2	789	99.5%
	計	1,540	10	18	0	5	27	1,600	4	0	4	3	2	1,609	99.4%
30	男	757	5	21	0	3	19	805	0	0	0	0	4	809	99.5%
	女	739	4	18	0	0	10	771	1	0	1	0	0	772	99.9%
	計	1,496	9	39	0	3	29	1,576	1	0	1	0	4	1,581	99.7%
R1	男	699	9	31	0	4	20	763	1	0	1	1	8	773	98.7%
	女	657	8	33	0	2	12	712	0	0	0	0	3	715	99.6%
	計	1,356	17	64	0	6	32	1,475	1	0	1	1	11	1,488	99.1%
R2	男	665	6	23	0	0	16	710	0	0	0	0	5	715	99.3%
	女	673	1	38	0	0	7	719	0	1	1	0	4	724	99.3%
	計	1,338	7	61	0	0	23	1,429	0	1	1	0	9	1,439	99.3%
R3	男	663	1	15	0	2	21	702	0	0	0	2	3	707	99.3%
	女	654	0	28	0	0	11	693	3	0	3	1	4	701	98.9%
	計	1,317	1	43	0	2	32	1,395	3	0	3	3	7	1,408	99.1%
R4	男	720	5	20	0	2	20	767	0	0	0	3	5	775	99.0%
	女	637	7	41	0	0	9	694	0	0	0	0	4	698	99.4%
	計	1,317	1	43	0	2	32	1,461	0	0	0	3	7	1,473	99.2%
R5	男	676	12	30	0	9	13	740	0	0	0	0	1	741	99.9%
	女	609	8	35	0	4	11	667	1	0	1	0	5	673	99.1%
	計	1,285	20	65	0	13	24	1,407	1	0	1	0	6	1,414	99.5%

◇ 教育 研 究 所

1 教育課程研究事業

(1) 共同研究

- ア 郷土を土台としたSTEAM教育に関する研究
地域の課題に着目し、生徒が必要性を体感しながら、主体的に探究していく学びを展開するための指導方法について研究し、指導のポイントを明らかにするとともに、実践を通してその具体例を積み重ねる。

研究員			
山口 夏季	白鷗中学校	福岡 生実	泉中学校
生月 美帆	鴨宮中学校	田中 穂積	城北中学校
角野 篤	千代中学校		

イ 一人一人の学びにICTを生かす研究

児童生徒一人一人が必要に応じてICTを活用し、自らの学びを充実させるためには、どのような授業を創造したらよいかについて研究し、その手立てについて整理すると共に、実践を積み重ね、その成果と課題を明らかにする。

研究員			
加賀谷 元	下府中小学校	長澤 孝江	富士見小学校
加藤 太一	白山中学校	鈴木 尚人	桜井小学校
三廻部啓輔	泉中学校		

(2) プロジェクト研究（令和6年度は休止）

教科等における学習指導のあり方を研究するとともに、研究の成果を小田原市の小中学校の教育活動に積極的に活かす。

2 学力向上支援事業

(1) 「新たな学び」研究推進

児童生徒一人一人の学力やよさを伸ばすために、「伸び」に着目した「ステップアップ調査」を行う。対象は市内全小中学校の4年生から6年生、全中学校の1年生（令和6年度はモデル校のみ2年生まで）。

モデル校

酒匂中学校	泉中学校
-------	------

(2) 全国学力・学習状況調査の対応と検証

結果発表を受け、市としての分析を行い、分析結果を各学校においても分析し、学力向上の取組や授業改善に活用する。

3 研修事業

(1) 教育講演会

期日 令和6年8月22日（木）
会場 小田原市民ホール（三の丸ホール）
講師 工藤勇一 氏（前 横浜創英中学・高等学校校長）
演題 「子どもの自律を重視した教育改革（仮）」

(2) 教育講座

- ・「おだわら未来学舎」（年4回）
(5/31 6/21 7/17 9/20)

(3) 教職員研修

- ・初任者研修会（8月2日）
- ・パワーアップ研修 受講者17名 年5回

(4) 神奈川県教育研究所連盟研究発表大会

期日 令和5年11月12日（火）
会場 神奈川県立総合教育センター
参加 所員及び研究員代表

(5) 職員研修支援事業

- ・学力向上や校内研修等に関する訪問相談の実施
- ・研修場所や資料等の提供 ・校内研究に関わる費用補助
- ・市推薦研究校の募集（4校）

4 教育情報事業

- ・資料等の収集と提供及び貸し出し（図書、DVD等）
- ・全国学力・学習状況調査の対応と検証
- ・教育情報発信（研究所所報、要覧、市制記念日講話資料等）
- ・基礎学力向上支援（おだわらっ子ドリル）

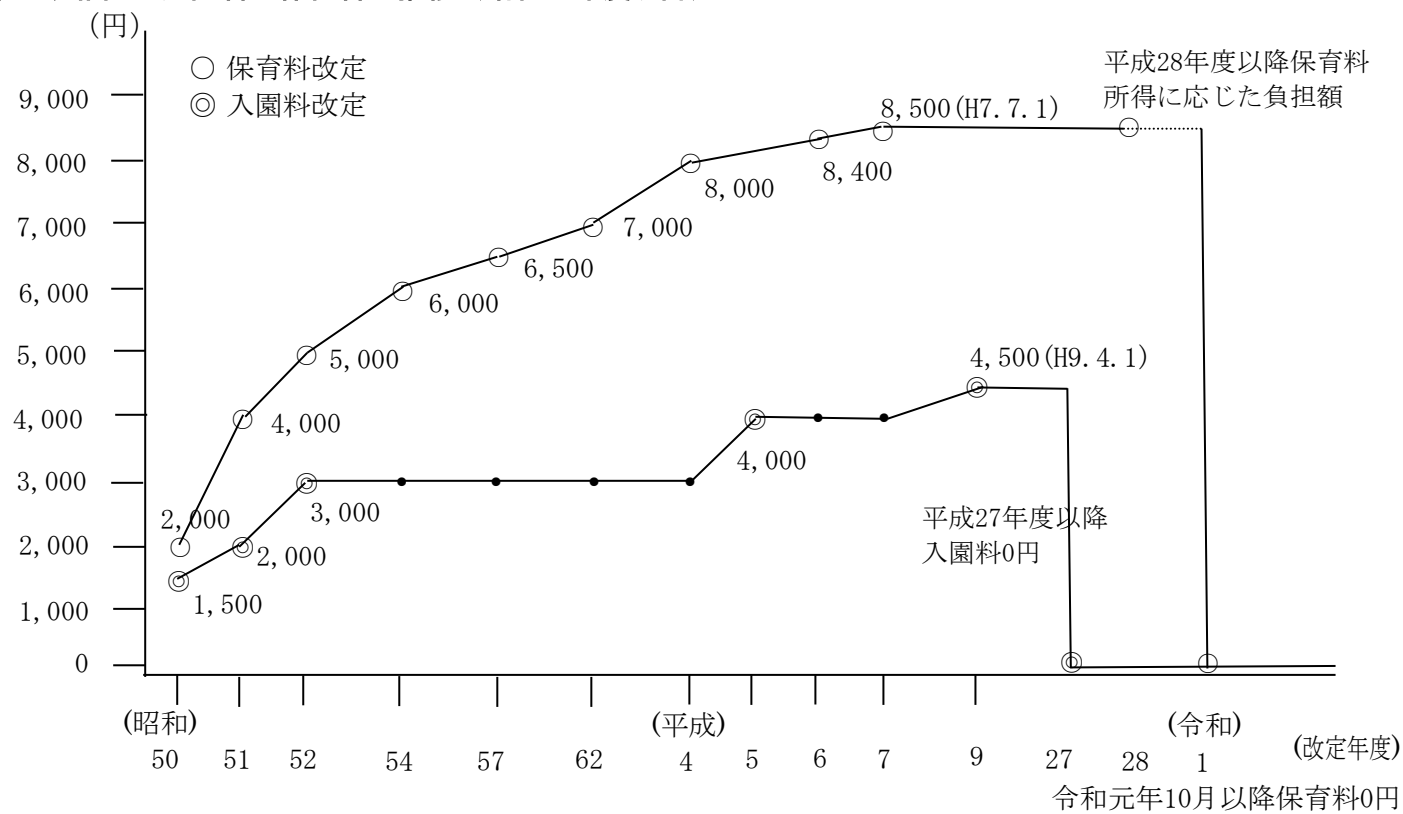
5 教育ネットワーク整備・運用事業

- ・教育ネットワークシステムの整備・運用
- ・機器の整備と保守管理、運用支援
- ・学校情報セキュリティポリシー セキュリティ委員会
- ・教育ネットワークシステム検討会による次期システムの選定

6 郷土学習事業

- ・二宮尊徳学習の実施
- ・副読本の刊行（郷土読本「小田原」、「わたしたちの小田原」「小田原の自然」）
- ・理科副読本「小田原の自然」活用講座（自然観察会）

市立幼稚園の入園料・保育料の推移（昭和50年度以降）



◇ 小・中学校就学援助の状況

			R01		R02		R03		R04		R05	
			小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
準 要 保 護 （ 学 用 品 費 等 ）	学用品費	人数 (人)	1,406	760	1,373	786	1,310	796	1,216	746	1,165	706
		金額 (円)	15,657,600	16,878,390	15,358,180	17,300,630	14,526,530	17,657,480	13,428,590	16,397,200	12,910,090	15,558,160
	通学用品費	人数 (人)	1,185	493	1,169	499	1,105	534	1,062	515	972	458
		金額 (円)	2,582,140	1,095,998	2,555,470	1,101,280	2,388,120	1,180,760	2,284,790	1,134,760	2,120,990	1,012,190
	新入学用品費 (入学前児童対象)	人数 (人)	154	0	155	0	134	0	144	0		0
		金額 (円)	7,792,400	0	7,914,300	0	6,842,040	0	7,784,640	0	7,244,040	0
	新入学用品費 (小学1年生対象)	人数 (人)	94	0	67	0	57	0	30	0	36	0
		金額 (円)	4,756,400	0	3,421,020	0	2,910,420	0	1,621,800	0	1,946,160	0
	新入学準備費 (小学6年生対象)	人数 (人)	261	0	258	0	221	0	228	0	196	0
		金額 (円)	14,981,400	0	15,480,000	0	13,260,000	0	13,680,000	0	12,348,000	0
	校外活動費 宿泊無	人数 (人)	1,192	650	455	261	376	529	558	630	706	599
		金額 (円)	1,883,360	1,488,500	728,000	602,910	601,600	1,221,990	892,800	1,455,300	1,129,600	1,386,000
	校外活動費 宿泊有	人数 (人)	250	14	0	0	53	1	129	0	168	0
		金額 (円)	320,535	10,460	0	0	118,960	6,210	353,264	0	456,434	0
	修学旅行費	人数 (人)	265	253	237	104	212	146	219	238	183	221
		金額 (円)	4,635,960	13,994,139	1,033,942	735,853	4,262,168	2,341,514	4,426,883	14,013,190	3,078,455	12,849,483
	通学費	人数 (人)	1	0	2	2	2	1	2	2	3	2
		金額 (円)	20,440	0	27,130	25,920	47,350	11,000	23,290	101,688	44,700	111,140
	学用品費等 合 計	人数 (人)	1,406	760	1,373	786	1,310	796	1,216	746	1,165	706
		金額 (円)	52,630,235	33,467,487	46,518,042	19,766,593	44,957,188	22,418,954	44,496,057	33,102,138	41,278,469	30,916,973
準 要 保 護 （ 医 療 費 等 ）	医療費	人数 (人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		金額 (円)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	眼鏡費	人数 (人)	27	30	49	41	94	72	28	37	14	32
		金額 (円)	430,017	519,994	787,137	614,521	416,930	527,013	474,665	587,175	235,800	540,700
	給食費 (R03からは現物給付 に要した額)	人数 (人)	1,402	744	1,373	785	1,304	785	1,209	741	1,159	702
		金額 (円)	59,342,120	37,298,502	53,381,954	35,274,449	58,628,368	40,898,691	54,238,700	38,004,160	52,104,100	36,093,910
要保護児童生徒援助費 (修学旅行費)	人数 (人)	R02から記載 R01以前は準要保護児童生 徒修学旅行費と合算して記 載	11	5	15	9	9	19	20	11		
	金額 (円)		46,950	35,532	274,469	153,977	179,791	1,106,754	337,938	638,368		
就学援助費合計		金額 (円)	112,402,372	71,285,983	100,734,083	55,691,095	104,276,955	63,998,635	99,389,213	72,800,227	93,956,307	68,189,951
特別支援教育 就学奨励費	人数 (人)		179	50	194	56	217	58	290	79	297	86
	金額 (円)		5,372,573	2,233,957	4,666,613	1,885,257	6,394,498	2,179,368	9,755,385	4,037,439	9,664,554	4,438,012
扶助費合計		金額 (円)	117,774,945	73,519,940	105,400,696	57,576,352	110,671,453	66,178,003	109,144,598	76,837,666	103,620,861	72,627,963

◇ 小田原市奨学金の状況

1 前身（小田原育英会奨学金）

事業実施期間：昭和 30 年度～平成 4 年度

奨学生数：680 人

給付等の実績：奨学貸付金（昭和 30 年度～昭和 52 年度）16,391,500 円

奨学給付金（昭和 37 年度～平成 4 年度）49,020,000 円

交通費（給付）（昭和 30 年度～昭和 52 年度）1,073,690 円

※平成 5 年 3 月 31 日付けで小田原育英会は解散し、平成 5 年 4 月から小田原市奨学金事業に移行

2 小田原市奨学金

市内在住の経済的理由により高等学校等への修学が困難な生徒の修学を奨励するため奨学金を支給

年度	奨学生	奨学給付金		奨学基金	適用
		単価(年額)	金額(決算額)	年度末残高	
平成 5	35 人	102,000 円	3,570,000 円	39,487,604 円	月額 8,500 円(授業料として)
6	43 人		4,386,000 円	39,487,604 円	
7	32 人		3,264,000 円	39,487,604 円	
8	38 人		3,876,000 円	39,487,604 円	
9	47 人	108,000 円	5,022,000 円	39,487,604 円	月額 9,000 円(授業料として)
10	51 人		5,508,000 円	39,487,604 円	
11	55 人		5,787,000 円	39,887,604 円	
12	63 人		6,750,000 円	39,887,604 円	
13	78 人		8,316,000 円	39,887,604 円	
14	80 人		8,496,000 円	39,887,604 円	
15	81 人		8,748,000 円	39,887,604 円	
16	96 人		10,368,000 円	39,887,604 円	
17	82 人		8,856,000 円	39,887,604 円	
18	87 人		9,153,000 円	39,887,604 円	
19	85 人		8,424,000 円	39,887,604 円	
20	75 人		8,235,000 円	39,887,604 円	
21	78 人		8,424,000 円	40,032,604 円	
22	※公立高等学校の授業料無償化、私立高等学校に係る高等学校等就学支援金創設に伴い事業廃止				
23	13 人	30,000 円	390,000 円	39,642,604 円	年額 30,000 円で事業再開
24	33 人		990,000 円	38,652,604 円	平成 23 年度以降は、授業料以外にも経済的負担があることから、学用品等の購入費として奨学金を支給することとした。
25	32 人		960,000 円	37,697,843 円	
26	38 人		1,140,000 円	36,580,692 円	
27	36 人		1,080,000 円	35,516,284 円	
28	34 人		1,020,000 円	34,524,131 円	
29	40 人		1,200,000 円	33,339,073 円	
30	47 人		1,410,000 円	31,929,073 円	
令和元	62 人	40,000 円	2,480,000 円	29,949,073 円	年額 40,000 円
2	75 人		3,000,000 円	27,074,093 円	
3	83 人		3,320,000 円	23,867,100 円	
4	83 人		3,320,000 円	20,706,100 円	
5	88 人		3,520,000 円	18,186,797 円	

◇学校保健の状況

(1) 児童・生徒の身体発育状況

校 種	年 齢	比 較	男 子		女 子	
			身 長	体 重	身 長	体 重
			cm	kg	cm	kg
小 学 校	6	全 国R4	117.1	21.6	116.0	21.0
		県R5	117.0	21.5	116.2	21.0
		市R5	116.3	21.4	115.5	20.8
	7	全 国R4	122.6	23.9	121.9	23.6
		県R5	123.2	24.5	122.3	24.0
		市R5	123.0	24.8	121.6	23.8
	8	全 国R4	128.8	27.2	128.1	26.9
		県R5	128.7	27.4	127.9	27.0
		市R5	128.8	27.7	127.9	27.3
	9	全 国R4	133.6	30.5	134.4	30.2
		県R5	134.5	31.3	134.3	30.8
		市R5	134.1	31.5	134.4	31.4
	10	全 国R4	139.8	34.7	141.4	34.8
		県R5	140.0	35.2	141.7	35.2
		市R5	139.7	35.6	141.0	34.9
	11	全 国R4	146.5	39.0	147.6	39.8
		県R5	146.5	39.6	148.2	40.1
		市R5	146.4	40.1	148.0	40.4
中 学 校	12	全 国R4	154.7	45.0	152.4	43.5
		県R5	154.6	45.0	152.8	43.7
		市R5	154.0	45.3	152.7	44.7
	13	全 国R4	161.4	49.5	155.2	46.8
		県R5	161.6	50.0	155.1	46.3
		市R5	161.2	50.5	155.1	47.5
	14	全 国R4	166.0	53.8	156.5	48.9
		県R5	166.2	54.7	157.0	48.9
		市R5	166.5	55.1	156.7	49.0

※平成28年から健診項目から座高が廃止

(2) 令和5年度児童・生徒健康診断の状況

眼科検診

区分	検査人員	霰粒種	麦粒種	眼瞼縁炎	急性結膜炎	アレルギー性結膜炎	その他結膜炎	その他
小学校	8,371	1人	4人	12人	1人	158人	5人	79人
中学校	4,231	2	2	9	0	68	7	28

腎臓疾患検査

区分	第1次 検査人員	陽性者 陽性率	第2次検査				第3次検査			
			人員	要受診	要観察	異常なし	要受診	腎炎	要観察	異常なし
小学校	8,282人	238人 2.9%	227人	7人	6人	214人	0人	0人	2人	5人
中学校	4,109人	216人 5.3%	208人	11人	4人	193人	0人	1人	0人	10人

※ 中学生5名は集団検診未受診だったが、うち4名は個人受診し異常なし。1名は元々腎炎で主治医管理。

心臓疾患検査

区分	対象者数	1次検査 (心音・心電図)	2次検査				
			検査人員	管理不要	要精検	要観察	異常なし
小学校	2,495人	2,660人	107人	59人	9人	11人	28人
中学校	1,292人	1,353人	79人	34人	5人	7人	33人

※ 小学校1・4、中学校1年生が対象だが、対象の学年に受けていない児童生徒も受診しているため、対象者数より実際の数が多い。

脊柱側弯症検査

区分	視 触 診						精 密 検 査							
	受検者	要精密検査		異常なし		検 査	要 医 療		要 観 察		異 常 な し			
		人員	率	人員	率	人 員	人員	率	人員	率	人員	率		
小学校	182人	70人	38.5%	112人	61.5%	65人	6人	9.2%	19人	29.2%	40人	61.5%		
中学校	112人	54人	48.2%	58人	51.8%	51人	12人	23.5%	23人	45.1%	16人	31.4%		

う 歯

区分	検査人員 (A)	う歯のある者(永久歯)			う歯罹患率 ($\frac{C}{A}$)	処置完了者率 ($\frac{B}{C}$)	う歯数(永久歯)			う歯に対する処置率 ($\frac{D}{E}$)	一人当たりのう歯本数 ($\frac{E}{A}$)
		処置完了 (B)	未処置 う歯 ある者	計(C)			処置歯数(D)	未処置歯数	計(E)		
小学校	8,185人	471人	397人	868人	10.6%	54.3%	1,076本	682本	1,758本	61.2%	0.2本
中学校	4,090人	718人	520人	1,238人	30.3%	58.0%	2,357本	1,087本	3,444本	68.4%	0.8本

(3) 児童・生徒交通事故発生状況

(ア) 月別年次表

() 内は死亡数

年 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成30年	1	0	1	0	1	4	3	0	2	3	1	1	17
令和元年	1	1	1	2	0	0	4	3	1	0	0	0	13
令和2年	1	0	0	0	0	3	1	1	1	2	0	1	10
令和3年	3	2	0	0	0	0	1	0	0	4	0	0	10
令和4年	1	1	1	2	3	2	2	0	1	1	0	2	16 (1)
令和5年	0	1	0	2	1	1	1	2	1	3	0	0	12
前年との 比較増減	△ 1	0	△ 1	0	△ 2	△ 1	△ 1	2	0	2	0	△ 2	△ 3

(イ) 学年別

() 内は死亡数

年 \ 学年	小 学 校						中 学 校			合 計
	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	1 年	2 年	3 年	
平成29年	0	2	3	0	2	2	0	1	1	11
平成30年	3	2	5	1	1	1	0	2	2	17
令和元年	0	1	3	4	3	0	0	1	1	13
令和2年	2	3	1	2	0	0	2	0	0	10
令和3年	5	1	0	1	1	0	1	1	0	10
令和4年	2	4	0	3	1	4	2	0	0	16 (1)
令和5年	1	0	2	1	4	1	1	1	1	12

(4) 令和5年度学校管理下における事故発生状況

(日本スポーツ振興センター災害共済給付金 資料より)

(ア) 負傷の場所別

	小学校(件)	中学校(件)
校舎内	教室(保育室)	7
	実習実験室	2
	体育館・屋内運動場	16
	講堂	0
	遊戯室	0
	廊下	1
	昇降口・玄関	1
	階段	5
	ベランダ	0
	屋上	0
	便所	3
	その他	0
	計	35
校舎外	運動場・校庭(園庭)	31
	プール	1
	排水溝	0
	手足洗場	0
	水飲み場	0
	農場	0
	その他	1
	計	33
学校外	道路	7
	公園・遊園地	0
	運動場・競技場	0
	体育館	0
	山林野(含スキー場)	0
	海・湖・沼・池	0
	河川	0
	その他	0
	計	7
合計	75	126

(イ) 負傷・疾病の種類別

	小学校(件)	中学校(件)
負傷	骨折	27
	捻挫	11
	脱臼	5
	挫傷・打撲	14
	靱帯損傷・断裂	5
	挫創	3
	切創	1
	刺創	0
	割創	0
	裂創	0
	擦過傷	0
	熱傷・火傷	2
	歯牙破折	5
	その他	1
	計	74
疾病	1	4
合計	75	126

(ウ) 負傷の部位別

	小学校(件)	中学校(件)
頭部	2	6
	前額部	1
	眼部	6
	頬部	0
	耳部	1
	鼻部	1
	口部	0
	歯部	8
	顎部	0
	計	17
顔面	0	4
	肩部	3
	胸部	1
	腹部	0
	背部	0
	腰部	0
	臀部	0
	計	4
体幹	上腕部	0
	肘部	2
	前腕部	3
	手関節	5
	手・手指部	19
	計	29
上肢	大腿部・股関節	1
	膝部	2
	下腿部	0
	足関節	16
	足・足指部	4
	計	23
下肢	その他	0
	計	75
	2	53
	9	2
	126	

◇ 学校給食の状況

(1) 調理場施設設備の状況

(令和6年5月1日現在)

学校名	栄養士 (名)	調理員又は配膳員 (名)	調理場 面積 (㎡)	設 備									調理施設
				回転 釜	焼物 機	保管 庫	洗浄 機	冷蔵 庫※	冷凍 庫	カッ ター	ピー ラー	ダム クレーン	
小 学 校	三 の 丸	1※3	350	5	2	4	1	3	2	1	1	1	単 独 調 理 場
	新 玉	1	167	3	1	2	0	2	1	1	1	1	〃
	足 柄	1	230	5	1	5	1	3	1	1	1	1	〃
	芦 子	1※3	510	5	2	4	1	2	1	1	1	1	〃
	大 窪	1	376	5	1	4	1	3	1	1	1	1	〃
	早 川	1	163	3	1	2	1	2	1	1	1	1	〃
	山 王	1	158	3	1	2	1	2	1	1	1	1	〃
	久 野	1	205	4	1	3	1	2	1	1	1	1	〃
	富 水	1	387	6	2	6	1	3	1	1	1	1	〃
	町 田	1	285	5	1	4	1	2	1	1	1	1	〃
	下 府 中	1	331	4	2	4	1	2	1	1	1	1	〃
	桜 井	1※3	284	6	2	4	1	3	1	1	1	1	〃
	千 代	1	184	4	1	3	1	3	1	1	1	1	〃
	下 曾 我		102					1					国府津共同調理場
	国 府 津	1※2	59									1	〃
	酒 匂	1※3	269	6	2	3	1	2	1	1	1	1	単 独 調 理 場
	片 浦	1	108	1	1	1		3	1			1	〃
	曾 我	1	187	5	1	3	1	2	1	1	1	1	〃
	東 富 水	1	234	5	1	3	1	2	1	1	1	1	〃
	前 羽		87					1				1	橘 共 同 調 理 場
	下 中	1※1	68									1	〃
	矢 作	1	191	4	2	4	1	3	1	1	1	1	単 独 調 理 場
	報 徳	1	318	3	1	3	1	3	1	1	1	1	〃
	豊 川		46									1	豊川共同調理場
	富 士 見	1※3	517	6	2	4	1	2	1	1	1	1	単 独 調 理 場
計		22											単 独 20 校 共 同 5 校

※1は、橘学校給食共同調理場を兼務
 ※2は、国府津学校給食共同調理場を兼務
 ※3は、栄養教諭

※牛乳保冷庫を含む
 カッターはフードカッター

(令和6年5月1日現在)

学校名	栄養士 (名)	調理員又は 配膳員 (名)	調理場 面積 (㎡)	設 備									調理施設
				回転 釜	焼物 機	保管 庫	洗浄 機	冷蔵 庫※	冷凍 庫	カッ ター	ピー ラー	エレベ ーター	
中学校	城 山		75					1				1	学 校 給 食 セ ン タ ー
	白 鷗		129					1				1	〃
	白 山		112					1				1	〃
	城 南		43					1					豊 同 調 理 場 共 同 調 理 場
	鴨 宮	1※1	65					1					学 校 給 食 セ ン タ ー
	千 代		74					1				1	〃
	国 府 津		91					1				1	国 府 津 場 共 同 調 理 場
	酒 匂		90					1				1	学 校 給 食 セ ン タ ー
	泉		65					1					学 校 給 食 セ ン タ ー
	橘		69					1					橘 調 理 場 共 同 調 理 場
	城 北		74					1				1	学 校 給 食 セ ン タ ー
	計	1						11				7	
幼稚園	前羽 (休園)		5					1					
	下中	(1) 他業務 と兼務	13					1					橘 調 理 場 共 同 調 理 場
	計	(1)						2					
学 校 給 食 セ ン タ ー		3※2	調 理 業 務 委 託	1,503	9	2	13	3	3	1	2	2	中学校 8校
橘学校給食 共同調理場		2(1)		446	7	1	7	1	2	1	1	1	幼稚園 1園 小学校 2校 中学校 1校
豊川学校給食 共同調理場		2(1)		594	7	1	9	1	2	1	1	1	小学校 1校 中学校 1校
国府津学校給食 共同調理場		1		728	9	1	9	1	2	2	1	1	小学校 2校 中学校 1校

() 内は会計年度任用職員の再掲

※牛乳保冷庫を含む。

※1は、学校給食センターを兼務 ※2は、係長職を除く。

(2) 給食費の取扱状況

(ア) 給食費の取扱状況

元号	年度	給食費 円			単独調理校			学校給食センター			橋学校給食 共同調理場			豊川学校給食 共同調理場			国府津学校給食 共同調理場		
					取扱 金額 千円	学校数 校	児童数 人	取扱 金額 千円	学校数 校	児童・ 生徒数 人	取扱 金額 千円	学校数 校	児童・ 生徒数 人	取扱 金額 千円	学校数 校	児童・ 生徒数 人	取扱 金額 千円	学校数 校	児童・ 生徒数 人
昭和	27	小 300	17,294	12	10,358														
	46	幼 1,000 小 1,200 中 1,400	186,021	20	13,784						13,318	幼 2 小 2 中 1	197 559 221						
	49	幼 1,800 小 2,000 中 2,400	327,316	21	15,395	250,063		小 1 中 11	1,123 6,444		33,986	幼 2 小 2 中 1	283 790 301						
	51	幼 2,300 小 2,500 中 2,900	415,565	21	15,683	254,770		小 1 中 11	1,184 6,717		42,934	幼 2 小 2 中 1	252 825 361						
	55	幼 2,300 (2月から2,800) 小 2,500 (2月から3,000) 中 2,900 (2月から3,400)	491,017	21	16,783	272,672		小 1 中 11	237 7,491		51,506	幼 2 小 2 中 1	267 994 435						
平成	2	幼 3,100 小 3,400 中 4,000	445,184	20	11,206	292,181		中 8	6,318		96,781	幼 2 小 2 中 2	152 1,018 1,093	53,847	小 2 中 2	735 511	44,190	小 2 中 2	1,103
	11	幼 3,400 小 3,800 中 4,500	422,975	19	9,313	248,496		中 8	4,669		58,467	幼 2 小 2 中 1	1,140	47,605	小 2 中 2	966	53,552	小 2 中 1	1,110
	21	幼 3,500 小 3,900 中 4,600	395,066	19	8,763	225,430		中 8	4,325		46,469	幼 2 小 2 中 1	975	42,088	小 2 中 2	841	56,101	小 2 中 1	1,214
	25	幼 3,500 小 3,900 中 4,600	369,411	20	25年度 3月末 人員 7,825	221,975		中 8	25年度 3月末 人員 4,153		43,995	幼 2 小 2 中 1	25年度 3月末 人員 899	37,885	小 1 中 1	25年度 3月末 人員 780	58,370	小 2 中 1	25年度 3月末 人員 1,233
	26	幼 3,500 小 3,900 中 4,600	359,190	20	26年度 3月末 人員 8,401	223,070		中 8	26年度 3月末 人員 4,480		43,747	幼 2 小 2 中 1	26年度 3月末 人員 1,061	37,108	小 1 中 1	26年度 3月末 人員 899	56,599	小 2 中 1	26年度 3月末 人員 1,369
	27	幼 3,900 小 4,300 中 5,000	390,510	20	27年度 3月末 人員 8,264	237,242		中 8	27年度 3月末 人員 4,375		46,320	幼 2 小 2 中 1	27年度 3月末 人員 1,021	38,941	小 1 中 1	27年度 3月末 人員 791	60,298	小 2 中 1	27年度 3月末 人員 1,317
	28	幼 3,900 小 4,300 中 5,000	384,083	20	28年度 3月末 人員 8,145	233,088		中 8	28年度 3月末 人員 4,317		45,512	幼 2 小 2 中 1	28年度 3月末 人員 1,005	40,665	小 1 中 1	28年度 3月末 人員 880	59,459	小 2 中 1	28年度 3月末 人員 1,314
	29	幼 3,900 小 4,300 中 5,000	376,767	20	29年度 3月末 人員 8,007	223,224		中 8	29年度 3月末 人員 4,136		44,556	幼 2 小 2 中 1	29年度 3月末 人員 980	42,121	小 1 中 1	29年度 3月末 人員 929	59,288	小 2 中 1	29年度 3月末 人員 1,306
令和	30	幼 3,900 小 4,300 中 5,000	379,254	20	30年度 3月末 人員 7,987	214,885		中 8	30年度 3月末 人員 3,970		43,351	幼 2 小 2 中 1	30年度 3月末 人員 953	43,169	小 1 中 1	30年度 3月末 人員 936	56,715	小 2 中 1	30年度 3月末 人員 1,241
	元	幼 3,900 小 4,300 中 5,000	375,069	20	元年度 3月末 人員 7,178	205,055		中 8	元年度 3月末 人員 3,480		40,968	幼 2 小 2 中 1	元年度 3月末 人員 733	42,215	小 1 中 1	元年度 3月末 人員 801	56,383	小 2 中 1	元年度 3月末 人員 1,042
	2	幼 3,900 小 4,300 中 5,000	329,253	20	2年度 3月末 人員 7,037	183,972		中 8	2年度 3月末 人員 3,491		35,378	幼 2 小 2 中 1	2年度 3月末 人員 708	36,904	小 1 中 1	2年度 3月末 人員 791	47,413	小 2 中 1	2年度 3月末 人員 972
	3	幼 3,900 小 4,300 中 5,000	312,379	20	3年度 3月末 人員 6,772	168,589		中 8	3年度 3月末 人員 3,201		32,752	幼 2 小 2 中 1	3年度 3月末 人員 689	36,169	小 1 中 1	3年度 3月末 人員 757	44,413	小 2 中 1	3年度 3月末 人員 917
	4	幼 3,900 小 4,300 中 5,000	313,038	20	4年度 3月末 人員 6,793	177,598		中 8	4年度 3月末 人員 3,397		31,881	幼 1 小 2 中 1	4年度 3月末 人員 667	35,867	小 1 中 1	4年度 3月末 人員 752	43,954	小 2 中 1	4年度 3月末 人員 919
令和	5	幼 3,900 小 4,300 中 5,000	315,269	20	5年度 3月末 人員 6,814	179,164		中 8	5年度 3月末 人員 3,395		30,346	幼 1 小 2 中 1	5年度 3月末 人員 628	36,625	小 1 中 1	5年度 3月末 人員 759	41,796	小 2 中 1	5年度 3月末 人員 874

※令和3年度から給食費公会計化。令和3年度から人員と取扱金額は就学援助分除く。人員は教職員含む。

※令和4年度7月から食材料費の物価高騰分については市費で負担。

(イ) 学校給食会・学校給食事業の沿革

昭和27年	学校給食会設立（学校教育課内に保健係設置）本町・城内・新玉・足柄・芦子・大窪・早川・山王・富水・下府中・町田・久野の各小学校
昭和29年	学校給食法制定（6月3日）
昭和30年	国府津・酒匂・片浦・下曾我・千代の各小学校加入
昭和32年	曾我小学校加入
昭和34年	栄養士市職員に切替え
昭和36年	給食調理員市職員に切替え
昭和42年	給食会職員市職員に切替え
昭和45年	東富水小学校加入
昭和46年	橘町合併（独立会計）橘中学校、前羽・下中小学校、前羽・下中幼稚園加入
昭和47年	10月から学校給食センター業務開始、城山・白鷗・白山・城南・鴨宮・千代・国府津・酒匂・片浦・泉の各中学校加入（中学校10校で完全給食開始により11校全てが完全給食）
昭和48年	矢作小学校新設（センター給食）
昭和49年	橘学校給食共同調理場給食会に加入、栄養士（9人）県職員に切替え
昭和50年	矢作小学校単独調理校に、桜井小学校調理場改築（センター給食）、城北中学校新設
昭和52年	桜井小学校単独調理校に、報徳小学校新設（センター給食）
昭和55年	5月から米飯給食実施、片浦小学校調理場改築（センター給食）
昭和56年	芦子小学校調理場改築、報徳小学校単独調理校に、2月から給食費改定 米飯給食週1回開始
昭和57年	町田小学校調理場改築 橘学校給食給食調理場を下中小学校に改築、移転 国府津中学校、センター給食から橘学校給食共同調理場給食に移行 米飯給食週2回実施
昭和59年	9月から富水小学校調理場改築（豊川学校給食共同調理場給食）
昭和60年	富水小学校調理場改築、富士見小学校調理場新設
昭和61年	城南・片浦中学校、センター給食から豊川学校給食共同調理場給食に移行
昭和62年	国府津小学校調理場改築
平成元年	9月1日から国府津小学校調理場を国府津学校給食共同調理場に移行 （対象は国府津・下曾我小学校）、4月から消費税3%を導入
平成2年	4月から給食費改定
平成4年	大窪小学校改築（豊川学校給食共同調理場給食） 国府津中学校、橘学校給食共同調理場から国府津学校給食共同調理場へ移行
平成8年	三の丸小学校新校舎調理場開設
平成9年	4月から消費税5%を導入
平成11年	4月から給食費改定
平成14年	4月から橘学校給食共同調理場の調理業務について民間委託を実施
平成15年	4月から豊川・国府津学校給食共同調理場の調理業務について民間委託を実施
平成16年	4月から千代・富士見小学校の調理業務について民間委託を実施
平成17年	4月から大窪小学校の調理業務について民間委託を実施
平成19年	4月から富水・東富水小学校の調理業務について民間委託を実施
平成20年	4月から芦子・桜井小学校の調理業務について民間委託を実施
平成21年	4月から給食費改定 4月から新玉・山王・下府中小学校の調理業務について民間委託を実施 4月から米飯給食週2.5回実施（月2回増）
平成22年	4月から下府中小学校に栄養教諭を1名設置（栄養教諭総数 1名） 4月から久野・矢作小学校の調理業務について民間委託を実施 4月から片浦小学校で家庭用炊飯器を使った自校炊飯を実施 （国の米飯学校給食回数増加支援対策事業補助金利用）
平成23年	4月から米飯給食週2.9回実施（月3回増）
平成24年	4月から三の丸・下府中・酒匂・報徳小学校に栄養教諭を1名ずつ設置（栄養教諭総数4名）
平成25年	4月から片浦小学校が、豊川共同調理場から単独調理校へ移行 4月から足柄・酒匂・片浦小学校の調理業務について民間委託を実施
平成26年	4月から消費税8%を導入 4月からすべての調理場で週3回の米飯給食を実施 4月から三の丸・下府中・報徳小学校に栄養教諭を1名ずつ設置（栄養教諭総数 3名）
平成27年	4月から給食費改定 4月から町田小学校の調理業務について民間委託を実施
平成28年	4月から三の丸・大窪・下府中・報徳小学校に栄養教諭を1名ずつ設置（栄養教諭総数4名）
平成29年	4月から三の丸・大窪・町田・下府中・報徳・国府津小学校に栄養教諭を1名ずつ設置 （栄養教諭総数6名）
平成30年	4月から全市的に給食費の口座引落しを実施
平成31年	4月から曾我・報徳小学校の調理業務について民間委託を実施
令和2年	7月から9月分の小・中学校給食費を無償化
令和3年	4月から三の丸・早川小学校の調理業務について民間委託を実施 4月から給食費公会計化 学校給食会解散（7月31日）
令和4年	4月から橘・豊川・国府津学校給食共同調理場の配膳業務について民間委託を実施 7月から翌年3月分の食材料費の物価高騰分を補てん 8月久野小学校及び千代小学校の給食調理場に空調設備設置
令和5年	4月から食材料費の物価高騰分を補てん 8月豊川学校給食共同調理場及び芦子小学校の給食調理場に空調設備設置 11月から曾我小学校で家庭用炊飯器を使った自校炊飯を実施
令和6年	4月から食材料費の物価高騰分を補てん 4月から学校給食センターの調理業務および配膳業務について民間委託を実施

◇ 放課後児童クラブ・放課後子ども教室登録児童数の推移

	各年度4月1日現在			各年度2月1日現在		
	放課後児童クラブ入所児童数			放課後子ども教室登録児童数		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
三の丸	143	142	129		55	79
新 玉	33	36	30		16	14
足 柄	101	109	125		26	32
芦 子	119	123	125		25	54
大 窪	41	33	28		21	22
早 川	28	41	42		19	11
山 王	32	29	31		18	20
久 野	51	48	45		18	35
富 水	119	113	118		63	69
町 田	50	56	63		16	26
下府中	63	66	54		61	69
桜 井	98	102	107		45	62
千 代	124	122	127		34	35
下曾我	25	30	38		18	24
国府津	92	98	90		40	22
酒 匂	73	72	67		61	56
片 浦	休止中	休止中	休止中	69	62	58
曾 我	34	34	29		14	34
東富水	70	72	82		29	17
前 羽	25	23	28		18	23
下 中	38	46	45		15	45
矢 作	105	118	119		58	40
報 徳	52	64	70		33	75
豊 川	138	121	121		71	44
富士見	90	85	89		27	27
合 計	1,744	1,783	1,802	79	863	993

※放課後子ども教室は令和元年度に全校で開設し、学校により対象学年が異なる。
 なお、新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度から令和3年度までは、
 片浦小学校以外は実施しなかった。

生涯學習

◇ 生涯学習課

1 社会教育委員

- ・定数 13 人以内
- ・任期 2 年
- ・委員名簿 巻末に掲載
- ・活動（令和 5 年度）
 - (ア) 社会教育委員会 4 回開催（うち 1 回は書面）
 - (イ) 研修等
 - ・神奈川県社会教育委員連絡協議会研修会
 - ・神奈川県社会教育委員連絡協議会地区研究会（開成町、寒川町）
 - ・その他

2 成人教育事業

(1) 家庭教育学級

ア 趣 旨

子育て期の養育者を対象に、心身ともに健全な子どもの育成を図るために必要な、家庭教育に関する知識や技能を修得してもらうことを目的に、PTA などで実施されている学習会のほか、幼稚園や保育園、小中学校で行われる入園、入学前説明会などの機会に、講師を派遣し、家庭教育の重要性を啓発する講座を開設する。

イ 実施方法

幼稚園・保育園・小学校・中学校、PTA などから開設希望を募り選定した団体で実施。

ウ 内 容（令和 5 年度）

開設団体名	学習主題	延べ参加者数(人)
友愛幼稚園 PTA	家族でできるマナー教室	20
早川小学校 PTA	筆ペン教室	12
鴨宮中学校 PTA	地震や風水害などの災害に備えて	20
花園幼稚園 PTA	大人のリトミックレッスン	11
花園幼稚園 PTA	発達がゆっくりに幼児への支援	8
国府津中学校 PTA	予防医学的な顔ヨガ	中止
千代中学校 PTA	横になったまま自力で全身を整える骨盤調整	13

白鷗中学校 PTA	講演会・座談会	33
鴨宮中学校 PTA	食品ロスを減らそう	17
下中幼稚園 PTA	幼児と小児の救護法	6
花園幼稚園 PTA	みつけよう！秋の自然ネイチャーゲーム	54
富水小学校 PTA	学校給食に関する講座	103
片浦小学校 PTA	話そう！語ろう！つながろう！片浦の子育て	24
友愛幼稚園 PTA	二宮尊徳に学ぶ生活や子育ての知恵	15
芦子小学校 PTA	心と体の健康について	32
山王小学校 PTA	PTA って何？	9
白山中学校 PTA	簡単！きれい！ハーバリウム	18
酒匂幼稚園 PTA	ユースウインドアンサンブル演奏会	73
豊川小学校 PTA	地震や風水害などの災害に備えて	13
花園幼稚園 PTA	聴いて！動いて！歌って！リトミック	8
足柄小学校 PTA	（講師都合により中止）	中止
計 21 学級		489

(2) 家庭教育講演会（令和 5 年度）

ア 趣 旨

家庭教育は、すべての教育の原点であり、その充実が子どもたちの健全育成の大きな力となることから、家庭教育にかかわる人たちの意識を高め、教育力の向上を図ることを目的としている。

イ 内 容

演 題 「子どもの発達と大人のかかわり

～思春期のゆらぎに寄り添うために～」

講 師 小田原短期大学准教授

杉崎 雅子 氏

ウ 期 日 11月12日（日）

エ 参加者 32 人

(3) PTA 広報担当者研修会（令和 5 年度年度）

ア 趣 旨

PTA 広報紙の内容を一層充実させることによって会員の意識を高め、PTA 活動の活性化を図る。

イ 内 容

PTA 広報紙の目的・役割及び編集技術の講義と実習

講 師 情報紙編集長、広報広聴室職員

ウ 期 日 5月19日（金）

エ 参加者 32人

(4) PTA成人教育担当者研修会（令和5年度）

ア 趣 旨

PTAの学習活動の目的や内容等を理解するとともに、学習活動が効率的にできるようにする。

イ 内 容

望ましい学習プログラムの計画や、講座の運営に必要な手続きなど

講 師 生涯学習課社会教育支援員

教育指導課指導主事

ウ 期 日 5月12日（金）

エ 参加者 33人

(5) PTA研究集会（令和5年度）

ア 趣 旨

市内小中学校のPTAが一堂に会し、PTAが直面する課題について研究・討議することにより、PTA活動の充実発展を図る。

イ 内 容

テーマ「NICU 命の授業」

講演会「「NICU 命の授業」

神奈川県立こども医療センター

周産期医療センター長 豊島 勝昭 氏

ウ 期 日 9月2日（土）

エ 参加者 114人

3 学校施設の社会教育開放

(1) 趣 旨

社会教育活動を目的とした団体に活動の場を提供し、社会教育の振興を図るため、教育委員会に登録した団体に対し、市立小中学校の施設・設備を学校教育上支障のない範囲内で開放する。

(2) 登録団体の要件

市内在住・在勤・在学の10人以上で組織した、社会教育活動を目的とした団体

(3) 利用状況（令和5年度）

開放校名	登録団体数 (団体)	利用件数 (件)	利用人数 (人)
三の丸小学校	15	226	4,401
国府津小学校	3	23	-

酒匂中学校	2	132	2,613
計	20	381	7,014

※ 国府津小学校は、利用人数を把握していない。

◎生涯学習センター本館（けやき）

（小田原市荻窪 300 電話 35-5300）



1 概 要

昭和25年、旧市民会館の所在地に中央公民館として開館した。その後、移転を繰り返しながら活動してきたが、昭和55年に市制施行40周年記念事業として現所在地に新築された。

設計は、多目的使用に向くように配慮され、増加する社会教育事業、多様化する生涯学習・文化活動に対応できるようになっている。

平成8年度から祝日開館を、平成17年度からは、通年開館を実施している。

平成19年4月に、市民の学習活動や文化活動を総合的に支援するため、学習情報の提供、学習相談、自主的な学習活動の支援などの新たな機能を付与した生涯学習振興の拠点として、従前の中央公民館から生涯学習センターに名称変更し、愛称を、公募により「けやき」とした。

また、生涯学習団体の育成を積極的に進める観点から、生涯学習センター認定団体制度を設け、施設使用料などに優遇措置を講じている。

平成23年4月には、市民協働による「キャンパスおだわら」を開設し、総合的な生涯学習の推進を図っている。

平成30年度からは、様々な分野で活動する担い手を育成することを目的とした、地域資源を活用した長期的、

体系的な学びの場「おだわら市民学校」を開校運営している。

2 施 設

- (1) 敷地面積 3,629.55㎡
- (2) 建築面積 2,350.268㎡
- (3) 建築総面積 6,477.602㎡（ピロティ1,784.610㎡、デッキ171.121㎡を含む）
- (4) 延床面積 4,521.862㎡
- (5) 構 造 鉄筋コンクリート・一部鉄骨鉄筋コンクリート造、4階建
- (6) 施 設
 - 1階 ピロティ兼駐車場（50台）
 - 2階 ホール（504席）、舞台、楽屋（2室）、大会議室（129人）、第1会議室（20人）、託児室、事務室、学習相談窓口
 - 3階 図書室、書庫（25,000冊収蔵可能）、視聴覚室（70人）、暗室、和室（38.5畳）、茶室（14畳）、展示コーナー
 - 4階 第2会議室（70人）、第3・第4会議室（各36人）、サークル活動室、美術工芸室・調理実習室（各42人）、炉室
- (7) 開 館 昭和56年1月6日
- (8) 総事業費 1,386,584,000 円
（昭和54年度～55年度継続事業）

3 職 員

12人（課長1、副課長2、係長1、係員4、社会教育支援員1、社会教育指導員3）、他に会計年度任用職員

4 生涯学習事業の推進における基本方針

「まちじゅうキャンパス

～みんなで創るキャンパスシティおだわら～」

市民による主体的な生涯学習活動を基本に、市民の生涯を通じた学ぶ意欲を支え、多様な学習の機会を提供するとともに、学んだ成果を適切に生かすことができる環境を整備し、生涯学習の振興を図っていく。

多様化・高度化する市民の学習ニーズに対応するためには、講座などの事業の展開や学習情報の提供、学習相談の実施など、多角的な体制を確立することが必要であ

る。

これらの取組に際し、市民活力による事業への運営協力や学習者の立場に立った事業の企画を担っていただき、市民との協働体制のもと、効果的で効率的な生涯学習事業の円滑な推進を実現する。

このため、「だれもが、いつでも、どこでも、なんでも」学ぶことができるよう、生涯学習事業を多彩に展開し、まちじゅうがキャンパス（学びの場）となって市民が様々なに学べる環境の実現を目指し、これを、学ぶ人、教える人、運営する人、行政など、みんなで創りあげていく「まちじゅうキャンパス～みんなで創るキャンパスシティおだわら～」を理念とする「キャンパスおだわら」を中心に進めていく。

5 キャンパスおだわら事業

(1) 生涯学習きらめき出前講座・体験学習

ア 趣 旨

市民のリクエストに応じて、市職員が市民の元に出向き、行政の取組や職員の専門知識を生かした話をする事業で、平成10年度からは市職員の働く現場などで、行政の仕事や机上では得られない学習を体験する「きらめき体験学習」をメニューに加えた。

イ 講座数及び利用状況（令和5年度）

	出前講座	体験学習
講 座 数	11 分野 89 講座	5 分野 9 講座
利用状況	88 講座 2,568 人	1 講座 14 人

ウ 運 営 小田原市

(2) キャンパスおだわら人材バンク

ア 趣 旨

市民が学び合い、教え合い、喜びを分かち合える自主的な学習活動を支援するために、キャンパスおだわらの理念・目的に則した人材バンク制度として、生涯学習きらめき☆おだわら塾に代わり、平成25年度から開設した。

ボランティア講師を「キャンパス講師」として登録し、市民の要請に応じた講座を開設する。また、キャンパス講師の活躍の場の提供や子どもに生涯学習の場を提供することを目的とした「夏休み子どもおもしろ学校」や、主に大人を対象に、生涯学習を始める機会とする「キャンパス講師による1日体験

講座」などを開催する。

イ 登録者数 119人(うち団体32)

ウ 利用状況 64 講座 527 人

内訳 自主講座 31 講座 334 人

公募型市民企画講座 33 講座 193 人

エ 夏休み子どもおもしろ学校来場者

37 講座 537 人

オ キャンパス講師による 1 日体験講座

21 講座 114 人

(3) キャンパスおだわら公開講座 (令和 5 年度)

ア 趣 旨

豊かな小田原の歴史・文化について、あらためて学ぶ機会を創出することを念頭に、選定テーマに基づく専門家・研究者等を招き講座を開催する。

イ 内 容

演 題 「片岡日記からみた小田原の関東大震災」

講 師 元小田原市史編さん室嘱託

星野 和子 氏

ウ 期 日 1 月 20 日 (土)・27 日 (土)

エ 参加者 48 人

(4) 生涯学習情報誌「キャンパスおだわら」の発行

ア 趣 旨

学習者が一度により多くの情報を手に入れ、選択ができるように行政の学習情報のみならず民間の学習情報も含めた情報を収集し、提供している。

イ 発行部数 (令和 5 年度) 各回 750 部 (年 4 回)

ウ 運 営 小田原市

(5) 学習・文化・スポーツ情報誌「自分時間手帖」の発行

ア 趣 旨

行政だけでなく民間情報も取り入れた、団体・サークルや講座・イベントの紹介、施設の案内などを掲載した情報誌を発行し、市民の自主的な生涯学習活動を情報面から支援する。

イ 発行部数 (令和 5 年度) 5,000 部 (年 1 回)

ウ 運 営 小田原市

(6) 学習相談支援事業

市民の生涯学習活動を支援するために、サークルや講師の紹介、講座やイベントの案内など、学習活動に関する様々な相談に応じる窓口を設置している。

ア 生涯学習センター学習相談窓口

平成 19 年 4 月、生涯学習センター開設に伴い、生涯学習センター 1 階に学習相談窓口を新設し、生涯学習相談員を配置した。現在は社会教育指導員を中心とした、市職員が対応している。

相談時間：午前 9 時～午後 5 時

イ 相談者数・相談件数実績 (令和 5 年度)

	相談者数 (人)	相談件数 (件)
学習相談窓口	53	53

ウ 運 営 小田原市

6 おだわら市民学校事業

(1) 目 的

「持続可能な地域社会」を実現するため、広く市民の方々に対して、地域資源を活用した長期的、体系的な学びの場「おだわら市民学校」を官民が協力し提供することで、様々な分野で活動する担い手を育成する。(平成 30 年度開校)

(2) おだわら市民学校の学習体系

ア 基礎課程「おだわら学講座」(入校 1 年目)

「おだわら学講座」は、おだわら市民学校の基礎課程と位置づけ、小田原の魅力を深く理解し、郷土愛を育むことを目的とする。(15 回程度の連続講座)

イ 専門課程(入校 2 年目)

専門課程は、各分野の専門的、実践的な学びの場を設け、まちづくりの担い手としての人材を育成することを目的とする。(15 回程度の連続講座)

※令和 6 年度より、6 分野から 4 分野へ再編。

- ・サポートの必要な人を支える
- ・子どもを見守り育てる
- ・自然を守り育てる
- ・地域の生産力を高める

ウ 教養課程(専門課程受講者が重複して受講可能)

教養課程は、より深く小田原の魅力を学び、小田原に関する教養を高めることを目的とする。

(15 回程度の連続講座)

- ・郷土の魅力を知り伝える
- ・二宮尊徳の教養を継承する

エ 人づくり課題解決ゼミ

人づくり課題解決ゼミは、既に活動している団体

が抱える人材確保・育成に関する共通の課題について、先進事例の研究やワークショップなどを通じて、学びや、団体間の人と人とのつながりを生み出し、課題解決へと繋げることを目的とする。

(3) 令和5年度事業概要

ア 基礎課程「おだわら学講座」

6月3日開講、全15回連続講座、37名が受講

イ 専門課程及び教養課程を実施した。

5月13日から順次開講、全8分野、延べ80名(内5期生述べ52名)が受講

※専門課程及び教養課程については、「おだわら学講座」

の修了生を優先とするが、定員に空きがある場合は、広く一般にも受講生を募っている。

ウ 人づくり課題解決ゼミ

令和6年2月27日開講 「つながる！イベントづくり」、全3回連続講座、17人が受講。

エ おだわら市民学校公開講座

おだわら市民学校事業を広く市民に周知し、様々な世代に体験受講の機会を設けるため、令和5年度より専門課程各分野で公開講座を実施した。

分野名	テーマ	参加人数
サポート	多様性と共生社会	24人
子ども	子育て家庭が持つ悩みの現状とサポートについて	49人
自然	小田原の自然(海)から学ぶ	27人
文化力	小田原の民族芸能を学ぶ「民族芸能とは」	26人
地域元気	地域活動を知る	17人
生産力	お菓子づくりから農業を考える	97人

オ 記念講演

2年間の学びを修了した受講生に対し、おだわら市民学校の卒業生としての連帯感と使命感を醸成し、今後地域の実践活動に参加することの価値等を改めて認識してもらうとともに、広く市民に対しておだわら市民学校の取組を周知するため、卒業式後、記念講演会を実施した。

日時：令和6年3月16日(土) 10時30分～12時

場所：生涯学習センターけやき ホール

講師：神野直彦氏(おだわら市民学校名誉校長、

東京大学名誉教授)

※講演のほか、卒業生による事例発表を実施

7 生涯学習支援事業

生涯学習に関する市主催事業等に参加を希望する幼児等の保護者が安心して参加できるよう託児の支援を行う。

8 生涯学習フェスティバル

生涯学習センターを活動の拠点としているグループに日頃の成果の発表の場を与え、また参加団体の交流と親睦を図るために、昭和58年度から中央公民館フェスティバルを開催した。

平成19年度の生涯学習センター開設に伴い、名称を生涯学習センターフェスティバルに変更するとともに、生涯学習振興の拠点としての各種事業も行った。

平成24年度からは、市内で活動する生涯学習活動団体に参加対象の範囲を広げるとともに、開催目的について、団体の会員拡大や活動の活性化に重点を置き平成26年度からは、名称を生涯学習フェスティバルに変更し開催している。

令和2年度、3年度及び4年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため開催を中止した。

<令和5年度実績>

ア 内容 音楽・舞踏などの発表、美術、工芸などの展示、体験講座を実施。

イ 会場 生涯学習センターけやき

ウ 期日 10月21日(土)

エ 入場者 1,227人

オ 参加者 21団体(舞台12、展示6、内体験4)

9 地区公民館育成事業

地域住民自らの手によって設立された地区公民館の育成・指導に努め、次のような事業を行っている。

(1) 公民館連絡協議会

地区公民館129館、生涯学習センター2館により構成され、相互の連絡調整を図るとともに、公民館大会、研修講座等を毎年開催し、公民館活動の推進に努めている。

また、市内を10ブロックに分けてブロック会を設け、独自の研修を開くなど事業の充実を図っている。

(2) 公民館大会

市内の地区公民館の関係者が一堂に会し、潤いのある地域づくりに寄与している優れた公民館運営と事業活動を展開している優良公民館等を表彰した。

<令和5年度実績>

- ア 趣 旨 地区公民館の振興と発展を図る。
イ 期 日 7月8日(土)
ウ 会 場 生涯学習センターけやき
エ 内 容 優良公民館や役員の表彰
オ 参加者 89人
カ 受賞者 2人

(3) 地区公民館建設費補助金

地区公民館の建設に対して、建設費補助金を交付している。(補助金=基準単価×基準面積×30%を上限)
令和5年度 実績なし

(4) コミュニティ助成事業に認定された地区公民館建設費補助金

一般財団法人自治総合センターがコミュニティセンター助成事業に認定した場合、地区公民館の建設に対して、建設費補助金を交付している。(補助金=事業費×60%、1,500万円を上限)
令和5年度 実績なし

(5) 地区公民館修繕費補助金

既存地区公民館の建物の修繕に対して、修繕費補助金を交付している。(補助金=50万円から300万円の修繕費×40%を上限)

令和5年度実績

件数(件)	補助金額(円)
9	4,500,000円

(6) 地区公民館活動費補助金

地区公民館における生涯学習活動を促進するため、公民館連絡協議会に加入している129館の公民館に補助金を交付している。

令和5年度実績

件数(件)	補助金額(円)
129	2,651,241円

(7) 地区公民館いきいきフェスタ

市内の地区公民館で活動している文化・学習サークルの日頃の成果発表と交流を目的に、平成10年度

から開催している。

令和2年度、令和3年度及び令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため開催を中止した。

<令和5年度実績>

- ア 内 容 絵画・書・写真・手芸などの作品展示のほか、舞踊・民謡・コーラスなどの舞台発表を実施。
イ 会 場 生涯学習センターけやき
ウ 期 日 11月26日(日)
エ 入場者 1,531人
オ 参加者 23団体(舞台16、展示7)

10 センター施設の提供・管理運営事業

(1) 貸館事業

貸館事業は、発表会や大規模会議に適したホールをはじめ、一般会議・実習用の大小5の会議室のほか、視聴覚室、和室、茶室、暗室、美術工芸室、炉室、調理実習室などがあり、これらの施設・設備を利用して積極的に生涯学習団体の育成を図っている。
・休 館 日 第4月曜日、年末年始(12/28～1/3)
・利用時間 午前9時～午後9時30分
(図書室は午前9時～午後5時)

令和5年度室別利用状況

室 名	件数(件)	人数(人)
ホ ー ル ・ 舞 台	772	22,836
第 1 ・ 2 楽 屋	429	3,200
大 会 議 室	746	18,270
第 1 ～ 4 会 議 室	2,259	22,659
視 聴 覚 室	744	11,314
和 室 ・ 茶 室	996	8,198
調 理 実 習 室	181	2,224
美術工芸室・炉室・暗室	495	2,645
託 児 室	92	151
合 計	6,714	91,497

(開館 347日)

(2) 図書の閲覧・貸出業務

図書室には、絵本、童話、小説、実用書、辞典類などの図書21,863冊、平成14年度から市立図書館の自動車文庫より借受図書隔週1回50冊、雑誌26誌、紙芝居277巻、日刊新聞5紙を備えている。また、平成14年度からインターネット閲覧コーナーを設けている。

令和5年度図書室利用状況

区 分	貸出者数(人)	貸出冊数(人)
一般 (13 歳～)	7,457	17,993
児童 (0 歳～12 歳)	673	2,637
合 計	8,130	20,630

(団体利用含まず) (開室 347 日)

令和5年度図書・館外貸出冊数

区 分	冊 数 (冊)	月平均冊数 (冊)	1 日平均冊数 (冊)
一般図書	17,993	1,500	52
児童図書	2,637	220	6
合 計	20,630	1,720	58

(団体貸出冊数含まず)

◎生涯学習センター国府津学習館

(小田原市国府津 2485-1 電話 48-2035)



1 概 要

昭和53年4月に国府津公民館として開館した。

平成8年1月に川東タウンセンター・マロニエがオープンし、同年2月、併設されていた国府津支所がマロニエに統合されたことに伴い、支所の事務室などを会議室として整備し、同年4月から利用に供している。

さらに、生涯学習の高まりの中で、利用者の利便を図るため、平成8年度から祝日開館を、平成17年度から通年開館を実施している。

平成19年4月、生涯学習センターの開設に伴い、川東地域の生涯学習活動の拠点として、国府津公民館から国府津学習館となった。

周辺に地区公民館がないこともあり、地域コミュニティの拠点としての機能も担っている。

2 施 設

(1) 敷地面積 1,004.83 m²

(2) 延床面積 505.28 m²

(3) 構 造 鉄筋コンクリート造2階建

(4) 施 設

1階 第1会議室 (36人)、第2会議室 (20人)、
事務室、図書室

2階 大会議室 (100人)、実習室 (15人)、
和室 (15畳)、談話ロビー

屋外駐車場 14台

屋根付自転車置場 15台

(5) 建設費 89,228,000円

3 職 員

2人

4 貸館事業

貸館事業は、大会議室 (調理室兼用)、実習室、第1会議室、第2会議室及び和室の施設・設備を利用して実施している。

この学習館は、地域住民の要望により開館したこともあって、自治会などによる活動が活発に行われている。

・休 館 日 第4月曜日、年末年始 (12/28～1/3)

・利用時間 午前9時～午後9時30分
(図書室は午前9時～午後5時)

令和5年度室別利用状況

室 名	件数 (件)	人数 (人)
大 会 議 室	524	7,286
実 習 室	262	1,330
和 室	370	2,005
第 1 会 議 室	445	5,031
第 2 会 議 室	335	1,769
合 計	1,936	17,421

(開館 347日)

5 図書の閲覧・貸出事業

図書3,393冊に、市立図書館の自動車文庫からの借受図書 (毎月1回100冊) を加えて運営している。また、日刊新聞3紙と雑誌8誌を備えている。

令和5年度図書室利用状況

区 分	貸出者数(人)	貸出冊数(人)
一般 (13歳～)	2,770	5,955
児童 (0歳～12歳)	325	1,038
合 計	3,095	6,993

(団体利用含まず) (開室 347日)

令和5年度図書・館外貸出冊数

区 分	冊 数 (冊)	月平均冊数 (冊)	1日平均冊数 (冊)
一般図書	5,955	497	18
児童図書	1,038	87	3
合 計	6,993	584	21

(団体貸出冊数含まず)

◎郷土文化館（小田原市城内 7-8 電話 23-1377）



1 概 要

小田原市郷土文化館は、昭和30年1月20日に開館し、昭和35年3月28日に、文部省より博物館法に基づく博物館相当施設に指定された。当初は、城内馬屋曲輪にあった図書館の建物を転用したものであったが、その後、昭和46年には、小田原城常盤木門内に、そして、昭和48年に現在地に移転した。現在の建物は、昭和20年に建てられ、旧神奈川県立小田原婦人専修職業訓練校として使用していたものである。

郷土小田原は、豊かな自然環境を背景に、城下町・宿場町として栄えるなど、歴史的・民俗的環境にも恵まれており、郷土文化館ではこのような先史・有史の豊富な郷土資料を収集・保管・展示するとともに、郷土文化の向上に資する活動を行っている。

◎郷土文化館分館松永記念館

（小田原市板橋 941-1 電話 22-3635）



松永記念館は、昭和55年10月1日に、郷土文化館分館として設置された。

この建物は、戦前・戦後を通じて電力王と呼ばれ、実業界で活躍し、また、数寄茶人としても高名な松永安左エ門（耳庵）が、昭和21年に小田原に居住してから収集した古美術品を一般に公開するために、昭和34年に財団法人松永記念館を創立し建設したもので、毎年春と秋の2回特別展を開催するなど、広く一般に公開され、市民に親しまれた施設であった。

その後、財団法人の解散により、小田原市に土地と建物が寄付されたが、収集された古美術品は福岡市美術館などに移された。

昭和61年3月25日には、茶室「葉雨庵」が松永記念館の敷地内に移築・復元された。「葉雨庵」は、戦前、三越の社長を務めるなど、財界人として活躍し茶道にも造詣の深かった野崎廣太（幻庵）が、市内南町の自怡荘内に建てた茶室である。

また、平成3年5月20日には、葉雨庵の利用者の利便を図るため、茶室附属棟「烏葉亭」を建設した。

さらに、平成4年2月20日には松永記念館別館を建設した。

本館1階展示室で松永耳庵ゆかりの資料を、また、別館展示室では、市所蔵の美術品や中河与一コレクションを展示しており、年に1回程度、特別展を開催している。

松永記念館庭園は、平成19年2月16日付で都市公園法施行50周年記念事業「日本の歴史公園100選」に選ばれた。

平成23年度から「小田原市歴史的風致維持向上計画」の重点区域内における推進事業の一つとして、松永記念館整備活用事業に着手し、老朽化した施設の改修・整備を進めており、平成25年度には「葉雨庵」外壁などの補修や「烏葉亭」との連絡通路の整備などを実施、平成26年度には本館の改修工事を実施し、展示ケースのエアタイト化、外壁などの補修、バルコニーの補強などを行った。また、平成27年度には、別館の改修工事を実施し、展示ケースの改修、段差解消機の設置とバリアフリー化、外壁の補修などを行った。平成28年度には本館収蔵庫の改修工事を実施し、外壁漆喰及び木部の補修や外扉の塗装などを行った。

令和2年度から令和3年度にかけては、庭園及び駐車場の整備改修工事を施工しており、旧観の復元及び庭園の一部バリアフリー化等の整備を行った。

◎松永記念館老櫓荘（小田原市板橋 513-7 電話 22-8810）



松永記念館老櫓荘は、松永安左エ門が、昭和21年に、埼玉県柳瀬（現在の所沢市）から小田原に移り住むために建てられたものである。

松永氏は夫人とともに晩年をこの老櫓荘で過ごすかわら茶会を催し、当時の著名な茶人、政治家、学者、建築家、画家などを多く招いた。

老櫓荘は、昭和28年頃まで、増築を行ったため、屋根形態が入り組んでいるが、四畳半台目の茶室や、三畳大の床間を設けた東南の庭に面する広間、母屋の東北に取りつく三畳の寄付茶室などの意匠に近代数寄屋建築としての特徴が見受けられる。

松永氏が昭和46年、96歳で逝去の後、建物は別荘として使われていたが、平成5年度に小田原市土地開発公社が土地建物を取得、その後建物の補修・保存を行うために、平成11年度に建物を、12年度には土地を市が買い戻した。建物の補修・保存整備工事は、平成12年8月に着工し、平成13年3月に完成した。

この老櫓荘は、茶室「葉雨庵」とともに平成12年9月26日付で国登録有形文化財に登録されている。

平成23年度から「小田原市歴史的風致維持向上計画」に基づき、老櫓荘は平成25年度に外壁補修、老櫓荘収蔵庫の改修などを行っている。平成29年度から令和元年度にかけて、かつて老櫓荘西側のみかん山の中腹に建てられていた田舎家「無住庵」の移築復元整備を行った。この無住庵は令和5年2月27日付で国登録有形文化財に登録されている。

延床面積	1,111.58 m ²	
構 造	木造トタン葺2階建一部平屋建	
施設内容	1階	考古資料室、歴史資料室、文化人資料室、図書室、会議室、収蔵室、事務室
	2階	民俗資料室、自然科学資料室、収蔵室、作業室
休 館 日	12月28日～1月3日	

(2) 郷土文化館分館松永記念館

敷地面積	2,518.91 m ²	
延床面積	638.43 m ²	
構 造	本 館	鉄筋コンクリート造一部木造瓦葺2階建
	別 館	鉄筋コンクリート造2階建
	葉 雨 庵	木造瓦葺一部檜皮葺平屋建
	烏 葉 亭	木造瓦葺平屋建
	収 蔵 庫	鉄筋コンクリート造瓦葺2階建
施設内容	本 館	1階：展示室 2階：和室・茶室
	別 館	1階：展示室 2階：展示室
	収 蔵 庫	収蔵資料保管
	葉 雨 庵	茶室
	茶 室 附 属 棟 烏 葉 亭	和室
休 館 日	12月28日～1月3日	

(3) 松永記念館老櫓荘

敷地面積	2,366.36 m ²	
延床面積	196.04 m ²	
構 造	老櫓荘	木造瓦葺平屋建 コンクリートブロック造
	無住庵	木造銅板葺平屋建
施設内容	老櫓荘	広間・茶室・寄付・和室・倉庫
	無住庵	茶室・水遣・土間・板間
休 館 日	12月28日～1月3日	

(4) 松永記念館駐車場

2 施 設

(1) 郷土文化館

敷地面積	1,298 m ²
------	----------------------

敷地面積	909.73 m ² (一般車両 23 台、うちマイクロバス 用 1 台、障がい者用 1 台)
------	--

(5) 民俗資料整理収蔵庫 (小田原市蓮正寺 590-5)

敷地面積	275 m ²
延床面積	134.25 m ²
構 造	補強コンクリートブロック造平屋建

3 職 員

5 人 (係長 1、係員 4)、他に会計年度任用職員

4 郷土文化館協議会

郷土文化館の運営に関する事項について教育委員会の諮問に応じて調査審議などを行う附属機関として設置されている。

- (1) 定 数 10 人以内
- (2) 任 期 2 年
- (3) 委員名簿 巻末に掲載
- (4) 活動 (令和 5 年度)

ア 第 1 回協議会 令和 5 年 10 月 13 日 (金)

(7) 令和 4 年度・令和 5 年度上半期郷土文化館事業
について報告

(4) 令和 5 年度下半期郷土文化館事業について協議

イ 第 2 回協議会 令和 6 年 2 月 6 日 (火)

(7) 令和 5 年度 (11 月から 3 月) 郷土文化館事業に
ついて報告

(4) 令和 6 年度郷土文化館事業 (案)、令和 6 年度郷
土文化館予算 (案) について協議

5 資 料

分類		点数（点）
人文科学資料		25,682
内訳	歴史資料	16,331
	考古資料	2,206
	民俗資料	4,784
	文化人資料	744
	美術資料	1,617
自然科学資料		10,780
内訳	動物資料	283
	植物資料	6,657
	魚類資料	368

	昆虫資料	3,359
	岩石資料	113
図書資料		18,417

6 主な事業 (令和 5 年度)

(1) 本館資料収集・保管・活用事業

ア 常設展示

本館常設展示… 5 室で行っている。

室 名	展 示 内 容
考 古 資料室	小田原地方及び周辺から出土した縄 文・弥生時代の土器・石器、古墳時 代の金属器・副葬品など
歴 史 資料室	千代寺院跡、後北条氏、江戸時代の 城下関係資料など、古代から幕末ま で
文化人 資料室	明治時代以降の小田原の交通、別邸、 震災、戦時下、戦後の発展について
民 俗 資料室	農具などの生業、講などの信仰に関 する資料 (室外には漁業に関する資 料を展示)
自然科学 資料室	小田原・箱根地方の植物・動物・昆 虫・魚類・岩石の標本

イ 特別展示

本館特集展示

テーマ	収蔵資料紹介「戦国国衆の鞍替え/ 弓胎弓特別展示
期 間	4 月 29 日 (土) ~ 6 月 25 日 (日)
内 容	大河ドラマ「どうする家康」の放送 にあわせて、戦国時代の文書および 弓胎弓を紹介。
入 場 者	7,084 人

テーマ	海藻おしば教室 参加者作品展
期 間	8 月 2 日 (水) ~ 9 月 28 日 (木)
内 容	7 月 30 日 (日) に生涯学習センターけ やきで開催した、夏休み子どもおも しろ学校 2023「楽しい海藻おしば教 室」で参加者が作成した海藻おしば 作品を展示。 (作成指導協力: 海藻おしば協会神奈 川支部)
入 場 者	4,071 人

テーマ	マトリョーシカの歴史
期 間	11 月 10 日 (金) ~ 3 月 31 日 (日)

内 容	収蔵しているマトリョーシカについて、当館学芸員が調査成果を紹介
入 場 者	9,540人

テーマ	「天下人家康を支えた男～初代小田原藩主大久保忠世～」
期 間	12月11日(月)～12月24日(日)
内 容	小田原藩主大久保忠世の偉業について、大河ドラマで使った大久保忠世の旗指物や、天守閣が所蔵する掛軸などを紹介
入 場 者	773 人

ウ 企画展示

テーマ	「100年の記憶と記録-小田原の関東大震災-
期 間	8月26日(土)～10月29日(日)
内 容	地震発生から100年を迎え、人々の記憶と記録によって残され、現在まで受け継がれてきた様々な震災関連の資料から、当時の状況を紹介
入 場 者	4,930 人

企画展関連事業

内容	日時	参加者
ハルネギャラリーでのパネル展示	8月26日(土) ～ 10月29日(日)	
郷土探究会 関東大震災の史跡をめぐ る-根府川地区の山津波-」	9月23日(祝)	24人
郷土研究講座 関東大震災 100 年・その地震像と被害	9月23日(祝)	31人
ギャラリートーク	9月2日(土)	12人
	9月14日(木)	12人
	10月7日(土)	10人

エ 出張展示 (ハルネギャラリー)

テーマ	おだわらデジタルミュージアム
期 間	7月25日(火)～8月27日(日)
内 容	おだわらデジタルミュージアムのコンテンツを紹介するパネル展を開催

テーマ	関東大震災100年
期 間	8月28日(月)～10月29日(日)
内 容	関東大震災の発生から100年を迎えるにあたり、郷土文化館で開催する企画展を周知するためのパネル展示。

オ 講座

自然探究会 (江之浦海岸)

内 容	期 日	参加者数
磯の生物を観察しよう	10月1日(日)	18人

カ 他所管主催展示

テーマ	最新出土品展／企画展「なんで古墳を造ったの? -小田原の古墳時代後期の社会-
期 間	11月3日(祝)～12月24日(日)
内 容	文化財課の主催により、令和4年度の発掘調査に関する展示、及び小田原の古墳時代の人々の暮らしを紹介する展示を開催。
入 場 者	3,793人

キ その他

県立生命の星・地球博物館が開催した、「ミューズフェスタ2025」にブースを出展し、館のPR活動を行った。

内 容	期 日	参加者
ブース出展 (資料・パネル展示、クイズラリー)	3月9日(土) 3月10日(日)	370人

(2) 分館松永記念館資料収集・保管・活用事業

ア 常設展示

分館常設展示・・・3室で行っている。

室 名	展 示 内 容
本館 展示室	松永耳庵と老櫓荘
別館1階 展示室	館蔵資料展示
別館2階 展示室	中河与一関係資料展示

※特別展等開催時は適宜撤収

イ 特別展示

分館特集展示

テーマ	収蔵洋画展「中河与一コレクション」
期 間	4月1日(土)～7月2日(日)
内 容	中河与一コレクションのうち、自著の装丁画の原画、ゆかりのある美術家の作品と関連資料を紹介
入 場 者	3,912 人

テーマ	収蔵版画展「小田原の浮世絵」
期 間	7月8日(土)～9月24日(日)
内 容	小田原の歴史や風景を題材とした浮世絵コレクションを紹介
入 場 者	1,843 人

テーマ	収蔵資料展「春の書画」
期 間	1月4日(木)～3月24日(日)
内 容	収蔵資料のなかから、春の景物にちなんだ書画を展示。また新たに収蔵した足柄刺繍作家上田菊明の作品4点を展示
入 場 者	3,328 人

ウ 施設見学等

内 容	期 日	参加者
慶應義塾大学文学部日本美術史専攻見学	9月11日(月)	4 人
文化財建造物秋の観覧会（文化財課主催）	12月2日(土) 12月3日(日)	44人
市民学校	2月10日(土)	25人

エ 呈茶

来館者が気軽にお茶を楽しめるよう、ボランティア団体等による呈茶サービスを定期的に行っている。

(ア) 風韻の会（抹茶）

期 日	参加者（人）
4月1日（土）	60
5月13日（土）	26
6月3日（土）	35
7月1日（土）	42
8月5日（土）	24
9月23日（土）	38
11月5日（日）	62
12月2日（土）	87
12月3日（日）	132
1月20日（土）	23

2月10日（祝）	57
3月2日（土）	52
計	638

(イ) 一般社団法人足柄茶ラボ（煎茶・冷茶）

期 日	参加者
7月30日（日）	19 人
12月10日（日）	74 人

オ 松永記念館茶会

茶道活動を行う市民グループや茶道愛好家団体を公募して実施している。※夢見遊山いたばし見聞楽と同時開催。

カ 夢見遊山いたばし見聞楽

板橋地区の住民等で構成する、板橋秋の交流会実行委員会が、松永記念館等を会場に、各種催しを開催している。

内 容	期 日	参加者
観月茶会	9月30日（火）	203 人
見聞楽市ほか	11月3日(祝)	848 人

期 日	参加者
11月3日（祝）	303 人

キ ミュージアムリレー

神奈川県西部地域ミュージアムズ連絡会主催のミュージアムリレー第332走を開催した。

期 日	参加者
12月7日（木）	15 人

(4) 博物館構想推進事業

国デジタル田園都市国家構想推進交付金等を活用し、郷土文化館をはじめとする本市が収蔵する資料をデジタル化し、一つのホームページに集約した、「おだわらデジタルミュージアム」を創設した。

後世に確実に継承するだけでなく、学校教育や生涯学習及び観光振興にも活用することを目的としている。

令和4年度は、約56,000カットに及ぶ収蔵資料のデジタル高精細撮影や、さまざまな資料の特性に応じ、3DやVR等の先進的な技術を用いてデジタル化作業

を行い、データベースを構築するとともに、これらを公開するためのホームページ等の制作を行った。

令和5年度は、ホームページへのアクセス数が約16万アクセスと当初の目標を上回るアクセス数があった。デジタル化作業は、令和4年度に撮影・スキャンが完了できなかった収蔵資料を引き続き行い、約2000点の資料のデジタル化を行った。また、デジタルミュージアムに関する講演会や執筆依頼、ホームページに掲載されている資料の画像提供に関する問い合わせを受けた。

ア 講演会

テーマ	「始動!おだわらデジタルミュージアム」
期 間	6月25日(日)
内 容	デジタルミュージアムの構築に携わった関係から作業の内容や苦労話を伺い、資料のデジタル化の意義やデジタル化によって得られた知見を共有し、今後の博物館整備を市民とともに考える。
入 場 者	29 人

イ おだわらデジタルミュージアムアクセス数

アクセス数	156,591件
-------	----------

7 出版物

小田原市郷土文化館研究報告 No.60

・三上 芳範

【研究ノート】 記録からみた田島人形―活動と衰退の時期をめぐって―

・田中 里奈

【資料紹介】 関東大震災 寒ノ目山トンネル事故関係資料―熱海線機関士・尾崎道太郎氏資料について―

○おだわらデジタルミュージアム特集

・瀬能 宏

小田原市郷土文化館所蔵の日産水産研究所旧蔵魚類標本およびその歴史的価値

・河野 えり子

海藻の同定作業

・中村 萌・森 翔大

おだわらデジタルミュージアムの構想とその意義

・吉野 文彬

小田原の宝を世界に発信 おだわらデジタルミュージアム創設について―創設に至る背景と今後の展望―

8 入館者(令和5年度)

	入館者数 (人)	開館日数 (日)	日平均 (人)
本館	26,785	352	76
分館	17,326	339	51

本館

※10月30日～11月2日、12月25日～1月3日休館

分館

※10月2日～10月11日、12月18日～1月3日休館

9 貸館利用状況

(1) 本館 : 午前9時～午後9時30分

(2) 分館松永記念館 : 午前9時～午後4時

令和5年度 利用状況

	室 名	件数(件)	利用者数 (人)
本館	会議室 (建築基準法第12条に基づく点検により要改修の指摘があったため利用停止)		
	和室	14	100
	茶室及び茶室附属棟	21	113
	茶室附属棟	2	6
	和室・茶室附属棟	0	0
	松永記念館全館	16	488
分館 (松永記念館)	小 計	53	707
	茶室	10	27
	広間	13	59
	寄付及び和室	1	3
	茶室・広間	2	0
	茶室・寄付及び和室	0	0
	広間・寄付及び和室	0	0
	無住庵	3	52
	老櫓荘全館	44	720
分館 (老櫓荘)	小 計	73	861
	合 計	126	1,568

※分館（松永記念館）使用許可件数 106 件

◎尊徳記念館（小田原市栢山^{かやま}2065-1 電話 36-2381）



1 概 要

尊徳記念館は、二宮尊徳の業績を顕彰するとともに、社会教育の振興を図るため設置したもので、現在、尊徳生家の一般公開や遺品の展示をはじめ、「尊徳祭」などを開催するほか、子どもを対象とした「子ども映画会と金次郎のおはなし」を定期的に開催している。こうした事業を通じて郷土の偉人を顕彰するとともに、研修室などや図書室を備え、市民の生涯学習活動の場としても利用されている。

なお、現在の施設は「二宮尊徳生誕200年祭」記念事業として改築し、昭和63年6月に開館したものである（「二宮尊徳没後100年祭」の記念事業として昭和30年に建設した宿舍及び食堂と、昭和40年に建設した遺品陳列館を建替え）。また、尊徳生家は、昭和35年に他所に移っていたものを復元したもので、県指定重要文化財（昭和38年3月5日指定）となっており、捨苗栽培地跡とともに、尊徳学習のための重要な遺跡として保存・活用し

ている。

2 施 設

(1) 尊徳記念館

敷地面積	4,215.28 m ²	
延床面積	3,912.36 m ²	
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階・地上3階建	
施設内容	地階	機械室
	1階	展示室、視聴覚室(60人)、図書室、事務室、ガイダンス室
	2階	宿泊室(和室6室・50人)、食堂、調理室
	3階	講堂(200人)、研修室(30人・2室、10人・1室)、体験実習室(60人)
建設費	1,580,000,000 円 (昭和61年度～63年度継続事業)	
休館日	12月28日～1月3日	

(2) 駐車場

敷地面積	2,592.30 m ² (駐車台数: 大型バス8台、一般車両46台)
------	--

(3) 尊徳生家

延床面積	103.63 m ²
構 造	木造茅葺平屋建
備 考	昭和35年9月20日移築復元

(4) 捨苗栽培地跡（栢山 2113 番地）

面 積	758.02 m ²
-----	-----------------------

3 職 員

5人（係長1、係員4）、尊徳記念館ボランティア解説員（11人で交替勤務）、他に会計年度任用職員（展示室・施設利用・図書室受付など）

4 資 料

尊徳遺品	書状類	28点 (23点)
	仕法書類	32点 (30点)
	書籍類	13点 (10点)
	遺品・肖像額	47点 (20点)
	計	120点 (83点)

尊 徳 図 書	758 冊
---------	-------

※（ ）は県指定重要文化財

5 主な事業（令和5年度）

(1) 常設展示（展示室）

二宮尊徳の遺品・資料の展示のほか、電飾模型や等身大の人形を配置したジオラマや、アニメ「二宮金次郎物語」の放映などにより、尊徳の偉業をわかりやすく紹介している。

令和5年度 展示室入館者数

区 分		人数（人）
個人	15歳以上の者(中学生を除く)	4,274
	園児、小・中学生	723
団体	15歳以上の者 (中・高生、大学生を除く)	1,147
	高校生、大学生	0
	園児、小・中学生	675
計		6,819

(開室 359 日)

(2) 自主事業

二宮尊徳の事績の顕彰などを図るため、各種事業を実施している（尊徳祭別記）。

事業名	内 容	参加者 (人)
子ども映画会と 金次郎のおはなし	毎月第4日曜日に映画会と学芸員による二宮金次郎に関する体験学習を行う。	90
お正月のお飾り 作り教室	地元農家を講師として正月のお飾りを作る。	36
二宮尊徳学習事 業の成果展示	市内の全小学校を対象に行なわれた二宮尊徳学習事業の成果作品などを展示 会場：尊徳記念館ロビー	—

(3) 尊徳祭

ア 趣 旨 二宮尊徳の遺徳を偲び、偉業を顕彰する。

イ 期 日 10月15日（日）

ウ 会 場 尊徳記念館

エ 内 容

尊徳祭記念講演「「長所美点」をめぐる「対話」の

教育史—昭和戦前・戦後の報徳教育—」、「二宮金次郎とわたし」作文発表、ボランティア解説員のおはなし、大型スクリーン紙芝居「二宮金次郎物語」上演、尊徳生家いろり燗蒸実演、尊徳生家の特別公開、報徳市（農産物直売や金次郎にちなんだ菓子等の販売）など。

オ 参加者 1,221 人

(4) 金次郎を学ぶ会

ア 趣 旨

尊徳の生涯や報徳の教えあるいは報徳に関わる様々な事柄を、市民にわかりやすく紹介することで、尊徳生誕の地ならではのまちづくりの一助とする。

イ 期 日 7月9日（日）

ウ 会 場 尊徳記念館 講堂

エ 内 容

「二宮尊徳と箱根の桜～まぼろしの「報徳桜」と題した講座を当館学芸員が実施した。

オ 参加者 52 人

(5) 「二宮金次郎とわたし」作文募集

ア 内 容

市内小学校5・6年生を対象に募集。応募作の中から優秀作品を6点選び、尊徳祭で発表してもらった。

イ 期 日 10月15日（日）

ウ 会 場 尊徳記念館 講堂

エ 応募者 73 人

(6) 映画「二宮金次郎」上映会

ア 目 的

映画「二宮金次郎」製作委員会から提供を受け、市民に対してこの映画の普及を図るとともに、郷土の偉人である二宮金次郎の業績を周知することを目的として、市民を対象に無料で上映会を開催した。

イ 期 日 1月20日（土）

ウ 会 場 小田原市尊徳記念館 視聴覚室

エ 参加者 午前 60 人・午後 60 人 計 120 人

(7) 貸館事業

令和5年度 部屋別利用状況 《 》は定員

室 名	件数（件）	人数（人）
視聴覚室《60》	208	3,111
講堂《200》	776	13,195
体験実習室《60》	282	3,010
研修室《30,30,10》	1,094	8,406
食堂《60》※	157	3,887
宿泊室《100》※	630	4,860
計	3,147	36,469

（開室 359 日）

※利用件数及び人数は、宿泊のための利用を除く。

(8) 宿泊事業

和室6室で50人が宿泊でき、様々な団体に幅広く利用されている。

＜令和5年度実績＞

団 体 別	件 数（件）	人 数（人）
小・中学校	2	22
その他の学校	5	115
青少年団体	1	4
文化サークル	3	13
体育サークル	6	115
自治会等	0	0
官公署	0	0
その他の団体	3	23
計	20	292

（開室 359 日）

(9) 図書閲覧・貸出事業

児童図書、一般図書、尊徳関係図書、辞典類等、10,344冊の図書を備え、来館者が自由に閲覧でき、貸出も行っている。

令和5年度 図書室利用状況

区 分	一 般（人）	児 童（人）	計（人）
貸出者数	6,438	928	7,366

（開室 347 日）

令和5年度 図書室貸出冊数

区 分	冊 数（冊）	日 平 均（冊）
一般図書	16,464	47
児童図書	4,371	13
計	20,835	60

（団体貸出冊数含まず）

◎小田原市集会所（小田原市酒匂 4-4-21）

1 概 要

市民の同和問題に対する理解と認識を深めるとともに、地域の社会教育の振興を図るため、地域改善対策特別措置法に基づく集会所として、昭和60年度に設置した。

2 施 設

竣工年月日	昭和61年3月24日
敷地面積	458.31 m ²
延床面積	132.496 m ²
構 造	木造平屋建
施設内容	集会室1室、会議室（和室）2室

3 建設費など

建 設 費	22,640,000 円（国2/3、県1/2）
用 地 費	63,200,000 円（国1/2、県1/2）

4 利用状況（令和4年度）

100件、842人

《主な利用団体》

地元の老人クラブ、自治会などのほか、民謡合唱などの趣味活動団体など

◇ 文化財課

1 小田原城などの整備・活用

(1) 史跡小田原城跡保存活用整備事業

ア 史跡小田原城跡調査・整備委員会

史跡小田原城跡の整備を円滑に行うため、史跡小田原城跡調査・整備委員会規則に基づき設置された審議会で、学識経験者により構成され、調査研究・指導助言及び意見具申を行っている。

- ・定数 12人(現在11名)
- ・任期 2年
- ・活動 3回開催(令和5年度)

イ 史跡小田原城跡御用米曲輪戦国期整備検討部会

史跡小田原城跡御用米曲輪の戦国時代の遺構の修景整備を行うにあたり、専門的な知見を得るため設置された部会で、学識経験者により構成されている。

- ・定数 5人(現在5人)
- ・任期 御用米曲輪整備完了まで
- ・活動 3回開催(令和5年度)

ウ 史跡の概要

小田原城は、戦国時代に関東を支配した後北条氏の本拠として最盛期には周囲約9kmに及ぶ総構(そうがまえ)を巡らせた我が国最大級の城郭と言われ、江戸時代には江戸城の西の守りを担った。関東に珍しい石垣の城で多くの特徴を持ち、主要な部分が国指定史跡に指定されていることから、その保存整備を図っている。

江戸時代末期の小田原城

区分	規模等
本丸	東西 132.7m、南北 120m
二の丸	東西 645.5m、南北 654.5m
三の丸	東西 1,654m、南北 1,091m
石垣	延長 1,455m、周囲 約4,364m
塀	延長 1,818m
櫓	三重天守閣ほか 13基
城門	26基
橋	6m
曲輪	6箇所
総構	(大外郭)外周約9km

史跡小田原城跡国指定経緯

	指定年月日	面積
第1次	昭和13年8月8日	125,790㎡
第2次	昭和34年5月29日	85,811㎡
第3次	昭和52年5月4日	9,341㎡
第4次	平成18年1月26日	8,097㎡
第5次	平成19年7月26日	11,072㎡
第6次	平成20年7月28日	6,425㎡
第7次	平成22年2月22日	3,836㎡
第8次	平成23年2月7日	4,362㎡
第9次	平成24年9月19日	1,242㎡
第10次	平成26年10月6日	38,261㎡
第11次	平成28年10月3日	8,436㎡
第12次	平成30年10月15日	625㎡
第13次	令和4年3月15日	200㎡
計		303,498㎡

エ 史跡の保存と整備

文化庁や県教育委員会と協議し、遺構保存と史跡景観の保全に重点をおき保存、管理している。

また、「史跡小田原城跡保存活用計画」に基づき、江戸時代末期の曲輪取りを明確にすることを第一目標に掲げて歴史景観の復元的整備を進めている。

平成元年度	住吉橋復元
平成9年度	銅門復元
平成9・10年度	二の丸御殿跡等の試掘調査
平成11年度	本丸東堀仮整備工事
平成12・13年度	馬屋曲輪馬屋・大腰掛試掘調査
平成14年度	馬屋曲輪石垣試掘調査
平成15年度	馬出門櫓形発掘調査 馬屋曲輪石垣現況調査 馬屋曲輪整備基本計画策定 馬出門整備基本設計
平成16年度	馬出門櫓形発掘調査 馬出門石垣・遺跡面整備実施設計
平成17年度	馬出門櫓形石垣復元工事
平成18年度	馬出門櫓形石垣復元工事 馬出門櫓形門・土堀復元整備実施設計 八幡山古郭東曲輪整備実施設計

平成19年度	八幡山古郭東曲輪整備工事	御用米曲輪江戸期整備実施設計
	馬出門櫓形門・土塀復元整備工事	令和4年度 御用米曲輪修景整備工事
	小峯御鐘ノ台大堀切東堀環境整備工事	御用米曲輪基礎調査
		令和5年度 御用米曲輪基礎調査・発掘調査
平成20年度	八幡山古郭東曲輪整備工事	
	馬出門櫓形門・土塀復元整備工事	
	馬屋曲輪修景整備実施設計	
平成21年度	八幡山古郭東曲輪整備工事	
	馬屋曲輪修景整備工事	
平成22年度	八幡山古郭東曲輪整備工事	
	馬屋曲輪修景整備工事	
	御用米曲輪整備実施設計	
	御用米曲輪発掘調査	
平成23年度	御用米曲輪修景整備工事	
	御用米曲輪発掘調査	
	三の丸外郭新堀土塁暫定整備工事	
平成24年度	御用米曲輪発掘調査	
	御用米曲輪整備追加実施設計	
平成25年度	御用米曲輪修景整備工事	
	御用米曲輪発掘調査	
	八幡山古郭散策路管理協定書締結	
平成26年度	御用米曲輪修景整備工事	
	御用米曲輪発掘調査	
平成27年度	御用米曲輪修景整備工事	
	御用米曲輪発掘調査概要報告書刊行	
	住吉橋保存修理工事実施設計	
平成28年度	御用米曲輪修景整備工事	
	小田原城天守模型等調査研究報告書刊行	
	住吉橋保存修理工事	
平成29年度	御用米曲輪修景整備工事	
	御用米曲輪整備実施設計	
	住吉橋保存修理工事	
平成30年度	御用米曲輪修景整備工事	
	御用米曲輪戦国期～江戸期整備基本設計	
	御用米曲輪江戸期整備実施設計	
	住吉橋保存修理工事報告書刊行	
令和元年度	御用米曲輪修景整備工事	
令和2年度	御用米曲輪修景整備工事	
	史跡小田原城跡保存活用計画策定完了	
令和3年度	御用米曲輪修景整備工事	

(2) 史跡等用地取得事業

文化財保護法により国史跡指定地の現状変更が厳しく制限されていることによる補償措置として、国、県の補助金を財源に個人所有の土地等の公有化を実施している。

(3) 史跡石垣山保全対策事業

ア 史跡の概要

石垣山の城郭は、山の山頂を平らに削った平地に構築した山城で、本丸の標高が255.2m、天守台は261.5mの地点にある。

完成当時の姿は文書等に多く記載されており、規模の雄大さと美しさが察せられるが、天正18年の小田原戦役以後は全く利用されず、数度の大地震で石垣の大半が崩壊しているものの、近世初期の石垣の特徴をとどめている。

本丸、二の丸、西曲輪、南曲輪、井戸曲輪等が残されており、戦国時代末期の本格的な戦陣の城、石垣の城として歴史的価値をそのままに残している貴重な史跡である。

平成元年度に、歴史公園としての整備が一応終了し、一般公開している。

史跡石垣山国指定経緯

年 次	指定年月日	面 積
第1次	昭和34年5月13日	33,418㎡
第2次	平成18年1月26日	9,038㎡
第3次	令和5年9月28日	5,807㎡
計		48,263㎡

イ 史跡の保存と整備

史跡石垣山は北西面が急傾斜のため落石の対策を講じる必要があるとともに、経年によりはらみが生じ不安定になっている箇所に対し、保全対策工事を計画的に実施している。

平成16年度	石垣山基礎調査
平成17年度	石垣山北西斜面実施設計
平成18年度	石垣山北西斜面保全対策工事
平成19年度	石垣山保全対策工事 早川石丁場群分布調査
平成20年度	石垣山北西斜面保全対策工事 早川石丁場群詳細分布調査
平成21年度	石垣山北西斜面保全対策工事
平成22年度	石垣山北西斜面保全対策工事
平成23年度	石垣山北西斜面保全対策工事 早川石丁場群散策路整備工事
平成24年度	石垣山井戸曲輪測量調査設計
平成25年度	石垣山井戸曲輪保全対策工事 早川石丁場群詳細測量
平成26年度	石垣山井戸曲輪保全対策工事
平成27年度	石垣山馬屋曲輪南側測量調査設計
平成28年度	石垣山馬屋曲輪南側測量調査設計
平成29年度	石垣山井戸曲輪等石垣測量・調査実施設計
平成30年度	石垣山井戸曲輪保全対策工事
令和元年度	石垣山井戸曲輪等石垣測量・調査実施設計
令和2年度	石垣山井戸曲輪保全対策工事
令和3年度	石垣山井戸曲輪等石垣測量・調査実施設計
令和4年度	石垣山井戸曲輪保全対策工事
令和5年度	石垣山井戸曲輪保全対策工事

(4) 史跡江戸城石垣石丁場跡(早川石丁場群関白沢支群)整備事業

ア 史跡の概要

静岡県熱海市と伊東市に所在する石丁場とともに、「江戸城石垣石丁場跡」として平成28年3月1日付けで国指定史跡に指定された。

早川石丁場群関白沢支群は、慶長9年(1604)から寛永13年(1636)にかけて行われた、江戸城改修に伴う「公儀御普請(こうぎごふしん)」で用いる石垣の石材を採石、加工した石丁場の跡であり、史跡石垣山の南西、早川の支流である関白沢の南東側斜面一帯である早川字梅ヶ窪・箕ノ窪・姫ノ水に所在する。

これまでの分布調査等によって、石材を割るための矢穴(やあな)、採石・加工段階で彫られた刻

印を有する石材、加工が施された石材が確認されている。また、採石場から石材を運ぶための石曳道(いしばきみち)も確認されており、石丁場の一連の作業工程を良好に観察することができ、その一部は、見学できるよう一般公開されている。

早川石丁場群関白沢支群は、江戸城の石垣用石材を採石・加工・運搬した技術やそれに伴う労働力の編成のみでなく、諸大名の編成をはじめとする公儀御普請の実態や、その背景にある社会的、政治的動向を知る上で重要な史跡である。

史跡江戸城石垣石丁場跡国指定経緯

年次	指定年月日	面積
第1次	平成28年3月1日	254,127㎡
計		254,127㎡

2 文化財の保存・活用

(1) 文化財保護委員会運営事業

小田原市附属機関設置条例第2条の規定に基づき文化財の保存及び活用について調査、研究、意見具申するため設置されている。

- ・定数 10人
- ・任期 2年
- ・活動 3回開催(令和5年度)

(2) 指定文化財等保存管理事業

市所有の指定文化財や史跡等を適正に保存・管理するため、史跡管理嘱託員や国有史跡監視員を任用して定期的な見廻りや除草、清掃等を行っている。

また、文化財説明板の更新や冊子の作成、ホームページの公開を通じて文化財への理解を深める取組を行っている。

(3) 文化財保存修理等助成事業

ア 文化財管理奨励金と修理事業補助金

市内には、国・県・市の指定文化財、史跡・天然記念物が149件ある。こうした文化財の管理者に対し管理奨励金を支給しているほか、修理等に係る費用の一部を助成することで、適正な保存・管理がされるよう努めている。

イ 無形民俗文化財の保存と後継者育成支援

後継者不足が懸念される無形民俗文化財の保存団体を支援するため、8団体が加入する「小田原民俗芸能保存協会」の後継者育成事業を助成している。

また、県内の相模人形芝居5座で構成される「相模人形芝居連合会」の一員として、相模人形芝居大会の開催に携わるなど、運営を支援している。

小田原民俗芸能保存協会後継者育成発表会

- ・期 日 令和5年11月12日(日)
- ・会 場 小田原三の丸ホール(大ホール)

第51回相模人形芝居大会

- ・期 日 令和6年2月23日(金・祝)
- ・会 場 神奈川県立青少年センター

(4) 文化財公開事業

ア 文化財建造物 秋の観覧会

国登録有形文化財や小田原ゆかりの優れた建造物等文化財建造物の所有者に御協力をいただき観覧会を開催している。

- ・期 日 令和5年12月2日(土)、3日(日)
- ・場 所 岩瀬家住宅、静山荘、小田原文学館、旧松本剛吉別邸、皆春荘、甘柑荘、老樗荘・葉雨庵・無住庵、旧古稀庵庭園(3日のみ)
- ・観覧者 2,592名

イ 埋蔵文化財保存活用公開事業

前年度に発掘調査を行った遺跡等を題材に、展示会や発表会、見学会を開催して埋蔵文化財保護の啓発を図っている。

最新出土品展「なんで古墳を造ったの?—小田原の古墳時代後期の社会—」

- ・期 間 令和5年11月3日(金)~12月24日(日)
- ・会 場 郷土文化館
- ・参加者 3,793名

密集する古墳=群集墳を造った人々の社会について古墳から出土した優れた副葬品などを紹介。

小田原市遺跡調査発表会

- ・日 時 令和5年11月25日(土)
 - ・会 場 小田原三の丸ホール(小ホール)
 - ・参加者 116名
- 「小田原市遺跡調査発表会発表要旨」を作成し、令和4年度の発掘調査の成果を発表。

遺跡講演会「なんで古墳を造ったの?—小田原の古墳時代後期の社会—」

- ・日 時 令和5年11月26日(日)
 - ・会 場 小田原三の丸ホール(小ホール)
 - ・参加者 101名
- 研究者3名を招き、展示会のテーマをもとにした講演会を開催。

遺跡見学会

- ・日 時 令和6年3月16日(土)
 - ・場 所 小田原城三の丸
 - ・見学者 57名
- 小田原の遺跡探訪シリーズ19「小田原城三の丸—近世武家地とその下に広がる遺跡—」を刊行。学芸員の解説で小田原城三の丸巡りを実施。

(5) 緊急発掘調査事業

神奈川県遺跡分布地図記載の「埋蔵文化財包蔵地」内における開発行為等の届出により、国・県の指示を受け発掘調査や立会調査等の指導・助言を行うとともに、個人住宅等の建設に伴う国庫補助対応の発掘調査については、本市が直営で実施し遺跡の保護に努めている。

また、埋蔵文化財の現状を的確に把握するため、開発等に伴う事前の照会がなされた場合のほか、必要に応じて分布調査や試掘調査を実施し、遺跡分布地図の整備充実を図っている。

- ・窓口照会、建築確認申請書、開発事業計画、届出書等に基づく事前協議
- ・埋蔵文化財包蔵地内の発掘調査及び立会調査の指導・助言または実施
- ・開発事業者に対する調整・指導

令和5年度 埋蔵文化財包蔵地内・国史跡における

届出・通知・申請の処理状況一覧 (単位: 件)

処理状況 区 分		調査	立会	慎重 工事	合計
包蔵文化財 埋蔵文化財 地	民間事業に伴う 届出(93条)	11	190	0	201
	公共事業に伴う 通知(94条)	1	16	0	17
国指定史跡	民間事業に伴う 申請(125条)	2	6	—	8
	公共事業に伴う 申請(125条)	3	29	—	32
合 計		17	241	0	258

令和5年度 市内遺跡発掘調査状況 (単位: 件)

調査機関 種別	民 間 調査機関	市	県	合計
試掘・確認調査	0	37	0	37
本格調査	4	10	0	14
合 計	4	47	0	51

建築確認申請処理状況 (単位: 件)

処理状況 年度	取扱件数	支障なし	別途協議 ※1	許可申請 ※2
令和3年度	1033	876	157	0
令和4年度	937	781	156	0
令和5年度	907	670	237	0

※1 別途協議: 埋蔵文化財包蔵地又は隣接地等のため
立会・試掘・設計変更の協議をしたもの (立会等区分の集計なし)

※2 許可申請: 国指定史跡内で現状変更許可申請が必要
なため、協議したもの (立会等区分の集計なし)

建築確認申請地の包蔵地等内訳 (単位: 件)

区 分	遺跡内	隣接	遺跡外	合計
令和3年度	122	35	876	1033
令和4年度	135	21	781	937
令和5年度	176	40	691	907

開発事業に係る事前協議処理状況

処理状況 年度	取扱件数	支障なし	別途協議	許可申請
令和3年度	87	70	17	0
令和4年度	108	81	27	0
令和5年度	97	73	24	0

開発事業地の包蔵地等内訳

区 分	遺跡内	隣接	遺跡外	合計
令和3年度	16	1	70	87
令和4年度	19	7	82	108
令和5年度	17	5	75	97

(6) 遺物整理事業

発掘調査によって得られた成果を、永く後世に伝えるための報告書を刊行するとともに、国民共有の財産として誰もが活用できるように資料整備を行っている。

ア 遺物整理

令和4年度に実施した試掘調査及び本格調査に伴い出土した遺物の整理を実施。

イ 報告書等の刊行

令和5年度は発掘調査報告書5冊を刊行。

小田原市文化財調査報告書

第212集 小田原城八幡山古郭鍛冶曲輪東堀

第Ⅱ地点、小田原城八幡山古郭東曲輪第Ⅱ地点、小田原城八幡山古郭宇八幡枝堀第Ⅲ地点・本曲輪北堀第Ⅰ地点、小田原城八幡山古郭三味線堀東堀第Ⅰ地点、小田原城八幡山古郭東曲輪南堀第Ⅰ地点、小田原城八幡山古郭八幡北堀第Ⅰ地点

第213集 小田原城下香沼屋敷跡第Ⅸ地点、小田原城百姓曲輪第Ⅲ地点

第214集 平成26～28年度試掘調査分 (小田原城とその城下関連遺跡)

第215集 平成26～28年度試掘調査分 (小田原市域の遺跡)

第216集 小田原三の丸弁財天跡第Ⅵ、Ⅹ、Ⅺ地点

小田原市内文化財件数

指定文化財件数（令和6年6月1日現在）

指定名称	指定種別	国指定	県指定	市指定	合 計
重 要 文 化 財	絵 画	1 件	2 件	10件	13件
	彫 刻	2 件	7 件	4 件	13件
	工 芸 品		1 件	6 件	7 件
	古 文 書			25件	25件
	考 古 資 料		2 件	4 件	6 件
	歴 史 資 料		1 件	17件	18件
	建 造 物		5 件	11件	16件
	有形民俗文化財			4 件	4 件
	無形民俗文化財	1 件	2 件	3 件	6 件
史 跡	史 跡	3 件	1 件	11件	15件
天 然 記 念 物	天 然 記 念 物	1 件	4 件	21件	26件
合 計		8 件	25件	116件	149件

指定文化財

1 絵画

No.	指定	名 称	件数	員 数	指定年月日	所在地
1	国	絹本著色 阿弥陀如来像	1 件	1 幅	明治32. 8. 1	東京国立博物館
2	県	絹本著色 日蓮上人像	1 件	1 幅	昭和33. 6. 17	鎌倉国宝館
3	県	絹本著色 真言八祖像	1 件	8 幅	平成19. 2. 9	国府津2038 寶金剛寺
4	市	絹本著色 安叟禅師像	1 件	1 幅	昭和45. 12. 15	久野3670 総世寺
5	市	紙本著色 菅原道真画像	1 件	1 幅	昭和45. 12. 15	南町1-5-37 天神社
6	市	杉戸彩色 花鳥図 岡本秋暉筆	1 件	6 枚	昭和49. 3. 30	小田原城天守閣
7	市	絹本著色 鉄牛和尚の画像	1 件	1 幅	昭和63. 11. 1	入生田303 紹太寺
8	市	紙本著色 西洋童子像	1 件	1 幅	平成21. 3. 30	国府津2038 寶金剛寺
9	市	絹本著色 千手観音二十八部衆像	1 件	1 幅	平成21. 3. 30	栄町4-3-3 本源寺
10	市	絹本淡彩 不動明王像	1 件	1 幅	平成25. 5. 30	飯泉1161 勝福寺
11	市	絹本著色 両界曼荼羅図	1 件	2 幅	平成29. 3. 21	国府津2038 寶金剛寺
12	市	絹本著色 北条時長像	1 件	1 幅	平成31. 2. 22	風祭918 宝泉寺
13	市	絹本著色 十王二使者図	1 件	12幅	令和5. 3. 29	久野3630 総世寺

2 彫刻

No.	指定	名 称	件数	員 数	指定年月日	所在地
1	国	銅造 大日如来坐像	1 件	1 軀	昭和46. 6. 22	国府津2038 寶金剛寺
2	国	木造 真教坐像	1 件	1 軀	平成17. 6. 9	県立歴史博物館
3	県	木造 十一面観音立像	1 件	1 軀	昭和32. 2. 19	飯泉1161 勝福寺
4	県	木造 不動明王及両童子立像附不動像内納入品	1 件	1 組 3 軀	昭和34. 3. 6	国府津2038 寶金剛寺
5	県	木造 地藏菩薩立像	1 件	1 軀	昭和34. 3. 6	国府津2038 寶金剛寺
6	県	銅造 如意輪観音菩薩坐像	1 件	1 軀	平成17. 2. 8	国府津2038 寶金剛寺
7	県	木造 阿弥陀如来立像（その一）	1 件	1 軀	平成4. 2. 14	城山2-1-24 本誓寺
8	県	木造 阿弥陀如来立像（その二）	1 件	1 軀	平成4. 2. 14	城山2-1-24 本誓寺
9	県	木造 釈迦如来立像	1 件	1 軀	平成4. 2. 14	別堀74 東学寺
10	市	木造 十一面観音立像	1 件	1 軀	昭和45. 12. 15	下大井268 泉蔵院

11	市	京福寺の釈迦三尊	1 件	1 組 3 軀	昭和53. 3. 4	久野885 京福寺
12	市	薬師如来坐像	1 件	1 軀	平成21. 3. 30	国府津2038 寶金剛寺
13	市	木造 薬師如来坐像	1 件	1 軀	平成25. 5. 30	下大井268 泉蔵院

3 工芸品

No.	指定	名 称	件数	員 数	指定年月日	所在地
1	県	銅鐘（総世寺）	1 件	1 口	平成 2. 2. 13	久野3670 総世寺
2	市	勝福寺の銅鐘	1 件	1 口	昭和39. 5. 27	飯泉1161 勝福寺
3	市	勝福寺の青銅水鉢	1 件	1 口	昭和39. 5. 27	飯泉1161 勝福寺
4	市	紀伊神社の木地椀	1 件	1 組 2 個	昭和45. 12. 15	早川1183-1 紀伊神社
5	市	油田治雄（木泉）作 木象嵌吉祥天像額	1 件	1 面	昭和51. 3. 3	栢山 個人宅
6	市	山中氏の組木	1 件	18点	昭和51. 3. 3	荻窪384 山中組木工房
7	市	刀銘 相州住康春	1 件	1 口	平成18. 12. 27	小田原城天守閣

4 古文書

No.	指定	名 称	件数	員 数	指定年月日	所在地
1	市	北条氏文書(虎ノ朱印文書)10月11日付(年未詳)	1 件	1 通	昭和44. 1. 14	中央図書館
2	市	北条氏文書(虎ノ朱印文書)天正7年	1 件	1 通	昭和44. 1. 14	中央図書館
3	市	北条氏文書(虎ノ朱印文書)天正14年	1 件	1 通	昭和44. 1. 14	中央図書館
4	市	北条氏文書(虎ノ朱印文書)天正9年	1 件	1 通	昭和44. 1. 14	郷土文化館
5	市	蓮上院文書	1 件	15点	昭和51. 3. 3	浜町 2-1-51 蓮上院
6	市	寶金剛寺文書	1 件	13通	昭和51. 3. 3	国府津2038 寶金剛寺
7	市	青木家文書	1 件	4 通	昭和51. 3. 3	板橋 個人宅
8	市	廣井家文書	1 件	2 通 353点	昭和53. 3. 4 昭和63. 11. 1	根府川 個人宅
9	市	宝泉寺文書	1 件	1 通 1 枚	昭和53. 3. 4	風祭918 宝泉寺
10	市	長善寺文書	1 件	2 通	昭和53. 3. 4	中央図書館
11	市	浄永寺文書	1 件	1 通	昭和53. 3. 4	鎌倉国宝館
12	市	稲子家文書	1 件	4,725点	昭和63. 11. 1	府川 個人宅
13	市	岩瀬家文書	1 件	131点	昭和63. 11. 1	中央図書館
14	市	有浦家文書	1 件	878点	昭和63. 11. 1	中央図書館
15	市	石井家文書	1 件	204点	昭和63. 11. 1	栄町 個人宅
16	市	小西家文書	1 件	473点	昭和63. 11. 1	本町 個人宅
17	市	長谷川家文書	1 件	61点	平成 4. 11. 2	曾我谷津 個人宅
18	市	平塚家文書	1 件	290点	平成 4. 11. 2	中央図書館
19	市	吉岡家文書	1 件	85点	平成 4. 11. 2	中央図書館
20	市	津田家文書	1 件	108点	平成 4. 11. 2	中央図書館
21	市	細谷家文書	1 件	44点	平成 4. 11. 2	中央図書館
22	市	原家文書	1 件	417点	平成10. 8. 1	中里 個人宅
23	市	蓮華寺文書	1 件	196点	平成10. 8. 1	千代815-1 蓮華寺
24	市	傳肇寺文書	1 件	全 6 通	平成25. 5. 30	城山 4-19-8 傳肇寺
25	市	和田家文書（北条家朱印状・北条家定書）	1 件	2 通	平成31. 2. 22	郷土文化館

5 考古資料

No.	指定	名 称	件数	員 数	指定年月日	所在地
1	県	小田原市羽根尾貝塚の縄文時代前期出土品	1 件	458点	平成16. 2. 10	小田原城跡臨時展示室
2	県	小田原市中里遺跡の弥生時代中期出土品	1 件	141点	令和元. 9. 17	小田原城跡臨時展示室
3	市	千代南原遺跡第Ⅳ地点 1 号土坑出土土器	1 件	15点	平成18. 12. 27	郷土文化館
4	市	千代南原遺跡第Ⅳ地点 1 号土坑出土鍛冶関係遺物	1 件	15点	平成18. 12. 27	郷土文化館

5	市	千代寺院跡出土瓦	1 件	16点	平成18. 12. 27	郷土文化館
6	市	千代南原遺跡第Ⅶ地点出土木簡	1 件	2 点	平成25. 5. 30	小田原城跡臨時展示室

6 歴史資料

No.	指定	名 称		件数	員 数	指定年月日	所在地
1	県	二宮尊徳関係資料		1 件	404点 1,359点 2,109点	昭和56. 2. 10 昭和62. 2. 20 平成7. 2. 14	報徳博物館 尊徳記念館 他
2	市	紙本著彩 小田原城 絵図	加藤図	1 件	1 枚	昭和56. 3. 30	中央図書館
3	市		万治図	1 件	1 幅	昭和56. 3. 30	中央図書館
4	市		寛文図	1 件	1 枚	昭和56. 3. 30	城山 個人宅
5	市		松原図	1 件	1 幅	昭和56. 3. 30	中央図書館
6	市		享保図	1 件	1 幅	昭和56. 3. 30	郷土文化館
7	市		豊田図	1 件	1 幅	昭和56. 3. 30	郷土文化館
8	市		文政図	1 件	1 幅	昭和56. 3. 30	郷土文化館
9	市		天保図	1 件	1 幅	昭和56. 3. 30	中央図書館
10	市		弘化図	1 件	1 幅	昭和56. 3. 30	小田原城天守閣
11	市		文久図	1 件	1 幅	昭和56. 3. 30	小田原城天守閣
12	市		明治図	1 件	1 幅	昭和56. 3. 30	中央図書館
13	市	長興山紹太寺の境内絵図		1 件	1 幅	昭和63. 11. 1	入生田303 紹太寺
14	市	鉄牛和尚の血書		1 件	1 幅	昭和63. 11. 1	入生田303 紹太寺
15	市	長興山開発供養塔		1 件	1 基	昭和63. 11. 1	入生田303 紹太寺
16	市	小田原城再興碑（宝永二年）		1 件	1 基	平成18. 12. 27	小田原城天守閣
17	市	小田原城再興天守棟札（宝永二年）		1 件	1 枚	平成18. 12. 27	小田原城天守閣
18	市	小田原城内大日一尊種子板碑		1 件	1 基	平成29. 3. 21	城内 6－1 小田原城址公園

7 建造物

No.	指定	名 称	件数	員 数	指定年月日	所在地
1	県	勝福寺本堂	1 件	1 棟	昭和32. 2. 19	飯泉1161 勝福寺
2	県	二宮尊徳生家 茅葺寄棟造（旧二宮家住宅）	1 件	1 棟	昭和38. 3. 5	尊徳記念館
3	県	小田原城天守模型 木造三重	1 件	1 個	昭和38. 3. 5	小田原城天守閣
4	県	小田原城天守模型 木造三重	1 件	1 個	昭和38. 3. 5	小田原城天守閣
5	県	宗福院地藏堂	1 件	1 棟	平成8. 2. 13	板橋566 宗福院
6	市	居神神社境内の古碑群	1 件	5 基	昭和32. 3. 30	城山4-23-29 居神神社
7	市	徳川家康陣地跡の碑	1 件	1 基	昭和36. 3. 30	寿町4-14-15
8	市	北条氏康夫人の墓碑	1 件	1 基	昭和36. 3. 30	栢山868 善栄寺
9	市	国府津建武古碑	1 件	1 基	昭和36. 3. 30	国府津2038 寶金剛寺
10	市	曾我祐信宝篋印塔	1 件	1 基	昭和36. 3. 30	曾我谷津1159-イ-2
11	市	小嶋家の宝篋印塔	1 件	1 基	昭和45. 12. 15	酒匂2-41-37 大見寺
12	市	小嶋家の宝篋印塔・宝塔	1 件	2 基	昭和49. 3. 30	酒匂2-41-37 大見寺
13	市	勝福寺の仁王門	1 件	1 棟	昭和63. 11. 1	飯泉1161 勝福寺
14	市	船津家の長屋門	1 件	1 棟	昭和63. 11. 1	小船 個人宅
15	市	正恩寺の鐘楼門	1 件	1 棟	平成4. 11. 2	本町4-5-7 正恩寺
16	市	上輩寺の五輪塔群	1 件	3 基	平成31. 2. 22	酒匂2-44-27 上輩寺

8 有形民俗文化財

No.	指定	名 称	件数	員 数	指定年月日	所在地
1	市	玉寶寺の五百羅漢	1 件	526基	昭和53. 3. 4	扇町5-1-28 玉寶寺
2	市	小田原の道祖神	1 件	1 基	昭和53. 3. 4	飯泉1105-1

				1 基	昭和53. 3. 4	矢作137- 1
				1 基	昭和53. 3. 4	北ノ窪 4- 2
				3 基	昭和53. 3. 4	根府川95- 2
				1 基	昭和63. 11. 1	高田209
				1 基	昭和63. 11. 1	早川無番地
				2 基	昭和63. 11. 1	風祭300
3	市	八幡神社の庚申塔群	1 件	7 基	平成 5. 11. 1	小八幡 3- 1- 1 八幡神社
4	市	田島人形	1 件	22点	平成18. 12. 27	郷土文化館

9 無形民俗文化財

No.	指定	名 称	件数	員 数	指定年月日	所在地
1	国	相模人形芝居（下中座）	1 件		昭和55. 1. 28	小竹
2	県	小田原囃子（小田原囃子多古保存会）	1 件		昭和51. 10. 19	扇町 5- 7- 29 白山神社
3	県	寺山神社の鹿島踊 （根府川寺山神社鹿島踊保存会）	1 件		昭和51. 10. 19	根府川95-1 寺山神社
4	市	白髭神社の奉射祭	1 件		昭和56. 3. 30	小船669 白髭神社
5	市	寿獅子舞	1 件		平成10. 8. 1	曾我別所
6	市	山王原大漁木遣唄	1 件		平成18. 12. 27	東町

10 史跡

No.	指定	名 称	件数	員 数	指定年月日	所在地
1	国	小田原城跡	1 件		昭和13. 8. 8 昭和34. 5. 29 昭和52. 5. 4 平成18. 1. 26 平成19. 7. 26 平成20. 7. 28 平成22. 2. 22 平成23. 2. 7 平成24. 9. 19 平成26. 10. 6 平成28. 10. 3 平成30. 10. 15 令和 4. 3. 15	浜町・栄町・城内・城山・緑・ 十字・本町・谷津・南町・ 荻窪・板橋
2	国	石垣山	1 件		昭和34. 5. 13 平成18. 1. 26	早川字梅ヶ窪
3	国	江戸城石垣石丁場跡（早川石丁場群関白沢支群）	1 件		平成28. 3. 1	早川字梅ヶ窪・箕ヶ窪・ 姫ノ水
4	県	石橋山古戦場のうち与一塚及び文三堂	1 件	2 箇所	昭和29. 3. 30	石橋470 与一塚 米神136 文三堂
5	市	明治天皇宮ノ前行在所跡（旧清水金左衛門本陣跡）	1 件	1 箇所	昭和32. 3. 30	本町 3- 5- 25
6	市	明治天皇本町行在所跡（旧片岡本陣跡）	1 件	1 箇所	昭和32. 3. 30	本町 3- 12- 3
7	市	平成輔の墓所	1 件	1 箇所	昭和32. 3. 30	南町 3- 10- 34 報身寺
8	市	北条氏政・氏照の墓所	1 件	1 箇所	昭和32. 3. 30	栄町 2- 7- 8
9	市	中世集石墓	1 件	1 箇所	昭和32. 3. 30	久野3256
10	市	久野諏訪ノ原 4 号古墳	1 件	1 基	昭和32. 3. 30	久野2575-イ- 2
11	市	久野 1 号古墳	1 件	1 基	昭和36. 3. 30	穴部44
12	市	稲葉一族の墓所と鉄牛和尚の寿塔	1 件	2 箇所	昭和36. 3. 30	入生田467 墓所 入生田454 寿塔
13	市	大久保一族の墓所	1 件	1 箇所	昭和39. 5. 27	城山 4- 24- 7 大久寺
14	市	桐大内蔵の墓所	1 件	1 箇所	昭和39. 5. 27	扇町 1- 15- 7 長安寺
15	市	田島及び羽根尾横穴古墳	1 件	15基	昭和53. 3. 4	田島1073- 1
					昭和53. 3. 4	田島1074
					昭和53. 3. 4	田島1075

				1 基	昭和53. 3. 4	羽根尾362
--	--	--	--	-----	------------	--------

11 天然記念物

No.	指定	名称	件数	員 数	指定年月日	所在地
1	国	早川のピランジュ	1 件	1 樹	大正13. 12. 9	早川飛乱地1374- 1
2	県	勝福寺の大イチョウ	1 件	1 樹	昭和32. 2. 19	飯泉1161 勝福寺
3	県	神奈川県立小田原高等学校の樹叢	1 件	1 箇所	昭和46. 3. 30	城山 3-26- 1 県立小田原高等学校
4	県	勝福寺と八幡神社境内の樹叢	1 件	1 箇所	昭和47. 7. 21	飯泉1161 勝福寺 飯泉1162 八幡神社
5	県	中津層群神沢層産出の脊椎動物化石	1 件	6 種類 7 点	平成 6. 2. 15	入生田499 県立生命の星・地球博物館
6	市	御感の藤	1 件	2 株	昭和32. 3. 30	城内 8- 1 小田原城址公園
7	市	長興山の枝垂桜	1 件	1 樹	昭和32. 3. 30	入生田470
8	市	光照寺の柊（ヒイラギ）	1 件	1 樹	昭和45. 12. 15	鴨宮753 光照寺
9	市	長興山鉄牛和尚寿塔付近の樹叢	1 件	1 箇所	昭和49. 3. 30	入生田470他
10	市	上輩寺の乳イチョウ	1 件	1 樹	昭和49. 3. 30	酒匂 2-44-27 上輩寺
11	市	総世寺のカヤ	1 件	1 樹	昭和49. 3. 30	久野3670 総世寺
12	市	小田原城跡のイヌマキ	1 件	1 樹	昭和49. 3. 30	城内 3-22 小田原城址公園
13	市	前川近戸神社の社叢	1 件	1 箇所	昭和51. 3. 3	前川1431 近戸神社
14	市	小田原城跡本丸の巨松	1 件	1 樹	昭和56. 3. 30	城内 6- 1 小田原城址公園
15	市	小田原城跡のビャクシン	1 件	1 樹	昭和56. 3. 30	城内 3-22 小田原城址公園
16	市	王子神社の杉	1 件	1 樹	昭和56. 3. 30	沼代506 王子神社
17	市	入生田のカゴノキ	1 件	1 樹	昭和56. 3. 30	入生田127
18	市	眞楽寺のボダイジュ	1 件	1 樹	昭和56. 3. 30	国府津 3- 2-22 眞楽寺
19	市	菅原神社のムクノキ	1 件	1 樹	昭和56. 3. 30	国府津1752 菅原神社
20	市	眞福寺のタブノキ	1 件	1 樹	昭和56. 3. 30	早川892 眞福寺
21	市	眞福寺のイトヒバ	1 件	1 樹	昭和56. 3. 30	早川892 眞福寺
22	市	紀伊神社の社叢	1 件	1 箇所	昭和56. 3. 30	早川1183- 2 他 紀伊神社
23	市	廣済寺のカキ	1 件	1 樹	昭和63. 11. 1	中村原691 廣済寺
24	市	瑞雲寺のモッコク	1 件	1 樹	昭和63. 11. 1	上曽我902 瑞雲寺
25	市	三島神社のケヤキ	1 件	1 樹	平成 5. 11. 1	千代278 三島神社
26	市	須賀神社のクスノキ	1 件	1 樹	平成 5. 11. 1	上曽我902 須賀神社

登録有形文化財

No.	名称	件数	員 数	登録年月日	所在地
1	小田原文学館（旧田中光顕別邸）本館	1 件		平成12. 9. 26	南町 2- 3- 4
2	小田原文学館（旧田中光顕別邸）別館	1 件		平成12. 9. 26	南町 2- 3-18
3	松永記念館老櫓荘（旧松永安左エ門邸）	1 件		平成12. 9. 26	板橋513- 7
4	松永記念館葉雨庵	1 件		平成12. 9. 26	板橋941- 1
5	山月（旧共寿亭）	1 件		平成14. 8. 21	板橋870-1
6	済生堂薬局小西本店店舗	1 件		平成14. 8. 21	本町 4- 2-48
7	だるま料理店主屋	1 件		平成14. 8. 21	本町 2- 1-30
8	千世倭樓主屋	1 件		平成14. 8. 21	風祭50
9	千世倭樓土蔵	1 件		平成14. 8. 21	風祭50
10	長谷川家住宅店舗及び主屋	1 件		平成16. 6. 9	国府津 3-13- 4
11	長谷川家住宅石蔵	1 件		平成16. 6. 9	国府津 3- 2-25
12	神戸屋ふるや店店舗及び主屋	1 件		平成16. 6. 9	国府津 4- 2-18
13	清閑亭	1 件		平成17. 7. 12	南町 1- 5-73
14	岩瀬家住宅主屋	1 件		平成21. 1. 8	鴨宮692

15	寶金剛寺庫裏	1 件		平成23. 1. 26	国府津2038
16	旧内野醤油店店舗兼主屋	1 件		平成29. 10. 27	板橋600他
17	旧内野醤油店新座敷	1 件		平成29. 10. 27	板橋598他
18	旧内野醤油店店蔵	1 件		平成29. 10. 27	板橋602他
19	旧内野醤油店文庫蔵	1 件		平成29. 10. 27	板橋600
20	旧内野醤油店穀蔵	1 件		平成29. 10. 27	板橋604-イ 他
21	旧内野醤油店工場	1 件		平成29. 10. 27	板橋600他
22	旧内野醤油店稲荷社	1 件		平成29. 10. 27	板橋602
23	旧内野醤油店表塀	1 件		平成29. 10. 27	板橋598他
24	旧豊島家住宅主屋	1 件		令和 3. 2. 4	栄町 4-700-1
25	旧豊島家住宅門及び塀	1 件		令和 3. 2. 4	栄町 4-700-1
26	小田原宿なりわい交流館（旧角吉店舗）	1 件		令和 4. 10. 31	本町 3-242
27	松永記念館無住庵	1 件		令和 5. 2. 27	板橋513-7
28	旧石田家国府津別邸主屋	1 件		令和 6. 3. 6	国府津2064-3
29	旧石田家国府津別邸洋館	1 件		令和 6. 3. 6	国府津2064-3

小田原ゆかりの優れた建造物

No.	名称	件数	員 数	認定年月日	所在地
1	諸戸邸	1 件		平成 7. 6. 19	国府津 5-8-4
2	静山荘	1 件		平成 7. 6. 19	南町 3-1-20
3	岩瀬邸	1 件		平成 7. 6. 19	鴨宮692
4	山月（旧共寿亭）	1 件		平成 8. 8. 30	板橋913

◇ 図書館

1 概 要

小田原における図書館の歴史は、明治23年に伊藤博文が、小田原に書籍館を設けることを勧めたことに始まり、大正5年に足柄下郡図書館が設立された。しかし、大正12年の関東大震災によって足柄下郡図書館は倒壊し、残された資料は、昭和8年4月城址“水の公園”内に開館した小田原町図書館に移管された。

昭和15年の市政施行とともに、同図書館は小田原市図書館と改称し、昭和29年には旧新名女子高校跡に移転し、新たに視聴覚資料室、児童室、公開書架室等を設けた。

昭和34年11月には星崎定五郎氏からの寄付金（米貨5万ドル）を基に、星崎記念館を新築し、小田原市立図書館と改称して移転するとともに、児童室を拡張した児童文化館を併設した。なお、児童文化館は、昭和55年10月の機構改革により図書館と合併した。

さらに、昭和45年度には書庫及び閲覧室を増築した。

その後市民ニーズが多様化するとともに、貸出機能の充実した施設建設の要望が高まり、平成元年に図書館整備検討委員会を設置し、図書館構想について報告を受けた。

この構想の基に建設準備委員会を設置し、これら委員会の提言を踏まえ、新たに貸出機能に重点を置いた小田原市立かもめ図書館を平成6年8月1日に開館した。

また、かもめ図書館の開館に合わせ、コンピュータシステムを再構築し、オンラインによる新たな利用者サービスを開始した。

平成15年度をもって市史編さん事業が完了したことを受け、同事業により収集された資料や市立図書館に収蔵されていた資料等を整理し、広く公開するために、平成16年6月1日、市立図書館内に地域資料室を開設した。

平成19年4月、図書館システムの更新により、インターネットを利用した図書資料の予約を可能とした。

平成31年3月16日、併設する支所の廃止に伴い、豊川分館、上府中分館、曽我分館、片浦分館を廃止した。

令和2年3月31日、市立図書館を閉館、さらに同年4月1日より、小田原市立かもめ図書館を小田原市立中央図書館と改称した。（かもめ図書館は愛称として継続）

令和4年10月から電子図書館サービスを開始した。

◎中央図書館（かもめ）

（小田原市南鴨宮 1-5-30 電話 49-7800）



(1) 特 色

緑多い公園的要素をもつ敷地に、丹沢山系や箱根連山の山並みをモチーフにした外観と吹き抜けのフロアにより開放感あふれる施設となっている。

市図書施設の拠点として、貸出機能を中心に市内全域をネットワークで結ぶほか、児童サービスや地域資料・視聴覚サービスに重点を置き、多様化する市民の文化活動に寄与するための事業を展開している。

(2) 施 設

ア 敷地面積

9,112.08 m²

イ 延床面積

5,657.22 m²

ウ 構造

鉄筋コンクリート・一部鉄骨造3階建

エ 施設内容

一般図書コーナー（9万冊収蔵可能）、読書コーナー49席、参考図書コーナー16席、雑誌新聞コーナー24席、閲覧席56席、児童図書コーナー（3万冊収蔵可能、42席）、子どもクラブ室、おはなしのへや）、予約本コーナー、談話コーナー、パソコン利用席13席、書庫（約13万冊収蔵可能）、車庫、総合事務室、地域資料・視聴覚コーナー（閲覧席8席、CD・DVD視聴4ブース4席）、視聴覚ホール180席、集会室30席、創作室40席、ボランティア室、研修室16席、駐車場92台（うち2台障害者用）

オ 建設費

3,230,595,000円

◎小田原駅東口図書館 ＊令和2年10月19日開館
(小田原市栄町1-1-15 電話20-5577)



(1) 特 色

「まちの活性化」、「次世代育成」、「利用者層の拡大」をコンセプトに、令和2年10月19日に広域交流施設ミナカ小田原の6階フロアに開館した小田原駅東口図書館。指定管理者制度の導入により、ゆうりん・おだたんグループが図書館及び同フロアに隣接する「おだぴよ子育て支援センター」の管理運営を行っている。

(2) 施 設

ア 占有面積

1,332.23 m²

(6階1328.92 m²、3階ブックポスト3.31 m²)

イ 構造

鉄骨造・地下一部SRC造 地上14階、地下1階
(占有フロアは6階)

ウ 施設内容

一般図書コーナー(4万冊収蔵可能、カウンター閲覧席40席)、雑誌・新聞コーナー、ティーンズ図書コーナー(2,000冊収蔵可能、カウンター閲覧席9席、グループ学習席6席)、児童図書コーナー(1万8千冊収蔵可能、閲覧席16席、おはなし広場)、書庫(2万冊収蔵可能)、予約本コーナー、多目的スペース(33席)、お城の見えるテラス、事務室

2 図書室・図書コーナー(6館)

(1) 生涯学習センターけやき 図書室

小田原市荻窪 300 電話 35-5300

(2) 国府津学習館 図書室

小田原市国府津 2485-1 電話 48-2035

(3) 尊徳記念館 図書室

小田原市栢山 2065-1 電話 36-2381

(4) 川東タウンセンター マロニエ図書室

小田原市中里 273-6 電話 47-1515

(5) 城北タウンセンター いずみ図書コーナー

小田原市飯田岡 382-2 電話 37-9111

(6) 橘タウンセンター こゆるぎ図書コーナー

小田原市羽根尾 281-3 電話 43-0200

3 職 員

(1) 中央図書館(かもめ)

14名(館長(副部長兼務)1、副館長3、管理係3、資料係7、うち司書有資格者2)

※他に図書館嘱託員1名、会計年度任用職員14名

(2) 小田原駅東口図書館

19名(職員6、スタッフ13、うち司書有資格者12)

(2) 小田原文学館

0名 ※会計年度任用職員11名

4 図書館協議会

(1) 定員

10名以内

(2) 任期

2年

(3) 活動

図書館の運営活動に関し館長の諮問に応ずると共に、図書館の行う奉仕について協議する。

◎小田原文学館

(小田原市南町 2-3-4 電話 22-9881)



1 概 要

本市は明治以降、小田原出身や市内に居住の文学者が数多くおり、これらの文学者にゆかりの資料を市が多数所蔵している。このためこれら資料を専門的に展示する文学館を、多くの文学者が居住した南町地区に平成6年11月23日に開館した。

建物は、昭和12年に元宮内大臣田中光顕の別邸として建築され、当時としては珍しい鉄筋コンクリート造のスペイン風様式である。また、別館は大正13年に建築された和風の建物で平成10年10月1日、北原白秋の資料を展示する白秋童謡館としてオープンした。

平成12年10月には文学館本館、白秋童謡館とも国の登録有形文化財として登録された。

さらに、本市出身の小説家である尾崎一雄が昭和22年に下曾我に建築した「冬眠居」の一部を移築し、平成18年4月2日、尾崎一雄邸書斎としてオープンした。

2 施 設

(1) 敷地面積

6,120.72 m²

(2) 本館

ア 構造

鉄筋コンクリート造瓦葺3階建

イ 延床面積

298.48 m²

ウ 施設内容

展示室、展望室兼休憩室

(3) 管理棟

ア 構造

木造瓦葺平屋建

イ 延床面積

62.55 m²

ウ 施設内容

事務室

(4) 別館

ア 構造

木造銅瓦棒葺2階建

イ 延床面積

221.14 m²

ウ 施設内容

展示室、ビデオ観覧スペース

(5) 尾崎一雄邸書斎

ア 構造

木造平屋建

イ 延床面積

42.68 m²

ウ 施設内容

展示室

(6) その他

敷地内には小田原ゆかりの文学者に関わる4基の文学碑がある。

ア 北村透谷顕彰碑

イ 北條秀司碑

ウ 赤い鳥小鳥童謡碑

エ 藤田湘子碑

3 事業内容

(1) 常設展示

小田原出身及びゆかりの文学者 17 人の関係資料(図書、雑誌、原稿、書簡、遺品類等)を展示。

ア 小田原出身の文学者(本館 1 階)

展示室 1	北村透谷
展示室 2	尾崎一雄 川崎長太郎

イ 小田原出身、ゆかりの文学者①(本館 2 階)

展示室 3	谷崎潤一郎 三好達治 坂口安吾 岸田國士 北條秀司 村井弦斎 小杉天外 斎藤緑雨
展示室 4	福田正夫 井上康文 牧野信一 北原武夫 藤田湘子

ウ 小田原ゆかりの文学者②(別館 白秋童謡館)

1 階展示室	北原白秋
--------	------

(2) 企画展示等

特別展

内 容	会期	入館者数	会場
劇作家・北條秀司 ー華やかな交流の軌跡	10/26 ～ 12/10	1, 141 人	本館 2 階 展示室

貴重資料特別公開

公開資料	会期	入館者数	会場
北原白秋の震災体験手 記「胡麻の実」ほか	8/22 ～ 9/10	359 人	別館 1 階 控の間
尾崎一雄 絶筆草稿「春寒」ほか	3/19 ～ 5/12	1, 407 人	本館 1 階 展示室

4 利用状況

(令和 5 年度)

区 分	観覧者数 (人)
一 般	5, 554
小中学生	95
計	5, 649

◎尾崎一雄文学碑 (曾我谷津)

概 要

尾崎一雄は、生前市内曾我谷津に在住し、作家として日本独特の文学である私小説において幾多の優れた作品を発表し、第 5 回芥川賞を始め数々の文学賞を受賞するとともに、昭和53年には、文化勲章を受章した。

昭和55年12月20日の市制40周年記念式典において氏を特別表彰するとともに、翌56年には、その功績を永く顕彰するために宗我神社鳥居付近に文学碑を建立した。

5 資 料

令和6年3月末現在

(1) 図 書

(冊)

		図 書	郷土資料	紙 芝 居	絵 本	洋 書	特別集書	参考図書	計
中 央	一 般	164,192	18,441	—	—	973	14,184	6,245	204,035
	児 童	33,441	158	2,011	19,149	—	—	813	55,572
	計	197,633	18,599	2,011	19,149	973	14,184	7,058	259,607
小 田 原 駅 東 口	一 般	39,698	1,460	—	—	—	—	1,389	42,547
	児 童	12,449	7	574	7,018	—	—	7	20,055
	計	52,147	1,467	574	7,018	—	—	1,396	62,602
自動車文庫		17,621	—	—	6,172	—	—	—	23,793
合 計		267,401	20,066	2,585	32,339	973	14,184	8,454	346,002

(2) 新聞・雑誌

ア 中央図書館 新聞 11紙、雑誌 102誌
イ 小田原駅東口図書館 新聞 13紙、雑誌 90誌

(3) 視聴覚資料・機材

資料名	点 数
16ミリ映画フィルム	378
ビデオテープ	3,510
DVD	958
レーザーディスク	277
CD	9,765
カセットブック	658
レコード	4,030
スライド	1,816

貸出用機材名	数量
16ミリ映写機	6
スライド映写機	2
スクリーン	7
暗 幕	8
スピーカー	2
ズームレンズ	1

(4) 特別集書

() 内は請求記号

- 1 片岡文書—片岡永左衛門氏から受贈した小田原町方関係資料—599点 (A)
- 2 山縣公文庫—古口新吾氏から受贈した山縣有朋公旧蔵書のうち、兵書を除く多岐にわたる種類の図書—1,015点 (B)
- 3 木村錦花文庫—木村錦之助(錦花)氏から受贈した演劇関係資料—576点 (C)
- 4 板倉文書—板倉乙女氏から受贈した小田原藩関係資料—122点 (D)
- 5 小田原有信会文庫—小田原有信会から受贈した小田原藩関係資料—293点 (E)
- 6 牧野信一資料—図書館が収集してきた作家牧野信一の著書、原稿、写真、その他牧野家に関する資料—174点 (F)
- 7 長谷川如是閑文庫—長谷川如是閑氏から受贈した一般教養図書—582点 (G)
- 8 山崎元幹文庫—元満鉄総裁山崎元幹氏から10回にわたって受贈した中国関係及び満鉄関係資料—1,747点 (H)
- 9 報徳集書—昭和8年以降図書館が収集してきた二宮尊徳に関する資料—676点 (J)
- 10 青蛙荘文庫—元館長石井富之助氏から受贈した郷土資料を中心に図書館関係資料、文人の関連資料、石井氏自筆原稿等—1,348点 (L)
- 11 藤田西湖文庫—菊枝夫人から受贈した甲賀流忍術第14世藤田西湖の武術関係図書(和本、巻物、研究書等)—3,268点 (M)
- 12 柳田謙十郎文庫—昭和61年7月、二女節子氏から受贈した自筆原稿など柳田謙十郎所蔵哲学関係資料—2,266点 (N)
- 13 藪田義雄沙羅文庫—紗代夫人から受贈した、小田原出身で北原白秋の秘書を務めた詩人藪田義雄氏の著作物、楽譜、自筆原稿を含めほぼ全資料—1,518点 (P)

6 主な活動状況（令和5年度）

(1) 利用状況

		新規登録者数	貸出者数	貸出冊数※	予約業務 (冊)※	参考業務 (件)	複写業務 (枚)
中 央	一 般	1,189	73,535	239,481	—	—	—
	児 童	263	8,219	40,385	—	—	—
	計	1,452	81,754	279,866	116,148	2,425	10,859
小 田 原 駅 東 口	一 般	1,714	76,398	196,502	—	—	—
	児 童	191	6,595	28,784	—	—	—
	計	1,905	82,993	225,286	8,109	664	3,865
合 計		3,357	164,747	505,152	124,257	3,089	14,724

※「貸出冊数」はAVの貸出件数も含む。
※WebOPACでの予約は中央に計上する。

(2) 参考業務

調査・研究に対する援助または各種の質問に対して、館の資料その他を使用し、回答する業務を行っている。

(3) 予約業務

利用者が求める図書が貸出中の場合は予約の手続きを行い、所蔵していない場合は他の図書館から借用するなどして、図書を提供するサービスを行っている。

(4) 障がい者サービスほか

高齢者や視力の弱い利用者のために拡大器を設置するとともに、大活字本コーナーを設けている。また、視覚障がい者のために、小説等を録音したカセット・ブックやCDを所蔵している。

また、平成20年6月から、身体の障がいにより図書館への来館が困難な方（一定の要件あり）に、無料で図書の郵送貸出しを行っている。（令和5年度郵送貸出実績：57冊）

(5) 自動車文庫

昭和34年、市立図書館で発足。平成6年にかもめ図書館に拠点を移す。両図書館での図書の利用が容易でない市内各地域の住民を対象に、ブックキャリアー（配本車）方式により、自治会、家庭文庫、放課後児童クラブ等に定期的に巡回し配本を行っている。

自動車文庫利用状況

	社会教育 施設ほか	自治会・ 家庭文庫	放課後児童 クラブほか	合 計
配本団体数	7	2	26	35
配本冊数	9,560	350	4,680	14,590

(6) 視聴覚資料視聴・貸出

中央図書館の視聴覚コーナーでは、16ミリ映画フィルム及び各種機材を整備して、こども映画会等館内利用のほか、官公庁・学校・保育園・幼稚園・社会教育団体等の団体に貸出しをしている。

また、収集した視聴覚資料のうち、CD、DVD、ビデオテープについては利用者への貸出しを行っている。また、視聴覚コーナーでは、視聴席を4席設け、DVD、CDの館内視聴を行っている。

団体貸出（16ミリ関係）（点）				個人貸出（点）					視聴覚ブース 利用人数
種 別 利用団体	16ミリ 映 画 フィルム	16ミリ 映写機	その他 の機材	ビデオ テープ	カセット ブック	レコード	C D	D V D	
社会教育団体	0	0	0	142	0	—	11,780	5,342	1,970
学校教育団体	0	0	0						
事業所等	0	0	0						
官公庁	0	0	0						
その他	0	0	0						
計	0	0	0						

(7) 実施事業一覧

市民の文化活動の手助けや郷土に関する理解が深められるよう、講演会、展示会等を開催している。

内 容			参加人数
中 央	調べ学習の基礎講座	小学校1・2年生向け	5組
	(令和4年度から名称変更・旧「調べる学習チャレンジ講座」)	小学校3～6年生向け	5人
	読書活動推進講演会		54人
	図書館活用講座		21人
	図書館の宝もの「100年前の目撃者」(関東大震災100年関連展示)		不特定
	総合歴史講座「伊勢宗瑞の小田原入部と明応大地震からの復興」(学習院大学 家永 遵嗣 教授)		105人
小 田 原 駅 東 口	アート講座「大久保裕文さん×中村幸子さん」		12人
	今年も応援！北條五代		不特定
	ファッション講座「世界のインナーウェア」		17人
	夏休みボランティア講座		4人
	地学講座「石ころから小田原の大地を調べよう」(夏休み児童講座)		10人
	作家森谷明子さん講演会		20人
	小田原ビエンナーレ2023「阿部朝日展」		124人
	しかけ絵本展示会		不特定
	鉄道文学の世界		10人
	孫育講座		13人
	最勝寺朋子さん新作絵本原画展		不特定
	第2回ファッション講座「デザイナーの発想の秘密」		8人
	天羽間ソラノさん切り絵イラスト展		不特定
	朝比奈賢さん絵画展		不特定
	パパと遊ぼう講座		13人
	みんなの本棚展		不特定
	児童文庫作家遠山彼方さん講演会		33人

(8) 行事

内 容		開催回数	参加人数
中 央	絵本の読み聞かせ	112	832人※
	調べる学習コンクール	1	52人
	ワクワク図書館員	2	12人※
	図書館こどもクラブ	4	15人※
	本のお楽しみ袋	1	72人
	かもめ名画座	3	112人※
	閉館後の読書会（元気になる一冊）	1	7人
	印象派について語ろう	1	12人
	読書会（あなたを救った本）	1	4人
	木くずワークショップ	1	43人
	子どもの心が動く絵本の読み聞かせ	1	26人
	閉館後の読書会（今年は読むぞ！積読している本）	1	9人
	本×AI 進路探検ワークショップ	1	8人
	音楽に合わせて体を動かす！紙しばいの読み聞かせ	1	40人
	ボードゲームパーティ	1	130人
	一箱本棚（2か月間が1クール）	3	10人
小田原駅東口	絵本の読み聞かせ	83	1,197人※
	新1年生としょかんたんけん	1	4人
	かみしばい道場（5月～8月の第1土曜日）	4	8人
	おはなし祭り	1	54人
	文学と音楽鑑賞会vol.2	1	26人
	外国人を対象とした図書館オリエンテーション	1	24人
	「本の楽しみかたカード」ワークショップ	1	9人
	スティールパン演奏会	1	38人
	スタンプラリー（夏休み児童イベント）	1	150人
	ぬいぐるみおとまり会（夏休み児童イベント）	1	10人
	一日図書館員（夏休み児童イベント）	1	11人
	こわいおはなし会（夏休み児童イベント）	1	13人
	小田原ビエンナーレ関連ワークショップ	1	11人
	英語のおはなし会	1	34人
	小学生英語チャレンジ	1	5人
	サックスナイト！	1	32人

しかけ絵本ワークショップ	1	30人
ワンワン紙ずもう大会小田原場所	1	20人
最勝寺朋子さんトークショー	1	17人
一箱市	1	91人
年賀状を書こう！	1	10人
クリスマスおはなし会	1	21人
クリスマス音楽会	1	31人
本の福袋	1	25人
おみくじ（お正月児童イベント）	1	89人
かるた大会	1	6人
かみしばい道場（10月～1月の第1土曜日）	4	6人
絵画鑑賞会	1	20人
おでん種人気投票	1	270人
文学と音楽鑑賞会vol.3	1	27人
朗読会	1	32人
新1年生としょかんたんけん	1	10人

※…延べ人数

7 図書館出版物

(1) 図書館目録シリーズ

- ・特別集書片岡文書解説目録（A 5） 在庫なし
- ・〃 小田原有信会文庫解説目録（A 5） 在庫なし
- ・〃 山縣公文庫目録（A 5） 在庫なし
- ・〃 板倉文書解説目録・牧野信一資料解説目録・報徳集書目録（A 5） 在庫なし
- ・〃 山崎元幹文庫目録（A 5） 在庫なし
- ・小田原の近世文書目録1－稲子家文書－（B 5） 在庫なし
- ・〃 2（B 5） 1,400円
- ・〃 3（B 5） 1,500円
- ・〃 4（B 5） 1,500円
- ・〃 5（B 5） 1,500円
- ・報徳集書解説目録（B 5） 非売品

(2) 図書館叢書

- ・福田正夫－追想と資料－（A 5） 在庫なし
- ・江戸時代の小田原（B 6） 980円
- ・図書館一代（A 5変型） 非売品
- ・随筆 北原白秋（B 6） 1,800円

(3) 図書館郷土資料集成

- ・明治小田原町誌 上（A 5） 1,800円
- ・〃 中（A 5） 2,000円
- ・〃 下（A 5） 2,300円
- ・御家中先祖並親類書1（A 5） 非売品
- ・〃 2（A 5） 2,800円
- ・〃 3（A 5） 3,000円
- ・〃 4（A 5） 3,500円

(4) 記念出版

- ・小田原図書館五十年史（A 5 変型） 2,000円
- ・一枚の古い写真（改訂版）（A 4 正型） 3,500円
- ・土岐・運・来 ―「北村透谷没後100 年」展図録―（B 5） 在庫なし
- ・星崎記念館開館50 周年記念誌「星崎記念館の50 年を振り返って」（A 5） 非売品
- ・星崎記念館・小田原市立図書館閉館記念誌（A 4） 非売品

(5) その他

- ・機関誌 おだわら歴史と文化 1～13号（A 5） 850～1,200円
- ・小田原地方新聞記事目録（B 5） 1,500円
- ・小田原の仏像〔銘文集〕―信仰と造形の歴史―（A 4） 1,700円
- ・聞き語り おだわら ふるさとの記憶（A 5） 非売品
- ・小田原市史ダイジェスト版（A 5） 在庫なし
- ・生誕110年記念 北原武夫展（A 4） 500円
- ・「坂口安吾」ができるまで展（A 4） 在庫なし

(6) 市史刊行物

通史編	原始 古代 中世	A 5	6,000 円
	近 世	A 5	6,000 円
	近現代	A 5	6,000 円
史料編	原始 古代 中世Ⅰ	A 5	6,000 円
	中世Ⅱ小田原北条1	A 5	品 切
	中世Ⅲ小田原北条2	A 5	6,000 円
	近世Ⅰ藩政	A 5	5,500 円
	近世Ⅱ藩領1	A 5	5,000 円
	近世Ⅲ藩領2	A 5	5,000 円
	近 代Ⅰ	A 5	5,000 円
	近 代Ⅱ	A 5	5,000 円
	現 代	A 5	5,500 円
別編	城 郭	B 5	品 切
	自 然	B 5	4,000 円
	年 表	B 5	4,000 円



(7) 貴重資料 修復・デジタル化進捗状況

	令和5年度実績	実績累計（令和4年度まで）
脱酸等修復保存処理	76点	569点
デジタルデータ化	マイクロフィルム（新聞） 26点	録音リールテープ 37点 映画フィルム 3点 古文書類 10点、20,676コマ カラースライド 556枚 〔DVD〕画像・音声合成 17点 新聞マイクロフィルム 35点

◇ スポーツ課

○外野 200～300 ルクス

工事費 51,700,000 円

社会体育活動

(1) 学校体育施設開放事業

地域住民の社会体育の普及・振興を図るために、スポーツ・レクリエーション活動を目的とし、教育委員会に登録された団体に、市立小・中学校体育施設及びその備品を、学校教育に支障のない範囲内で開放する。(規則 昭和49年12月)

ア 体育館開放指定 36 校

中学校 11 校 小学校 25 校

イ 運動場開放指定 4 校

ウ 登録及び利用状況 () 内は運動場

年度	開放校数	登録団体数	利用回数	利用人数
R03	35(4)	292	9,236	141,290
R04	35(4)	288	10,372	151,929
R05	35(4)	293	10,640	167,804

※令和元年 10 月から早川小学校の利用を中止。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、次の期間利用休止。R03.01.08～03.21、R03.08.30～09.30。

◎国府津小学校運動場照明施設 (小田原市国府津 2485)

1 概要

昭和61年 9 月 1 日 起工

昭和62年 3 月10日 竣工

開放種目 ソフトボール、サッカー

2 施設

照明面積 4,896 m²

照度 ○内野 500～700 ルクス

○外野 200～300 ルクス

工事費 60,070,000 円 (防球ネット及び強化ガラス取替え工事を含む。)

◎豊川小学校運動場照明施設 (小田原市成田 530-1)

1 概要

昭和62年 7 月20日 起工

昭和62年 9 月24日 竣工

開放種目 ソフトボール、サッカー

2 施設

照明面積 7,700 m²

照度 ○内野 500～700 ルクス

◎酒匂中学校運動場照明施設 (小田原市酒匂 3-4-1)

1 概要

昭和59年 9 月 1 日 起工

昭和60年 2 月16日 竣工

開放種目 軟式野球、ソフトボール、サッカー

2 施設

照明面積 8,248 m²

照度 ○内野 500～750 ルクス

○外野 200～300 ルクス

工事費 73,800,000 円 (防球ネット及びバックネット工事を含む。)

◎運動場照明施設利用状況表 (利用人数)

施設名	R03	R04	R05
運動場照明国府津小学校	1,000	1,243	1,663
〃 豊川小学校	653	2,073	2,784
〃 酒匂中学校	1,467	1,946	2,290
合 計	3,120	5,262	6,737

※新型コロナウイルス感染症の影響により、次の期間利用休止。R03.01.08～03.21、R03.08.30～09.30。

(2) 学校プール開放事業

夏休み期間のプール開放は、学区児童を対象にプール運営委員会が実施主体となり行われてきたが、より円滑な運営が図られるよう、平成11年度から運営費の一部を助成している。

実施状況

年度	実施校数	実施日数	利用人数
R03	0	0	0
R04	2	12	299
R05	5	37	2,334

※R03 年度：新型コロナウイルス感染症の影響により、全校未実施。

※R04 年度：国府津小、富士見小のみ実施。

※R05 年度：下府中小、桜井小、曽我小、矢作小、富士見小のみ実施。

◇ 青少年課

1 青少年健全育成事業

(1) 地域少年リーダー養成講座「きらめきロビンフッド」

ア 趣 旨

小学5・6年生が、自然の中での共同生活などを通じて、地域で活躍する大人・青少年と共に地域に根ざした研修を行い、未来の地域リーダーに必要な自主性、自立心、協調性、積極性などを楽しみの中から身に付けていく。

イ 参加者 (小学校5・6年生)

第1回 19人 第2回 20人
第3回 17人 第4回 15人

ウ 内 容

(ア) 第1回研修

期 日：9月9日(土)
場 所：川東タウンセンター・マロニエ ホール
内 容：概要説明、顔合わせ、アイスブレイク、
班決めなど

(イ) 第2回研修

期 日：10月7日(土)～8日(日) 1泊2日
場 所：足柄ふれあいの村
内 容：ゲーム、キャンプファイヤーなど

(ウ) 第3回研修

期 日：11月11日(土)
場 所：けやき 大会議室
内 容：ゲーム、記念誌づくりなど

(エ) 第4回研修

期 日：12月9日(土)
場 所：小田原市役所 大会議室
内 容：アイスブレイク、終了証書授与など

(2) 非日常型体験学習事業

ア 趣 旨

家庭や学校で得られない体験を通して、目まぐるしく変化する現代社会を生き抜く力や時代に共感する力を育成し、子どもが豊かな感性を磨く機会とする。

る。

イ 内 容

非日常型体験学習 in いろりの里「大平宿」

① 事前研修

期 日：7月15日(土)
場 所：小田原市いこいの森 林間運動堀場
内 容：アイスブレイク、火起こし体験等
参加者：市内小学5・6年生 66名
サポーター 24名

② 本研修

期 日：7月29日(土)～7月31日(月)
場 所：長野県飯田市 いろりの里大平宿
内 容：2泊3日の宿泊体験学習
参加者：市内小学5・6年生 67名
サポーター 26名

③ 事後研修

期 日：8月5日(土)
場 所：市役所大会議室
内 容：振り返りの作成及び成果発表
参加者：市内小学5・6年生 55名
サポーター 20名

(3) 青少年指導者養成事業「指導者養成講座」

ア 趣 旨

指導者として必要な知識や技術を身につけ、地域や学校での体験活動の支援や指導などボランティア活動の実践をととして将来的に青少年健全育成の担い手として各地域で継続的に活動できる指導者の発掘・育成・資質向上を図る。

イ 対 象

青少年育成や体験活動に関心のある高校生以上の方

ウ 参加者 62人

エ 内 容

(ア) 指導者養成講座～キャンプの基礎編～

期 日：令和5年5月20日(土)
場 所：足柄森林公園 丸太の森
講 師：小清水 哲郎氏(Outdoor Life Style Produce)

・参加者数：13名（男：11名 女：2名）

(イ)指導者養成講座～プレイパーク編①～【中止】

期 日：令和5年6月3日（土）

場 所：南鴨宮富士見公園

講 師：佐久間 純恵 氏 (Bring Out the Best)

参加者数： 一名

(ウ)指導者養成講座～マス掴み編～

期 日：令和5年6月17日（土）

場 所：峯自然園

講 師：小清水 哲郎 氏 (Outdoor Life Style Produce)

参加者数：8名（男：7名 女：1名）

(エ)指導者養成講座～磯観察編～

期 日：令和5年7月1日（土）

場 所：ケープ真鶴・三ツ石海岸

講 師：水井 涼太 氏（特定非営利活動法人 Discover Blue 代表理事）

参加者数：12名（男：9名 女：3名）

(オ)指導者養成講座～木工作編～

期 日：令和5年10月29日（日）

場 所：けやき 4階美術工芸室

講 師：稲葉 恭子 氏（遊びと学びの種蒔き舎 代表）

参加者数：8名（男：6名 女：2名）

(カ)指導者養成講座～秋の登山編～

期 日：令和5年11月18日（土）

場 所：箱根乙女峠～桃源台

講 師：橋谷 晃 氏（木風舎 代表）

参加者数：13名（男：10名 女：3名）

(キ)指導者養成講座～プレイパーク編②～

期 日：令和5年12月16日（土）

場 所：上府中公園

講 師：佐久間 純恵 氏 (Bring Out the Best)

参加者数：8名（男：5名 女：3名）

(4) 青少年指導者派遣事業

ア 趣 旨

小学校や地域が実施する体験学習に、指導者や講師を派遣することにより、多くの子どもたちが、感動や喜びを感じることで、市内における体験学習の機会拡充を図る。

イ 内 容

(ア)野外体験学習（宿泊）

場 所：神奈川県立足柄ふれあいの村

実施校：22校 ※1校だけ日帰り

参加児童数：1,398名

(イ)クラブ派遣

場 所：各小学校校庭

実施校：4校

参加児童数：73名

※指導者養成研修受講生を派遣

2 青少年団体の活動

(1) 小田原市ジュニア・リーダーズ・クラブ

ア 発 足

市内に在住する子ども好きでボランティア精神をもった中学生、高校生たちにより、昭和61年7月に発足した。

イ 目 的

進んで地域の子どもの指導に当たること、さらに指導者としての知識・技術の向上を図るため、自主的な運営を展開することを目的とする。

ウ 主な事業

地域及び市子ども会連絡協議会からの依頼行事に対する協力、研修会など

エ 会員数（令和6年5月現在）33人

高校生 18人（男5人、女13人）

中学生 15人（男6人、女9人）

(2) 小田原市ユース・リーダーズ・クラブ

ア 発 足

市内に在住・在学・在勤する18歳から30歳までの青年により構成され、平成5年6月に発足した。

イ 目 的

自主的な活動のできる青年層のグループとしての組織化と、社会と青少年（中・高校生）とのパイプ役となるために青少年とのふれあいの場をつくることを目的とする。

ウ 主な事業

自主企画への取組、研修会など

エ 会員数（令和6年5月現在）

10人（男6人、女4人）

各 種 名 簿

1 市長・副市長及び市議会議員・副議長・厚生文教常任委員

(令和6年6月末現在)

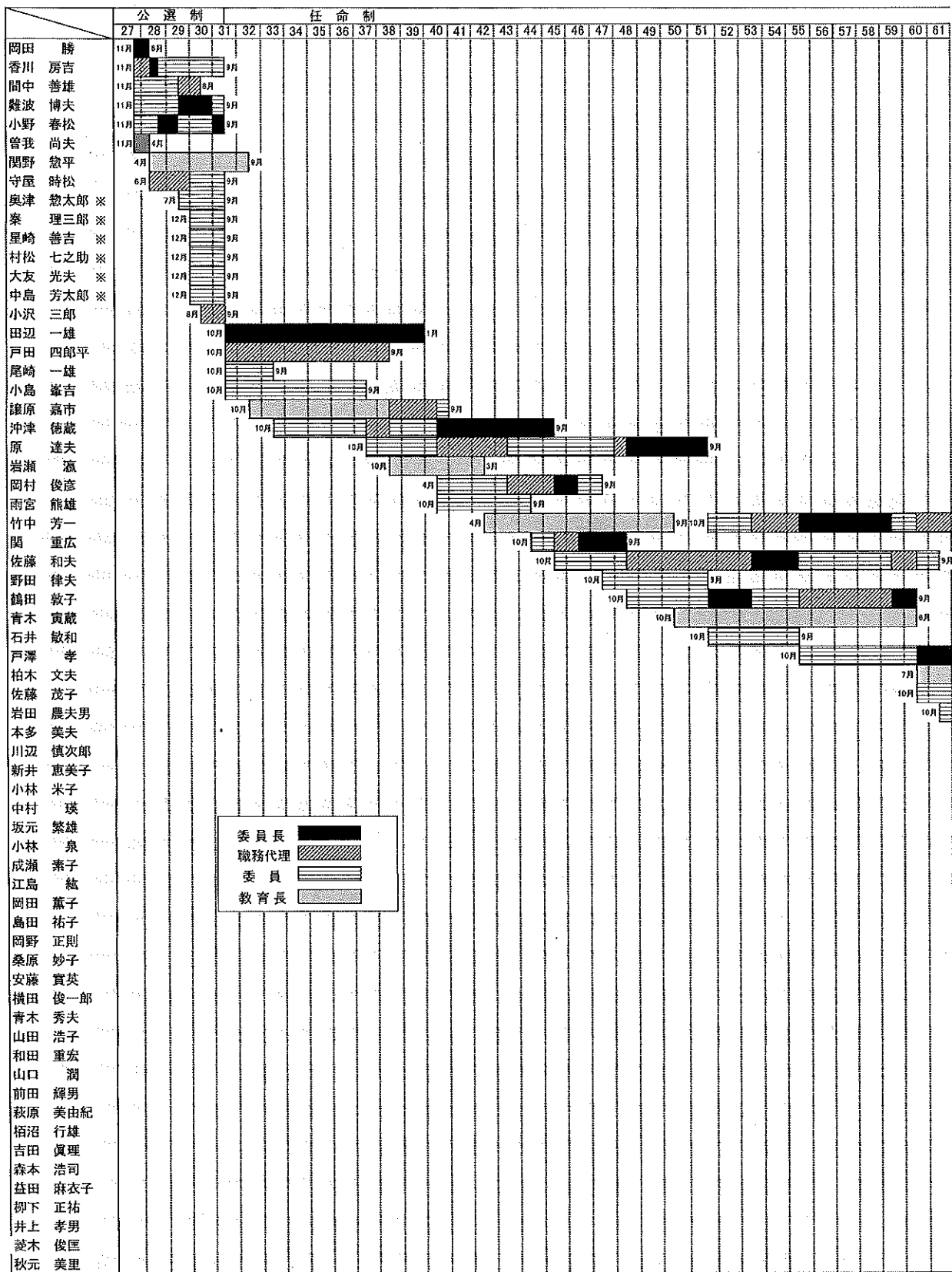
役 職 名	氏 名
市 長	加 藤 憲 一
副 市 長	安 藤 圭 太
副 市 長	武 井 好 博
市 議 会 議 長	大 川 裕
市 議 会 副 議 長	楊 隆 子
市議会厚生文教常任委員会委員長	宮 原 元 紀
市議会厚生文教常任委員会副委員長	原 久美子
市議会厚生文教常任委員会委員	城 戸 佐和子
〃	池 田 彩 乃
〃	角 田 真 美
〃	楊 隆 子
〃	大 川 晋 作
〃	加 藤 仁 司

2 教育長及び教育委員

(令和6年6月現在)

役 職 名	氏 名
教 育 長	柳 下 正 祐
委 員(教育長職務代理者)	益 田 麻衣子
委 員	井 上 孝 男
〃	菱 木 俊 匡
〃	秋 元 美 里

3 歴代教育委員と教育長



※ 合併による増員

(令和6年5月1日現在)

62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3	4	5		
																																						岡田 勝
																																						香川 房吉
																																						間中 善雄
																																						難波 博夫
																																						小野 春松
																																						曾我 尚夫
																																						関野 惣平
																																						守屋 時松
																																						奥津 惣太郎 ※
																																						秦 理三郎 ※
																																						星崎 善吉 ※
																																						村松 七之助 ※
																																						大友 光夫 ※
																																						中島 芳太郎 ※
																																						小沢 三郎
																																						田辺 一雄
																																						戸田 四郎平
																																						尾崎 一雄
																																						小島 峯吉
																																						諫原 嘉市
																																						冲津 徳蔵
																																						岩瀬 達夫
																																						岡村 瀛
																																						雨宮 俊彦
																																						竹中 熊雄
																																						関 芳一
																																						佐藤 重広
																																						野田 和夫
																																						鶴田 敏子
																																						青木 寅蔵
																																						石井 敏和
																																						戸澤 孝

4 附属機関の委員

(1) 小田原市社会教育委員会

任 期(令和4年8月1日～令和6年7月31日)

役 職 名	氏 名	備 考
委 員 長	木 村 秀 昭	社会教育関係者
副委員長	笹 井 宏 益	学識経験者
委 員	有 賀 かおる	学校教育関係者
〃	加 藤 直 樹	学校教育関係者
〃	加 藤 まゆみ	学校教育関係者
〃	齊 藤 ゆ か	学識経験者
〃	高 橋 正 則	学校教育関係者
〃	中 澤 純 子	社会教育関係者
〃	松 本 利 洋	社会教育関係者
〃	箕 輪 真 理	社会教育関係者
〃	山 下 真 弘	家庭教育の向上に資する活動を行う者
〃	山 本 加 世	家庭教育の向上に資する活動を行う者

(2) 小田原市郷土文化館協議会

任 期(令和5年9月1日～令和7年8月31日)

役 職 名	氏 名	備 考
委 員 長	田 尾 誠 敏	学識経験者
副委員長	山 下 浩 之	〃
委 員	秋 山 幸 也	〃
〃	大 西 亘	〃
〃	篠 原 聰	〃
〃	高 橋 典 子	〃
〃	田 嶋 佳 子	〃
〃	星 野 玲 子	〃
〃	永 山 健 治	中学校長代表
〃	加 藤 まゆみ	小学校長代表

(3) 小田原市文化財保護委員会

任 期(令和5年6月1日～令和7年5月31日)

役 職 名	氏 名	備 考
委 員 長	相 澤 正 彦	美術(絵画)
副委員長	勝 山 輝 男	自然科学
委 員	岩 橋 清 美	歴史(近世史)
〃	大谷津 早 苗	民俗
〃	平 田 大 二	自然科学
〃	田 尾 誠 敏	歴史(考古)
〃	差 波 亜紀子	歴史(近代史)
〃	長 塚 孝	歴史(中世史)
〃	小 沢 朝 江	建築史
〃	山 本 篤 志	城郭

(4) 史跡小田原城跡調査・整備委員会

任 期(令和5年4月1日～令和7年3月31日)

役 職 名	氏 名	備 考
委 員 長	小和田 哲 男	歴史(中世史)
副委員長	伊 藤 正 義	歴史(考古学)
委 員	浅 倉 直 美	歴史(中世史)
〃	小 沢 朝 江	建築史
〃	小 出 和 郎	都市工学
〃	岡 本 孝 之	歴史(考古学)
〃	宮 内 泰 之	造園
〃	小笠原 清	城郭
〃	佐 藤 正 知	史跡
〃	杉 本 史 子	歴史(近世史)
〃	宮 里 学	歴史(考古学)

(5) 小田原市図書館協議会

任 期(令和4年10月1日～令和6年9月30日)

役 職 名	氏 名	備 考
委 員 長	野 口 武 悟	学識経験者
副委員長	大 塚 さとみ	学校教育関係者
委 員	植 田 裕希江	家庭教育の向上に資する活動を行う者
〃	北 河 文 子	社会教育関係者
〃	藤 本 明 美	学校教育関係者
〃	馬見塚 昭 久	学識経験者
〃	勝 川 れい子	市民(公募)
〃	長谷川 貴 幸	〃

(7) 小田原市就学支援委員会

任 期(令和6年7月1日～令和7年6月30日)

役 職 名	氏 名	備 考
委 員 長	村 田 久美子	学識経験者
副委員長	稲 毛 真 弓	〃
委 員	小 倉 直 子	〃
〃	田 中 早 苗	〃
〃	井 野 実知留	〃
〃	野 地 みおき	特別支援学級担任
〃	高 須 雄 大	〃
〃	小 宮 健 志	〃
〃	高 松 幸 子	〃
〃	柏 木 久美子	教育委員会が必要と認める者
〃	藤 井 優	〃
〃	坂 場 美 奈	〃
〃	高 柳 和 伸	〃
〃	石 田 智 子	〃
〃	田 村 寿 治	〃
〃	川 口 洋 史	コミュニケーションの教室「フレンド」
〃	岩 瀬 智 子	〃

〃	松澤俊介	〃	教育相談担当課長
〃	寺崎雅子	医師	小田原市立病院
〃	伊藤淳	〃	〃
〃	徳弘悦郎	〃	あすなろクリニック
〃	石川竜太	本市を管轄する児童相談所の職員	小田原児童相談所
〃	三輪和子	本市区域内の特別支援学校の教員	県立小田原支援学校
〃	岡田裕美	〃	〃
	木村弘子	特別支援学級設置小学校長	下曾我小学校長
〃	富田雅浩	小田原市立中学校長	城北中学校長

(8) 小田原市いじめ防止対策調査会

任 期(令和5年8月1日～令和7年7月31日)

役 職 名	氏 名	備 考
会 長	嶋崎政男	学識経験者
会長職務代理者	杉崎雅子	臨床心理士
委 員	岸本靖子	社会福祉士
〃	坂本結	弁護士
〃	横田俊一郎	医師

(9) 小田原市新しい学校づくり検討委員会

任 期(令和6年4月1日～令和8年3月31日)

役 職 名	氏 名	備 考
委 員 長	柳澤要	学識経験者
副委員長	内山絵美子	〃
委 員	遠藤新	〃
〃	久田由佳	〃
〃	木村秀昭	住民組織の役員
〃	中谷彰吾	児童及び生徒の保護者等を代表する者
〃	浜口勝己	市立小学校の校長
〃	村上晃一	市立中学校の校長
〃	木村元彦	公募市民
〃	山本加世	〃

5 その他の機関等

教育研究所連絡協議会

任 期(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

役 職 名	氏 名	備 考	
委 員 長	平 居 智 基	小学校教育研究会代表	豊川小学校長
副委員長	中 村 栄 江	中学校教育研究会代表	千代中学校長
委 員	岩 田 京 子	幼稚園教育研究会代表	報徳幼稚園長
〃	岩 田 真由美	小学校長会代表	矢作小学校長
〃	北 村 し の ぶ	中学校長会代表	国府津中学校長
〃	海 老 原 将	小中学校教員代表	橘中学校総括教諭
〃	加 賀 谷 元	教育研究所研究員代表	下府中小学校教諭
〃	中 山 晋	教育委員会代表	教育指導課長

令和6年度 「小田原の教育」

編集・発行

令和6年9月

小田原市教育委員会

〒250-8555 小田原市荻窪300番地

電話 0465 (33) 1671 教育総務課